

長久手市行政評価票

事業番号	1	事業の名称	市表彰条例による表彰事業		担当部署	部	課					
						市長公室	政策秘書課					
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(1)住民と行政が協働するまちづくりを進める	施策の進め方	(1)「新しい公共」の担い手としての意識の醸成	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	長久手市表彰条例に基づいて、長年市政の振興に寄与した、又は市民の模範と認められる善行があった市民・団体の表彰を行います。事業所管の長等及び自治会連合会長・区長から、表彰条例に基づく表彰対象者の推薦を受け、表彰審査委員会にて審議・決定した被表彰者に対して、表彰状と記念品の贈呈を行います。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	(平成26年度実績) 瀬戸市…公益功労者 個人8人、市政功労者 個人5人 尾張旭市…市政功労者 個人7人、団体2団体 豊明市…市政功労者 個人3人 日進市…市制20周年記念功労表彰 個人35人、団体28団体 東郷町…町政功労者 個人8人、団体1団体						
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市政の振興に寄与又は市民の模範と認められる善行があった市民・団体					うち	一般財源	221	73	216	70	216
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	活動に対して敬意を表すとともに、長年の活動をねぎらう。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		←	→	●	●				H26目標値			H27予算					事業規模 事業費				
① 市表彰条例による表彰事業	市政の振興に寄与又は市民の模範と認められる善行があった市民・団体	推薦	審査	表彰		各課の長等から推薦を受け、10月に表彰審査委員会にて審議・決定した被表彰者を表彰することによって	各課の長等から推薦を受け、10月に表彰審査委員会を開催。1月の表彰式で個人3人を表彰した。	受彰を承諾した表彰候補者の割合	80	100	%	表彰されることで個人・団体の励みとなる。活動自体への関心や理解が深まるため、対象者には受彰を承諾してもらうことが望ましい。	221	73	216	70	216	委員会報酬37千円 記念品等15千円 会議等茶代4千円 筆耕委託費7千円 写真代7千円	A	計画通りに実施した。表彰の人数が減少傾向にあることから、各課等に対し、推薦対象となる方の掘り起しを引き続きお願いしていく。	
②																					
③																					
④																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 市表彰条例による表彰事業	これまで自治会連合会長・区長からの推薦をお願いしていたが、推薦いただいた個人・団体の活動年数が不明であることも多いため、他市の推薦状況を参考に見直しを行い、H27年度以降からは推薦は各課等の長のみとした。		H27以降新規に実施する事務事業
			感謝状制度	長年、表彰審査委員会委員から提言をいただいていた、感謝状制度を新設する。

長久手市行政評価票

事業番号	2	事業の名称	政策調整業務	担当部署	部 市長公室	課 政策秘書課					
基本方針		分野別項目		施策の進め方	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	市政運営の基本方針である第5次総合計画及び市長の施政方針である「新しいまちづくり行程表」に基づく市政運営を推進します。 第5次総合計画については、その事業計画である実施計画(3カ年)を作成し、また、毎年度見直しを行うことで、計画的な市政運営を行います。 また、「新しいまちづくり行程表」については、掲載された事業の半期ごとの進捗を確認することで、計画的な市政の推進を行います。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町においても、実施計画を策定。						
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市の行政運営			うち		一般財源	0	0	0	0	0
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施政方針に基づいた計画的な行政運営を進める。					国費・県費	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0
					その他	0	0	0	0	0	
					受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
① 実施計画策定事務	実施計画事業担当課に	事業査定	公表	●	●	毎年実施計画の見直しを行い、実施計画事業の進捗管理を行うこと	実施計画掲載事業50事業	年次計画通りに進捗した事業の割合	85.7	98.0	%	年次計画通りに事業が進捗することが、施策推進に望ましいため。	0	0	0	0	A	現行どおり実施していく。	
② 新しいまちづくり行程表進行管理事務	取組実施担当課に	進捗確認	公表	●	●	半期ごとに各取組の進捗管理を行うこと	新しいまちづくり行程表掲載事業数70事業	年次計画通りに進捗した事業の割合	98.2	96.8	%	年次計画通りに事業が進捗することが、施策推進に重要であるため。	0	0	0	0	A	現行どおり実施していく。	
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	3	事業の名称	公共交通利用促進事業			担当部署	部	課															
						行政経営部	経営管理課																
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(6)快適で便利な交通移動を確保する	施策の進め方	(3)交通の円滑化	フラッグ	フラッグ項目																
事業の概要	長久手市地域公共交通会議にて、利用実態や利用者満足度などを調査・検討し、利便性の高い地域公共交通の展開を図る。また、愛知県とリニモ沿線市との共同で沿線の施設とリニモを使ったイベントを実施したり、リニモウォーキングを実施することで交通手段としてのリニモをPRする。さらに市民目線による公共交通に関するかわら版(タイトル、市民協力者(執筆者)を公募)を発行することで親しみのある公共交通への醸成を図る。また、住民団体の地域づくり活動への支援をすることで、リニモ沿線の活性化を図る。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	他の市町においても、公共交通に関する協議会等を設け、公共交通の利用促進・利用者の利便性向上を図るとともに、コミュニティバスにおいては市外へのルートを設置することで広域的な連携を図る市もある。また、民間路線の廃止に伴い、金銭補助や移動手段確保のためにコミュニティバスを導入・拡充している自治体もある。																	
事業期間	事業開始年度	平成18年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算												
事業の対象(だれ、何に対して)	市内外の住民					うち	一般財源	5,714	5,591	4,852	4,603	4,172											
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	移動手段を車から公共交通に、普段公共交通を利用しない人が利用するような意識の醸成、利便性の高い公共交通体系の展開。					国費・県費	0	0	0	0	0												
						地方債	0	0	0	0	0												
						その他	0	0	0	0	0												
					受益者負担額	0	0	0	0	0													
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>												評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																							
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的		事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明
										H26目標値	H26予算			
① 地域公共交通会議運営事業	市内外の住民に	●●●●●●●●●●	計画事業や関連の各実施事業を推進して、利便性の高い市内公共交通機関のネットワークを構築する。	会議を4回開催し、N-バス運行経費補助申請手続きやかわら版を発行	①会議で策定する年度事業計画に基づく会議運営 ②連携計画事業の実施・着手数(累計) ③公共交通利用者数(市内駅・バス停)	-	①事業計画に基づき円滑な会議運営が図られているか ②連携計画の推進組織としての進行管理成果 ③連携計画の目標値(前年度比増加)	5,089	4,966	会議運営費3,781千円 委員報酬197千円	B	平成26年度は長久手市第2次地域公共交通総合連携計画を策定し、公共交通シンポジウムを開催した。また、継続して公共交通かわら版「のりやあせ」を発行しました。連携計画事業の実施・着手数について目標を達成できなかったため、B評価事業の改善とした。		
② リニモ夏休みイベント開催事業	市内外の住民に	→	イベントに参加してもらい、その後もリニモを使用して沿線施設を利用してもらう。	28回開催 延べ参加者数2,283人	7~8月リニモ利用者数	1,077	リニモ利用者数前年同期実績(7~8月)から3%の増加(過去3年間の伸び率から設定。)	500	500	負担金500千円(愛知県、名古屋市、瀬戸市、豊田市、日進市で構成する東部丘陵線連絡協議会全体事業費6,700千円)	B	目標値にも前年実績にも達していない。今後も参加者アンケートなどを参考に、内容改善を図ったり、体験型イベントを増やすなど、参加者により満足していただけるイベントを目指し、継続して事業を実施する。		
③ リニモウォーキング開催事業	市内外の住民に	→	魅力あるリニモ沿線施設をPRし、交通手段としてのリニモを知り、利用してもらう。	14回開催 延べ参加者数16,800人	ウォーキング参加者数(1回あたり)	1,238	前年度実績を目標とした。	-	-		B	前年に比べ、1回当たりの参加者数が減少している。そのため、リニモ沿線で開催されるイベントと協力したり、他事業者のウォーキングイベントと開催が重ならないような日程調整など、事業費をかけない方法で改善を行う。		
④ リニモ沿線地域づくり活動促進事業	市内外の住民に	→	リニモを積極的に活用した沿線の地域づくりに取り組むことで、沿線の活性化を図る。	3件の事業を支援	採択後8月から3月までのリニモ利用者	4,398	リニモ利用者数前年同期実績(8月~3月)から5%の増加(過去3年間の伸び率から設定。)	125	125	負担金125千円(愛知県、瀬戸市、豊田市、日進市で構成するリニモ沿線地域づくり調査研究会 全体事業費2,000千円)	B	平成26年度は「ぼぶかる連携インタラクティブアートを通じたリニモ沿線活性化」、「Myリニモ&Myタウン」、「リニモは一日イングリッシュタウン!リニモでハロウィーン」の3事業を支援した。平成27年度は、リニモ沿線地域づくり構想の改定を進める。		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 地域公共交通会議運営事業	長久手市第2次地域公共交通総合連携計画で目標としている「みんなで育む公共交通」を進めるため、(仮称)公共交通応援隊を結成し、リニモ利用促進についての取組を行う。			
② リニモ夏休みイベント開催事業	定員数の見直しや体験型イベントを増やすなどを検討する。				
③ リニモウォーキング開催事業	ウォーキングの利用者を増やすため、イベントやほかのウォーキングイベントとのコラボレーションを検討する。				
④ リニモ沿線地域づくり活動支援事業	リニモ沿線の地域づくりを広げるため、新規の事業を対象とする。ただし、平成27年度はリニモ沿線地域づくり構想の改定を行うため、支援は行わない。				

長久手市行政評価票

事業番号	4	事業の名称	職員の人材育成事業		担当部署	部 行政経営部	課 人事課					
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(6)住民の要請に的確に対応する職員を育てる	施策の進め方	(2)人材育成の推進	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	・職員研修計画等に基づき研修を実施し、人材の育成を図る。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	・係長級までの階層別研修については、尾張東部職員研修協議会で協力して実施。 ・その他の研修については、ほぼ同様の研修を実施している。						
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市職員					うち	一般財源	4,650	4,044	5,413	5,300	6,016
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	前例を踏襲し、ただ仕事をこなしていくのではなく、現場に出向き自らの目で見て、考え、市民と協働して仕事をする人材の育成					国費・県費	0	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0	0
					その他	0	0	0	0	0	0	
					受益者負担額	0	0	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~													
① 職員研修	市職員					市研修5回、尾東研修7回、研修センター23コース、その他団体研修16コース	アンケートで研修効果ありと回答した割合	57	92	%	4,650	4,044	5,413	5,300	研修旅費:3,286 研修負担金:1,471 研修委託料:428	A	職員研修は、人材育成の一環として必要であるため、引き続き実施していくこととする。今後は、公募している派遣研修だけでなく、全庁的に必要な能力開発に努め市実施研修にも力を入れていきたい。	
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	5	事業の名称	職員の福利厚生事業	担当部署	部 行政経営部	課 人事課											
基本方針		分野別項目		施策の進め方	フラッグ	フラッグ項目											
事業の概要	・健康診断等を実施し、職員の健康保持を図る。 ・職員互助会へ補助をすることで福利厚生事業を実施し、職員の公務能率の維持促進、元気回復等を図る。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	本市以外の団体においても、職員に対する福利厚生事業は、実施されている。												
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)												
事業の対象 (だれ、何に対して)	市職員、職員互助会			総事業費	うち	一般財源	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	職員の健康保持、公務能率の維持促進、元気回復等を図る。				国費・県費	9,321	9,251	10,214	9,831	10,996							
					地方債	0	0	0	0	0							
					その他	0	0	0	0	0							
					受益者負担額	5	5	5	5	5							
						評価の見方		A 現行どおり実施		B 事業の改善		C 他事業と統合		D 運営主体の見直し		E 事業の廃止の検討	

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の説明
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績			H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)						
					H26実績			H26予算	H26決算						
① 職員健康診断	市職員	4月~   7月~   10月~   1月~	健康保持を図る	人間ドック受診者数244人 健康診断受診者数352人	要精密検査対象者の内、医療機関を受診した職員の割合	30 60 35	%	前年度実績(平成25年度)から5%増	7,262 8,111 8,816	7,197 7,738	人間ドック3,743 健康診断3,893	A 維持 維持	現行どおり実施していく。 H27年度も市役所を会場として特定保健指導を実施するとともに、要精密検査対象者の医療機関の再受診を指導していく。		
② 職員互助会への補助	職員互助会	●   ●	公務能率の維持促進、元気回復等を図る	補助額 2,092,800円	割引サービスResort及びGoodlife利用者数	1,585 1,420 1,650	人	前年度目標値	2,059 2,103 2,180	2,054 2,093	436人×400円×12月=2,093千円	A 維持 維持	現行どおり実施していく。 割引事業の有効活用を啓発しながら、職員アンケートも利用し、職員の福利厚生を増進していく。		
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	6	事業の名称	広報事業	担当部署	部 行政経営部	課 情報課
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(4)行政情報を提供し、住民意見を聴く機会を充実する	施策の進め方	(1)広報内容の充実その他	フラッグ F1「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～
事業の概要	市民に行政情報を提供するため、広報紙を毎月1回発行し、全戸配布している。また、市ホームページにより、リアルタイムの情報提供を行っている。 また、市の取組に興味を持ってもらうため、ひまわりネットワークのケーブルテレビで、30分の情報番組(1日4回以上、月曜日に内容更新)及び特別番組(30分、年2回)を作成、放映することで、市の事業に対して市民の興味を喚起する。番組内主要動画コーナーは市ホームページにてストリーミング配信も行っている。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全ての行政機関で実施している	
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	H25予算 47,830
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民			総事業費	うち	H25決算 47,136
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	長久手市について深く知ってもらう				一般財源	H26予算 54,353
					国費・県費	H26決算 51,608
					地方債	H27予算 54,657
					その他	
				受益者負担額	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
									H26予算	H26決算				
① 広報紙発行	市民	●●●●●●●●●●●●●●●●	毎月1回、広報紙を全戸配布することで	12回発行	広報紙の内容に関する不満度を目標値以下とする(市政・広報e-モニターへのアンケート調査)	1.5 1.4 5	%	前年度アンケートにおける数値を参考に、同値を目標値に設定	21,895 23,813 24,139	20,988 21,571	印刷製本費 14,797 配布委託料 6,775	A 維持 増加	行政からの情報をすべての市民に知らせるために必要であり、確実に全戸に配布される紙媒体であり、手段として最適なものであるため。成果については目標値を大きく上回る結果であり、引き続き多くの市民に読まれるような広報作成に努めていく。	
② 市ホームページ運用	インターネット接続可能な方	→	随時、市の情報を即時的に提供することで	随時	市民に対しては自分の必要な行政情報をいつでも取得できる状態に、市外の方に対しては当市に興味を持ってもらう状態にする。	208,608 773,509 625,824	件	H25実績はシステムリニューアル後のアクセス数(H25.12～H26.3)であり、その値を根拠として1年分のアクセス数を目標値に設定	2,835 2,928 2,928	3,048 2,928	管理委託 2,928	B 維持 維持	土台としてのシステムはできているため、あとは運用面にて、情報の鮮度を落とさないうちに発信すること及びこまめな情報発信に努め、常に最新の情報が掲出されるよう努めていく。	
③ 市政情報番組制作	ひまわりネットワークのケーブルテレビ事業加入者及びインターネット接続可能な方	→	1日4回以上番組を放送(毎週更新)・年2回特別番組を放送市ホームページにて主要動画コーナーを配信することで	CATVにて1日9回放映及び毎週主要コーナーをストリーミング配信	動画ならではの特性を活用し、市の施策、活躍している市民、催し等に興味を持ってもらう。	38.9 42 40	%	前年の視聴頻度を参考に、若干上の数値を目標値とした	23,100 27,171 25,357	23,100 27,165	番組制作委託 27,152	B 維持 削減	職員をレポーターとして起用したり、広報ナビゲーターである「クーデシガーナ」を取り入れた番組構成とし、親近感を向上させている。また、平成26年度より主要ロケVTRコーナーについてストリーミング配信を開始し、CATV加入者以外の方にも視聴いただけるようにした。	
④							%							

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	② 市ホームページ運用	職員に向けて、わかりやすい情報発信についての研修を実施する。			
③ 市政情報番組制作	番組内容を精査し、メープルスペシャルを廃止して経費削減を行う一方、今後もたくさんの視聴者(CATV未加入者含む)にご覧いただけるよう、ストリーミング配信を引き続き実施する。				

長久手市行政評価票

事業番号	7	事業の名称	広聴事業	担当部署	部 行政経営部	課 情報課				
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(4)行政情報を提供し、住民意見を聴く機会を充実する	施策の進め方	(2)住民ニーズの把握	フラッグ F1「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～				
フラッグ項目	(1)広聴機能の強化、(10)市政まなび舎の開催									
事業の概要	市民からの意見や提案などを聴くため「ご意見箱」を市内主要施設及び市ホームページに設けている。また、平成25年7月から市民から積極的に市政について提案いただけるよう市内29の公共施設及び市ホームページで提案募集を行っている。なお、重要な施策や計画について意見を求める「パブリックコメント制度」も活用している。「市政まなび舎」については、平成24年度から6回開催しているが、今年度も3回開催し、市政における課題などを説明し、参加者と意見交換しながら市民のアイデアを市政に取り入れていく。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全ての行政で行っている。					
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	H25予算 0	H25決算 0	H26予算 0	H26決算 0	H27予算 0
事業の対象 (だれ、何に対して)	市に関わるすべての人			総事業費	うち	一般財源	0	0	0	0
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市政に対する意見・提案等を集め、市政にフィードバックすることで、対象者にとってより良いと感じられる行政サービスを実施する。				国費・県費	0	0	0	0	0
					地方債	0	0	0	0	0
					その他	0	0	0	0	0
				受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月～	7月～	10月～	1月～				H26実績	H26決算		事業規模 事業費			
①	ご意見箱	市に関わる すべての人	常時、市内主要施設に設置の ご意見箱及び市ホームペー ジ、市長への提案ハガキに意 見・提案等を寄せてもらうこと	意見・提案等を担当 課及び市長に伝える ことにより、行政サー ビスに反映し、より良 いと感じる行政サー ビスを実施していく。	ご意見箱及 び市長への 提案ハガキ にて随時意 見募集	受付件数 (年間)	522 423 600	件	市民からの提案制度 を設けたことで、約40 件増加しており、これ らの制度について市 民への周知を図り、 対前年度比80件の増 加とする。	0 0 0	0 0 0	0 0 0	A 維持 維持	市長への提案は前年度とほぼ同数だった。ご意見の件数が前年度より少なくなったが、今年度より主要な意見についてはHPで公表を開始しているため、掲載されたものと同様の意見は投稿を回避された可能性もあり、今後積極的に公表していきたい。	
②	市政まなび舎	市に関わる すべての人	年に3回、市政における悩み事 を市民に対して公開する	市政における悩み事 を市民と共有すること により、市民のアイデ アを市政に取り入れ る	年3回実施	参加人数 (延べ)	141 161 150	人	これまで実施した6回 の平均参加者数が50 名であるため、今年 度も同等の参加者数 とした。	0 0 0	0 0 0	0 0 0	B 維持 維持	当年度より出前講座を開始したことにより、市民がテーマ及び日時、場所を選べるようになり利便性が向上した。今後の出前講座の依頼状況及びまなび舎の参加状況を鑑みつつ、事業の統合を視野に入れ、よりニーズに合った事業形態を展開していきたい。	
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	2	市政まなび舎		
			H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	8	事業の名称	常時・選挙時選挙啓発活動		担当部署	部 総務部	課 行政課					
基本方針		分野別項目		施策の進め方		フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	各種選挙での投票率の向上を図ることを目的に、長久手市選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会合同会議にて通常時及び選挙時の啓発活動について検討し、投票への意識を高め、投票率の向上を図る。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣の実施市町 ① 瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町 ② 瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町 ③ 尾張旭市、日進市						
事業期間	事業開始年度	昭和59年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民					うち	一般財源	70	24	36	19	239
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	選挙に対する関心を高め、投票行動につなげる。						国費・県費	152	100	135	90	0
							地方債					
					その他							
						受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① 期日前投票期間中の街頭広報啓発活動	市内の住民	●	当該選挙への投票行動に結び付ける	(呼びかけ)1日約2時間を期日前投票期間及び投票日に実施(配布)市内公共施設等へ啓発物品配布	33.64 52.10	%	当該選挙への投票行動投票率	152 135 204	100 90	消耗品90	B 拡充 維持	投票率が上がるような啓発方法を模索する。	
② 明るい選挙啓発ポスター募集	市内の小中学生	●	選挙そのものへ興味を持ってもらう	小学生26人、中学生33人、高校生1人参加	52 60 52	人	啓発ポスター募集への参加者	70 36 35	24 19	消耗品16	A 維持 維持	現行どおり実施していく。	
③ 選挙出前トーク	市内の小学校6年生	←→	就学時から選挙の重要性を認識してもらう。	北小学校にて実施。	96.7 90	%	参加児童の満足度	0 0 0	0 0		A 維持 維持	現行どおり実施していく。	
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 期日前投票期間中の街頭広報啓発活動	投票率が上がるような啓発方法を模索する。		



長久手市行政評価票

事業番号	9	事業の名称	検査管理事業		担当部署	部 総務部	課 行政課					
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(5)合理的で効果的な行政運営を行う	施策の進め方	(2)公正・透明な行政運営の確立	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	検査員の登録制を導入し、統一的な検査を実施することを目的とする。 建設工事の検査に関する事務について、検査員の登録制を導入し、検査員の選定を行い、検査を実施する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	検査課における検査及び成績評定実施 瀬戸市 500万円以上 尾張旭市 300万円以上 豊明市 250万円以上 日進市 130万円以上						
事業期間	事業開始年度	平成21年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	設計価格250万円以上の建設工事(建築関連除く)					うち	一般財源	0	0	0	0	0
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	工事目的物が契約書に基づき、適正に執行されているかを検査するとともに、工事の品質を確保する。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	
							その他	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~													
① 検査管理事業	設計価格250万円以上の建設工事(建築関連除く)に					評価件数 95件	工事成績評定の 平均点	81.4	82.1	点	前年度実績値	0	0	0	0	A	現行どおり実施していく。	
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	10	事業の名称	共用車・バス・安全運転管理			担当部署	部 総務部	課 財政課																
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(5)合理的で効果的な行政運営を行う	施策の進め方	(1)効率的な行政運営の確立	フラッグ	フラッグ項目																	
事業の概要	法令に基づく車検及び法定点検を実施して不具合箇所の早期修繕を行うことで、車両のコンディションを常時良好に保つ。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	事業所で車を管理する必要がある国・県・民間で必ず実施されている事業である。																		
事業期間	事業開始年度	昭和57年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	共用車、市公用バス				うち	一般財源	3,492	3,545	4,514	5,712	4,623													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	車両のコンディションを良好に保つ。				国費・県費	0	0	0	0	0	0													
					地方債	0	0	0	0	0	0													
					その他	0	0	0	0	0	0													
					受益者負担額	0	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26目標値			H26予算	H26決算		事業規模 事業費		
① 共用車の安全運転管理	財政課が管理する共用車					車両のコンディションを良好に保つ。	修繕20回	指摘された不具合箇所を修繕した回数	13	20	回	前年度実績等を基にした見込数値	3,492	3,545	13号車故障修繕275、11号車故障修繕288、市公用バス故障修繕1,192、法定点検等手数料2,104、重量税227、消耗品費973	A	現行どおり実施していく。不具合箇所等については早期対応によって、修繕料の削減に努める。
② 市公用バスの安全運転管理	財政課が管理するバス					車両のコンディションを良好に保つ。	修繕2回	指摘された不具合箇所を修繕した回数	0	2	回	前年度実績等を基にした見込数値	①に含む。	①に含む。	①に含む。	A	現行どおり実施していく。不具合箇所等については早期対応によって、修繕料の削減に努める。
③																	
④																	
															<b>02-01-01-030-01(自動車管理費)</b> -11-01(消耗品費) 618,000円 -11-06(修繕料) 800,000円 -12(役務費) 2,785,000円 -27-01(重量税) 311,000円 計4,514,000円		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	11	事業の名称	市役所庁舎管理業務		担当部署	部 総務部	課 財政課					
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(5)合理的で効果的な行政運営を行う	施策の進め方	(4)庁舎の整備	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	施設の保守点検を行って指摘された不具合について早急に対応するとともに、執務環境を良好に維持するために改修を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	施設を管理する必要がある国・県・民間で必ず実施されている事業である。						
事業期間	事業開始年度	昭和42年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市役所庁舎					うち	一般財源	16,150	12,432	19,996	24,088	59,019
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施設や執務環境を良好な状態に維持する。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)		成果指標	H25実績	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
						H26実績		H26予算	H26決算			
① 庁舎維持修繕	庁舎	→	不具合個所の早期発見・早期対応に努め、庁舎を良好な状態に維持する。	修繕58箇所	指摘された不具合箇所を修繕した回数	38	前年度実績等を基にした見込数値	3,000	1,871	修繕料2,611千円	A	現行どおり実施していく。不具合箇所等については早期対応によって、修繕料の削減に努める
						58		2,500	2,611			
						50		2,500				
② 庁舎補修工事	庁舎	→	執務環境の改善を目的とした整備を行う。	補修9箇所	整備箇所/整備予定箇所	100	整備すべき箇所について実施できるよう数値を設定した。	3,000	3,028	庁舎補修工事費584千円	A	現行どおり実施していく。不具合箇所等については早期対応によって、補修費の削減に努める
						100		3,000	584			
						100		3,000				
③ 庁舎整備工事	庁舎等	→	庁舎を訪れる市民の利便の向上になるとともに、職員の事務改善にもつなげる。	サイン改修、第2駐車場通路新設、西庁舎北側スロープ改修、本庁舎東出入口自動ドア新設、第1駐車場区画線引き直し、第1・2駐車場ガードマンボックス撤去	整備箇所/整備予定箇所	100	整備すべき箇所について実施できるよう数値を設定した。	10,150	7,533	市役所庁舎等環境整備工事20,893千円	A	現行どおり実施していく。不具合箇所等については早期対応によって、整備費の削減に努める
						100		14,496	20,893			
						100		53,519				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	③ 庁舎整備工事	市役所本庁舎の空調設備が整備から約35年が経過し、近年、経年劣化に伴って設備の根幹に関わる故障も発生するため、改修する。(平成28年度までの継続事業)		

長久手市行政評価票

事業番号	12	事業の名称	長久手市サービスコーナー事業			担当部署	部 総務部	課 市民課					
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(5)合理的で効果的な行政運営を行う	施策の進め方	(1)効率的な行政運営の確立	フラッグ	フラッグ項目						
事業の概要	市民課の出先機関としてアピタ長久手店2階に長久手市サービスコーナー(Nピア)を設置。住民票、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本等の交付、市発行の書籍等の販売及び文化の家チケット等の販売を行っている。年末年始及びアピタ休業日を除き、市役所の閉庁日を含め午前10時から午後7時まで営業しており、開庁時間に来庁出来ない市民等も利用することができる。また、市の行事のパンフレット配布など情報の提供も行っている。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:住民票・印鑑登録証明書の交付(宿直室:土日、祝日9時~17時) 東郷町:住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本の交付(住民課窓口:第2・4土曜日9時~正午) 瀬戸市:住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本の交付(パルティセと市民サービスセンター:毎日8時30分~17時15分菱野団地市民サービスセンター:水~日8時30分~17時15分) 豊田市:住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本の交付及び税関係証明書・納税(駅西口サービスセンター:毎日10時~19時) みよし市:住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本の交付及び税関係証明書・納税(市民情報サービスセンター「サンネット」:月曜日除く10時~19時)							
事業期間	事業開始年度	平成12年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象(だれ、何に対して)	市内外の市民等					うち	一般財源	9,232	8,948	9,700	9,334		9,688
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	仕事、所用等で市役所の開庁時間に来庁できない市民等の利便性を図る。						国費・県費	0	0	0	0		0
							地方債	0	0	0	0		0
						その他	0	0	0	0	0		
						受益者負担額	2,857	3,697	3,077	3,238	3,694		

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	評価の説明
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)	H25実績	H26実績			単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価		
										H26目標値	H26予算		H26決算		
① 各種証明書の交付及び書籍、チケット等の販売業務	市内外の市民等	4月~   7月~   10月~   1月~	仕事、所用等で開庁時間に来庁できない市民等の利便性を図る。	各種証明書発行件数 14,752件 書籍、チケット等販売件数 774件	各種証明書の発行件数及び書籍、チケット等の販売件数	19,335 15,526 21,000	人口が伸びていることにより申請件数の増加が見込まれる。前年度実績×平均伸率11%(地番変更証明を除く各種証明書発行件数、過去5年間)	9,232 9,700 9,688	8,948 9,334	嘱託員報酬 3,595 臨職賃金 2,975 需用費 392 役務費 43 委託料 38 使用料及び賃借料 2,130 備品購入費 159	B 維持 維持	平成26年度実績は目標値を下回ったが、年末年始及びアピタ休業日を除きほぼ毎日営業しており、閉庁日及び閉庁時間でも住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本等を取得することができるため、市民にとって利便性の高い事業となっている。			
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 各種証明書の交付及び書籍、チケット等の販売業務	成果指標の目標値設定の根拠の見直しを実施する。具体的には、基準年度を定めその年度の実績に人口の伸率を掛けたものを目標値とする。また、長久手市サービスコーナー事業の紹介を行っているホームページを更新し、事業案内の充実を図る。		

長久手市行政評価票

事業番号	13	事業の名称	長久手市コミュニティ活動事業費補助金		担当部署	部	課																
						くらし文化部	たつせがある課																
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(2)地域住民が交流する自律的なまちをつくる	施策の進め方	(4)地域の課題に対応できる地域コミュニティの支援・育成	フラッグ	F1「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	フラッグ項目	(5)コミュニティ活動補助金制度の創設														
事業の概要	自治会連合会・区(会)が主体となるよう、地域の課題を自ら解決するための事業費を補助する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	南木曾町 区長設置要綱、区運営交付金要綱 宮城県富谷町 行政区長に関する規則(非常勤職員)、地域振興費補助金 日進市 市民参加及び市民自治活動条例、自治基本条例(第16条)、区長設置条例、市民自治活動推進補助金																	
事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算												
事業の対象 (だれ、何に対して)	地縁組織(自治会連合会・区)					うち	一般財源	7,049	7,026	7,049	9,000	6,738											
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市の施策を補える自律的なコミュニティの形成を目指し、地縁組織への関心を高めて自治会加入率の向上をさせる。					国費・県費	0	0	0	0	0	0											
						地方債	0	0	0	0	0												
						その他	0	0	0	0	0												
					受益者負担額	0	0	0	0	0													
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>												評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																							
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)				評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月～	7月～	10月～	1月～			H26実績			H26予算	H26決算			
① 長久手市コミュニティ活動事業費補助金	地縁組織(自治会連合会・区)に	<p>5月自治会連合会長・区長会で説明・募集をし、地域の課題を解決するために補助金を活用してもらうことで</p>				全世帯数 21,961世帯 加入世帯数 12,446世帯	自治会加入率	55.29	前年実績+1% (加入世帯数そのものが増加傾向にあるため)	7,049	7,026	長小590,940円 西小944,328円 北部1,526,870円 南小1,170,000円 市が洞1,916,551円 岩作区2,147,470円 前熊区283,859円 大草区241,000円 北熊区179,000円	A	防災、防犯など様々な取組を行うことによって、コミュニティの形成を取ることができ、結果、自治会加入率も、毎年人口が伸びる中で、増加できた。	
②		<b>《H25実績、地区別自治会加入率》</b> 全世帯数 21,320世帯 自治会加入世帯 11,787世帯 55.29% 長湫地区長久手小学校区自治会連合会 62.08% 西小校区自治会連合会 39.66% 長湫地区北部自治会連合会 66.30% 南小学校区自治会連合会 47.84% 市が洞地区自治会連合会 59.46%													
③		<b>《H26実績、地区別自治会加入率》</b> 全世帯数 21,961世帯 自治会加入世帯 12,446世帯 56.67% 長湫地区長久手小学校区自治会連合会 62.18% 西小校区自治会連合会 43.25% 長湫地区北部自治会連合会 65.42% 南小学校区自治会連合会 49.62% 市が洞地区自治会連合会 57.49% 岩作区会 66.15% 前熊区 65.46% 大草区会 72.54% 北熊区 57.95%													
		<b>《H26目標値、地区別自治会目標加入率》</b> 全世帯数(見込み) 22,000世帯 自治会加入目標世帯 12,383世帯 56.29% 長湫地区長久手小学校区自治会連合会 63.08% 西小校区自治会連合会 40.66% 長湫地区北部自治会連合会 67.30% 南小学校区自治会連合会 48.84% 市が洞地区自治会連合会 60.46% 岩作区会 60.65% 前熊区 66.22% 大草区会 73.99% 北熊区 59.30%													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	14	事業の名称	協働まちづくり事業			担当部署	部	課				
						くらし文化部	たつせがある課					
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(1)住民と行政が協働するまちづくりを進める	施策の進め方	(3)協働事業提案制度の確立	フラッグ	F1「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	フラッグ項目	(23)協働まちづくり活動助成制度の実施			
事業の概要	長久手市地域協働計画の基本理念は「みんなで進める共助と自治のまちづくり」であり、市民自らが「まちづくりの主役」であることを認識して、様々な人との関わり合いの中で、学びあい、育ち合う取り組みを進め、市民主体のまちづくりの実践活動が活性化することを目的とする。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市：市民参加及び市民自治活動条例(公募提案型協働事業) 豊明市：協働推進委員会(市民提案型まちづくり事業) 東郷町：町民活動団体まちづくり協働事業(NPO公募提案型事業)						
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民活動に関心のある、また現在市民活動を行っている市民					うち	一般財源	1,100	930	1,349	1,349	1,500
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	広く市民に活動に参加する動機づけを行い実践活動に結び付ける。すでに活動に取り組んでいる市民には、さらなる意欲を持ち、協働の意識を持った活動ができる状態としたい。					国費・県費	0	0	0	0	0	
						地方債	0	0	0	0	0	
					その他	0	0	0	0	0		
					受益者負担額	0	0	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～   7月～   10月～   1月～	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績			H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)						
					H26実績			H26決算	H26決算						
① 協働まちづくり事業 活動助成金	市民活動を実施する団体に	●————→ 団体の活動経費の助成を(一事業あたり5万円または10万円)を行うことで	市民のまちづくり活動を支援し、その成長と自立を促す。	応募26団体 採択23団体	応募数	15 26 18	団体	前年度実績+2割増	1,100 1,349 1,500	930 1,349	はじめの一步助成: 400千円 元気な地域づくり助成: 949千円	A 拡充 増加	地域課題解決に向け、幅広いテーマの市民活動が活性化し、申請団体が増加している。 今後、団体が独自の視点で課題をとらえ、自分たちのスキルを活かして行う主体的、継続的な活動を応援する制度となるよう制度を見直す。		
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			NPO法人設立支援事業助成金	まちづくりを担う新たなNPO法人の設立及び運営基盤整備に係る経費を助成する。

長久手市行政評価票

事業番号	15	事業の名称	男女共同参画推進事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	たつせがある課					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(6)男女がともに尊重し、協力し合うまちをつくる	施策の進め方	(1)男女共同参画社会に向けての意識改革と人権尊重	フラッグ	F1「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	フラッグ項目	(26)男女共同参画プランに基づく女性の社会進出の促進			
事業の概要	男女共同参画の視点に立った取組を実施し、市内の環境整備を図る。情報紙作成、PR事業等を実施し、市民(企業)・市役所双方で、男女共同参画社会の実現を目指す。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 第2次男女共同参画基本計画*DV基本計画含む(H24~28) 尾張旭市 男女共同参画プラン(H17~26) 豊明市 第2次男女共同参画プラン(H19~26) 日進市 第2次男女平等推進プラン(H23~32) 東郷町 男女共同参画プラン(H20~29)						
事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	市民・市内の企業等団体及び市役所内					うち	一般財源	16	36	117	115	65
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	男性と女性が性別にとらわれず能力を発揮し、互いを尊重しつつ責任をわかちあうまちづくりを進める。					国費・県費	0	0	0	0	0	
						地方債	0	0	0	0	0	
					その他	0	0	0	0	0		
					受益者負担額	0	0	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段(いつ、どのような手段を使って)						H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~												H26目標値	H26予算
① 男女共同参画標語・川柳募集事業	市民(小学5年以上)に	● →				小中学生の部 225人 一般の部 15人	応募人数	69	240	人	前年度実績+2割増	16	36	26	24	入賞者記念品 16千円	A	特に中学生からの応募が増え、男女共同参画への理解、関心を深めるきっかけとなった。
② 男女共同参画出前講座	市民(市内の企業、地域団体等)に			● ●		自治会向け1回、参加者40人 地域団体向け1回、参加者14人	出前講座回数	-	2	回	市内企業向け1回 地域団体向け1回	40	40	40	40	講師報償金 40千円	A	市民の関心のある身近なテーマで講座を開催したことで、市民が男女共同参画について学ぶきっかけとなった。
③ 男女共同参画プロジェクト事業	市民に	● ● ● ● ● ●				ワークショップ6回、参加者のべ90人 トークセッションイベント1回	男女共同参画サポートチームへの参加人数	-	7	人	ワークショップ定員20名のうち8割程度が継続的な取組に参加することを旨とする。	51	51	11	51	講師報償金 49千円	B	男女共同参画について学び、実践する男女共同参画プロジェクト市民チーム「N十色(ながくてといる)」が、情報紙の企画・編集や、トークセッションイベントの企画に関わることで、市民目線での啓発を行うことができ、市民意識の向上につながった。
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	③	男女共同参画プロジェクト事業		
			H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	16	事業の名称	長久手市観光交流推進事業補助金		担当部署	部	課					
						くらし文化部	たつせがある課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(10)にぎわいあふれる新たな観光交流を進める	施策の進め方	(1)魅力の創出、(2)魅力の発信	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	新たな観光交流のにぎわいを作るため、観光施設や事業者、各種団体、行政等が観光資源の紹介や宣伝、催事等に参加することで、観光交流人口の増加、市の活性化を目指す事業に補助する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	本市の観光交流推進会議の役割にあたる団体として他市町では観光協会を設置している場合が多い。しかし、その運営主体は多くの市町が行政主導で行っている。						
事業期間	事業開始年度	平成17年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	市内外の住民					うち	一般財源	12,700	12,661	11,200	10,569	6,500
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	本市を訪れる観光交流人口を増加させる。					地方債						
						その他	1,500	1,505	1,500	1,295	1,500	
						受益者負担額	800	690	800	695	800	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的		事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明
① イルミネーション事業(「ながくて冬まつり」)の実施	市内外の住民	観光交流推進会議員に、公募の市民も加えた実行委員会を立ち上げ、企画・広報・イルミ協働の各部会で実施に向けた検討を行うこと	本市を訪れる観光交流人口を増加させる。	実行委員会7回開催 各部会計11回開催	事業参加者(来場者及びイベント参加者)	—	2,800	人	集計済みのH24年度実績(2,100人)より10%増加	6,500	6,522	事業費5,415千円 イルミネーション購入費677千円 事務費173千円	A	市の事務局主導の運営主体から実行委員会が主体となった運営への見直しを図り、実行委員会へ事務局事務を一部移管した。今後は事業収入の増加を図り、市の補助金に依存した運営からの脱却を目指す。
						2,300			5,500		維持			
										維持				
② プロモーション事業	市内外の住民	HP, Facebookの定期的な更新、ガイドブック等の作成、雑誌掲載への協力等を行うこと	本市を訪れる観光交流人口を増加させる。	HP, FB更新 パンフレット類作成 雑誌掲載等	観光交流人口	358	372	万人	集計済みのH24年度実績(355万人)より5%増加	3,500	3,444	HP管理更新委託837 ガイドブック作成415 グルメマップ作成486 KELLY掲載432	C	HP, FBの更新、パンフレット類の作成を積極的に行った。今後はより効果的なプロモーション事業を実施するため、観光PR事業と統合し実施する。
						370			2,500		縮小			
										削減				
③ 観光PR事業	市内外の住民	情報紙(季刊発行)の発行やスマートフォン向け観光情報アプリの検討等を行うこと	本市を訪れる観光交流人口を増加させる。	観光情報紙作成、スマホ向けHP作成、情報発信スタッフ委託	観光交流人口	358	372	万人	集計済みのH24年度実績(355万人)より5%増加	4,200	4,200	観光情報紙作成200 スマートフォン向けHP作成410 情報発信スタッフ委託315	C	観光情報紙やスマホ向けHPの作成を実施した。今後はより効果的な観光PR事業を実施するため、プロモーション事業と統合し実施する。
						370			※②に含む		縮小			
										削減				
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	②	プロモーション事業		
③	観光PR事業	プロモーション事業と観光PR事業と分けて実施していたが、連携することによる相乗効果が期待できる両事業であるため、H27年度は両事業を統合し、より効果的かつ効率のよい事業を実施する。		



長久手市行政評価票

事業番号	17	事業の名称	長久手市国際交流協会補助金			担当部署	部	課				
						くらし文化部	たつせがある課					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(7)地域全体で国際交流を進める	施策の進め方	(3)国際交流協会の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	本市の特性を生かした国際交流事業を展開し、市民レベルでの国際交流、国際理解を深める活動、事業に対し、補助を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県国際交流協会 日進市国際交流協会 豊明市国際交流協会						
事業期間	事業開始年度	平成3年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	地域住民、在住外国人					うち	一般財源	6,200	6,200	2,340	2,340	4,796
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	外国人との良好な関係が保たれ、市民レベルでの様々な交流が活発に展開されること。						国費・県費					
							地方債					
					その他							
						受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
							H26目標値	単位	H26予算	H26決算			
① 国際交流協会補助金	地域住民、 在住外国人	→	参加者の国際交流や 国際理解を深める。	国際交流協会 会員数 429人	国際交流協会 会員数	422	人・団体	6,200	6,200	補助金2,340千円	A	引き続き、国際交流、国際理解を深めていく必要はある。平成27年度については、協会を市から独立した運営を進めるため、プロパー職員を雇用する補助分を増加する予定。	
②						429		2,340	2,340				
③						444		4,796					
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	18	事業の名称	住民プロジェクト推進事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	たつせがある課					
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(1)住民と行政が協働するまちづくりを進める	施策の進め方	(1)「新しい公共」の担い手としての意識の醸成	フラッグ	F1「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～					
						フラッグ項目	(24)協働コーディネーター・まちづくりリーダーの育成					
事業の概要	地域の課題を地域で考え地域で取り組む「新しいまちづくりの仕組み」をつくるために、市民や市職員を対象としたワークショップを開催し、市民力及び職員力の向上を図ることを目的とする。 市民ワークショップ(市職員18名+市民約35名)8回程度開催・先進地合宿研修・プロジェクトの企画・運営				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	広島県福山市:中心市街地賑わい創出活動支援事業(福山市若手職員F-Netによるワークショップ運営) 新潟県燕市:つばめ若者会議(燕市の次世代リーダー育成、若手市民の主体的まちづくり活動の推進)						
事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度	平成26年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民及び市職員					うち	一般財源	4,898	4,349	5,229	4,890	4,729
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民ワークショップを通して、市民や市職員の地域づくりの当事者としての意識を高め、地域のことを地域で考え、地域で取り組む「新しいまちづくりの仕組み」ができてくる。					国費・県費	0	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	0
					受益者負担額	0	0	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月～	7月～	10月～	1月～			H26実績		H26予算	H26決算			
①	市民ワークショップの 運営	市民及び市 職員が	実践的なワークショップを実施 することで、	市民協働プロジェクト を自主的・主体的に 企画・運営できるよう にする。	市民ワーク ショップ8回	ワークショップの 参加者が、参加 してよかったと回 答した割合	- 75 70	%	各回のワークショップ が有意義なものであ ると感じた参加者が、 平均して7割程度で あることを目指す。	4,898 5,229 4,729	4,349 4,890	住民プロジェクト推進 事業業務委託 4,890千円	A	市民と市職員のチームがワークショップでの 話し合いや先進地視察を行い、その成果発 表の場を自分たちで企画・運営したことで、 新しい市民協働の仕組みが進んだ。 今後は、自分たちが考えたプロジェクトを自 分たちで実践していけるように、チームの運 営体制づくりや、メンバーのスキルアップを 図る。
②														
③														
④														

事務事業の改 善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	19	事業の名称	地域共生ステーション事業	担当部署	部 くらし文化部	課 たつせがある課				
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(2)地域住民が交流する自律的なまちをつくる	施策の進め方	(2)コミュニティ活動拠点の整備	フラッグ F1「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～				
事業の概要	地域住民・住民団体・事業者・市職員が気軽に集まり、語り、地域のための様々な取り組みを行うための拠点となる地域共生ステーションを小学校区ごとに整備します。 現在先行して整備した西小学校区共生ステーションでは、地域の課題を市民自らが見出し、その課題の解決の糸口となるプログラムを実施します。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	【瀬戸市】 地域交流センター 運営主体:地域力推進協議会(指定管理者) 【高浜市】 ふれあいプラザ 運営主体:まちづくり協議会(指定管理者・管理委託)					
事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	-	総事業費(単位:千円)					
事業の対象(だれ、何に対して)	市民			総事業費	うち	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	小学校区ごとに地域共生ステーションを整備し、地域組織による運営を通して、地域の課題を地域住民自らが考え地域で取り組むことができるようになる。				一般財源	10,699	5,975	10,879	10,879	11,564
					国費・県費					
					地方債					
					その他					
					受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的		事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明
										H26目標値	H26予算			
① 地域共生ステーションづくりワークショップ運営事業	市民	4月～7月～10月～1月～	小学校区ごとの地域の状況に応じた地域共生ステーションづくりを主体的に進めることができるようになる。	北小校区3回:60人 南小校区4回:72人 市が洞校区3回:24人 上郷地区1回:6人	ワークショップ参加者数	346 162 360	人	北小校区5回:100人 南小校区5回:100人 市が洞校区5回:100人 上郷地区3回:60人	5 61 40	5 61	ワークショップ消耗品費:60千円 ワークショップ食糧費:1千円	A 維持 維持	各小学校区の地域共生ステーションの整備に向け、目標値に近い、ワークショップの開催を行い、一部の部会では、市民が主体的な運営を行えるようになってきた。前年度実績に比べ平成26年度実績が減少したのは、北小学校区において平成25年度は、ステーションで行ってみたいことの企画をし、平成26年度は実際に企画を実施する機会を増やしたため、実施に際し、参加者は延べ608人の参加があった。	
② 地域共生ステーション運営事業	市民	4月～7月～10月～1月～	地域の課題を地域住民自らが考え地域で取り組む環境を整える。	33プログラム団体 285回実施	地域課題の解決につながるプログラム実施数	9 285 24	回	市民提案型プログラムの実施 月2回×12か月=24回	10,694 10,818 11,524	5,970 10,818	人件費:嘱託員1,734千円、臨時職員3,014千円 管理費:需用費1,362千円、役務費196千円、委託料350千円 施設賃借料:4,162千円	A 拡充 増加	地域住民が主体となって、子育て、生きがいの、ケア等のテーマで地域課題解決のプログラムを目標値以上に実施できた。	
③														
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	20	事業の名称	交通安全啓発事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	安心安全課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(3)交通安全意識を高める気持ちを育む	施策の進め方	(1)交通安全教育の充実、(2)交通安全啓発の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	交通安全思想の普及・啓発のため、交通安全街頭活動やキャンペーンの実施、高齢者や自転車利用者ほか市民を対象とした交通安全教室の開催等により、市民の交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナー向上を推進し、交通事故防止を図る。 ・交通安全啓発活動事業 交通安全街頭啓発活動(延46日、うち交通安全県民運動期間22日)、交通安全教室、啓発キャンペーン等 ・幼児・児童・生徒に対する交通安全教育 交通安全教室(幼児、児童)、児童自転車交通安全教室、指導者研修会(市内の幼稚園・保育園の保護者対象。幼児交通安全指導者育成を目的開催)、黄帽子・ランドセルカバーの配布(新入学児童対象) ・交通安全啓発グッズデザインコンクール作品募集事業				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	国、県始め各市町村で実施されている。						
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	総事業費	3,202	2,605	3,300	2,908	3,207	
事業の対象(だれ、何に対して)	長久手市民(在学・在勤者、通過交通含む)					うち	一般財源	3,202	2,605	3,300	2,908	3,207
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づける。					うち	国費・県費	0	0	0		
						うち	地方債	0	0	0		
						うち	その他	0	0	0		
						受益者負担額	0	0	0			

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的		事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	H26目標値	H25予算	H25決算	H26決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明		
						4月~	7月~	10月~	1月~	H26目標値	H26予算				H26決算	H27予算
① 交通安全啓発活動事業	長久手市民(在学・在勤者、通過交通含む)に	交通安全街頭活動への参加、交通安全教室の開催、キャンペーンの実施することで	交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図る	県民運動期間中の街頭活動延べ参加者2,676人、交通安全教室延べ参加者697人	人身事故発件数	414	362	408	2,210	1,702	2,199	1,948	2,091	1,948	A	時代の情勢により様々に変化する交通安全上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施していく必要がある。
② 幼児・児童・生徒に対する交通安全教育	長久手市民(在学者含む)に	交通安全教室や指導者研修会の開催、交通安全黄帽子等の配布することで	交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図る	交通安全教室等延べ参加者2,342人、黄帽子等の配布666組、交通安全ワッペン242個	人身事故発件数	414	362	408	785	761	888	815	919	リボン代9ランドセルカバー、黄帽子代806	A	時代の情勢により様々に変化する交通安全上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施していく必要がある。
③ 交通安全啓発グッズデザインコンクール作品募集事業	長久手市立小中学校生に	夏休みを利用し交通安全ポスターや標語など交通安全啓発グッズのデザインを募集し、受賞発表後に啓発グッズを作成することで	交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図る	交通安全啓発グッズデザインコンクール応募者381作品	応募件数	310	381	326	207	142	213	145	197	参加賞賞品代77入賞賞品68	A	応募総数が減少していることから、応募総数を増加させ目標数が達成できるような事業改善を実施する。
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 交通安全啓発活動事業	交通安全実施要綱に基づき、効果的な方法を模索しながら周知啓発に努める。具体的には、自転車利用の多い大学生に対し、大学の協力を得て交通ルールを遵守、マナーアップの周知啓発を継続する。		
② 幼児・児童・生徒に対する交通安全教室	交通安全実施要綱に基づき、効果的な方法を模索しながら周知啓発に努める。具体的には、学校区単位で学校及び児童に取り巻く地域住民団体との連携を図る部会を立ち上げるなどし、地域性に応じた交通安全の普及促進に努める。			
③ 交通安全啓発グッズデザインコンクール作品募集事業	応募総数を増やすため、児童生徒の交通安全意識を高める必要がある。具体的には、小中学校での交通安全教室を増やすなどし、児童生徒が交通安全について考える機会を増やす。			

長久手市行政評価票

事業番号	21	事業の名称	巡回バス運行事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	安心安全課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(6)快適で便利な交通移動を確保する	施策の進め方	(2)バス路線網整備の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	<p>・「公共施設の利便性向上」「高齢者や子ども等交通弱者の社会参加促進」及び「市内の交通空白地帯の解消」「子育て支援」「通勤・通学の利便性の向上」を目的に、市所有の小型バス5台で、市内を7ルート、82便/日で運行する。</p> <p>・平成16年に購入した車両の老朽化に伴い、バリアフリー非対応の現行の車両にかわるバリアフリー対応のノンステップバス車両を購入する。</p>				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成26年5月1日現在、県内において、54市町村のうち49市町村(約91%)でコミュニティバス(自主運行バス)が運行されている。						
事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市民(在学・在勤者)					うち	一般財源	86,114	84,947	95,452	110,318	102,516
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	長久手市民(在学・在勤者)の市内交通の利便性の向上						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
							その他	0	0	0	10,000	0
受益者負担額					0		0	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① N-バス運行事業	長久手市民 (在学・在勤者、通過交通含む)	→	市民の市内交通の利便性の向上を図る。	利用者数 231,832人(うち 有料乗車人数 46,304人)、運 行日数359日 (平均乗車数 645人/日) 運行負担金 88,986千円	年間利用者数	215,788 231,832 227,008	人	平成23年度から平成25年度までの平均対前年度増加率は、5.2%であるため、平成26年度は5.2%増加を目標値とした。	86,114 95,452 102,516	84,947 92,744	運行業務負担金88,986千円、運行計画検討調査費3,564千円、印刷製本費195千円	A 維持 維持	引き続き利便性向上に向けた取組を進めるとともに、N-バスの周知・PRにより、市民の足となるよう努める。
② N-バス購入事業	長久手市民 (在学・在勤者、通過交通含む)	→	市民の市内交通の利便性の向上を図る。	平成27年4月からの新車両で運行した	平成27年4月からの新車両での運行	— — 0		早期に市民に快適なバス環境を提供するため、平成27年度当初から新車両での運行開始を目標値とした。	— — 0	17,543	小型バス購入17,388千円、諸費用155千円	A 維持 削減	車両更新により故障が減少するとともに、全車両がノンステップとなるため市民の利便性が上がった。
③													
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	22	事業の名称	セーフティステーション・防犯パトロール事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	安心安全課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(2)地域の防犯力を高める	施策の進め方	(1)地域防犯力の向上	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	犯罪の防止及び交通安全対策に努め、住民意識の高揚を図ることにより、安心して安全なまちづくりを推進するため、セーフティステーションに職員を配置し、防犯や交通安全に関する相談・指導などの窓口対応及び青色回転灯付きパトロールカーでのパトロールを行う。また、子どもを巻き込む犯罪を防止するため、下校時間帯を中心に学校、公園の周辺及び通学路を青色回転灯付きパトロールカーで、防犯広報を行いながら市内パトロールを行う。 ・セーフティステーション事業 開所:月水金 午前10時～午後10時、火木土日祝日 午後1時～午後10時、年末年始を除く361日間。 ・防犯パトロール事業 セーフティパトロール(午後1時～午後10時の間に昼間・夜間の2回、市内を3地区に分け、セーフティパトロールカーにて巡回)及び、セーフティパトロール(子ども)(平日概ね午後2時から4時過ぎまで(下校時間帯)に、市内を3地区に分け、セーフティパトロールカーにて巡回)を実施。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載) 日進市ひまわりステーション : 赤池駅前 H17.4～、日進駅前 H18.11～、月13～21時、火～金14～21時、 (他に市役所内勤及びパトロール担当で1名) 警察官OB3名で青パト3台 幸田町地域安全ステーション:H20.4～ 平日7～17時、青パト1台							
事業期間	事業開始年度	平成17年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	全市民					うち	一般財源	16,561	16,269	15,003	14,922	15,552
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	住民の防犯・交通安全意識の向上。児童が街頭犯罪に巻き込まれるのを防ぐ。					国費・県費	0	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的		事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	評価	評価の説明
						4月～	7月～	10月～	1月～	H26目標値					
① セーフティステーション事業	全市民に	→	住民の防犯・交通安全意識の向上を図る。	相談受付・指示事項等延べ件数2,102件(ステーション114件、パトロール1,988件)	刑法犯の犯罪発生状況	885	903	件	愛知県において、前々年度実績(平成24年:104,984件)から前年度実績(平成25年:96,839件)が7.8%減少しているため、前年実績から7.8%減少	16,561	16,269	15,003	14,922	A	セーフティステーションは、警察OB職員による防犯等に関する相談・指導や、青色回転灯付きパトロールカーでの防犯パトロールの拠点として、安心して安全なまちづくりの推進に大きく寄与しており、A評価とした。
② 防犯パトロール事業	全市民に	→	市内の街頭犯罪の防止及び児童が街頭犯罪に巻き込まれるのを防ぐ。	セーフティパトロール実施日数年361日	刑法犯の犯罪発生状況	885	903	件	愛知県において、前々年度実績(平成24年:104,984件)から前年度実績(平成25年:96,839件)が7.8%減少しているため、前年実績から7.8%減少	※上記に含む	16,269	※上記に含む	14,922	A	青色回転灯付きパトロールカー2台でのパトロールは、年末年始の4日間を除く361日実施しており、安心して安全なまちづくりの推進に大きく寄与しておりA評価とした。
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	23	事業の名称	防犯啓発事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	安心安全課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(2)地域の防犯力を高める	施策の進め方	(1)地域防犯力の向上	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	防犯意識向上の普及・啓発のため、街頭活動やキャンペーンの実施、児童、高齢者、市民を対象とした防犯教室の開催等により、市民の防犯意識の啓発、地域の絆づくりを推進し、犯罪抑止に努める。また地域の自主防犯ボランティア団体の設立支援、育成を行い、地域防犯を推進する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	国、県始め各市町村で実施されている。						
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	全市民					うち	一般財源	712	601	809	745	805
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	犯罪被害に遭わないよう、防犯意識の向上。						国費・県費	712	601	809	745	805
							地方債					
					その他							
						受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
							4月~	7月~	10月~	1月~	H26目標値			
① 防犯啓発事業	全市民に	●●●●●●●●●●	防犯意識の向上	防犯教室延べ参加者 717人、キャンペーン実施回数延べ 3回	刑法犯の犯罪発生状況	885	903	件	愛知県において、前々年度実績(平成24年:104,984件)から前年度実績(平成25年:96,839件)が7.8%減少しているため、前年実績から7.8%減少	212	303	啓発品167	A	時代の情勢により様々に変化する防犯上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施していく必要があり、刑法犯犯罪発生状況としては、H25年度に比べ増加しているが市民灯を対象とした啓発事業等により、防犯意識の向上に努めてきたため、A評価とした。
② 子どもの防犯啓発事業	長久手市民 (在園、在学者含む)に	●●●●●●●●●●	防犯意識の向上	防犯ブザー 666個、啓発冊子 666冊 配布	刑法犯の犯罪発生状況	885	903	件	愛知県において、前々年度実績(平成24年:104,984件)から前年度実績(平成25年:96,839件)が7.8%減少しているため、前年実績から7.8%減少	332	287	防犯ブザー368	A	時代の情勢により様々に変化する防犯上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施していく必要があり、刑法犯犯罪発生状況としては、H25年度に比べ増加しているが市民灯を対象とした啓発事業等により、防犯意識の向上に努めてきたため、A評価とした。
③ 自主防犯活動支援事業	自主防犯ボランティア団体をはじめとする市民に	●●●●●●●●●●	自主防犯活動の活性化、地域との連携強化	団体会議への職員の出席26回、防犯ボランティア養成アカデミーの開催(1回、参加者52人)、活動支援資機材の提供	市自主防犯ボランティア登録団体数	20	26	団体	前年度実績より1団体の増加	168	11	子どもの誘拐防止読本101	A	連絡会議や「ボランティア養成講座」等で、積極的な団体の活動紹介事例に触発される他団体がいた。資機材貸与充実、防犯情報提供、地域会合への職員の積極的参加、他機関との仲介等で、世代交代に悩む団体のフォローをしつつ、新たな地域ボランティア立ち上げを支援する。
④														

事務事業の 改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	24	事業の名称	防犯街路灯整備事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	安心安全課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(2)地域の防犯力を高める	施策の進め方	(4)夜間でも安心して歩けるまちづくり	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	女性や高齢者が一人でも安心して街を歩ける安全なまちづくりを推進する。防犯施設の充実と共に住民の自主防犯意識の高揚を図ることを目的に、市内の適正箇所に防犯街路灯の設置、また既設の維持管理を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市、東郷町においては、行政が防犯街路灯の整備・維持管理を行っている。豊明市においては、自治会等で設備・維持管理を行い、行政が事業に対して補助金を出している。						
事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	全市民					うち	一般財源	22,203	21,439	21,842	19,750	22,042
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	防犯街路灯の整備によって、市民の生活の安全を守るための環境を整える。						国費・県費					
							地方債					
							その他					
						受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
									H26予算	H26決算				事業規模 事業費
① 防犯街路灯維持管理事業	全市民に	 市民やセーフティパトロール等からの防犯街路灯の修繕依頼に対し、契約業者へ修繕を指示することで	防犯街路灯を適切に管理することにより、市民の生活の安全を守るための環境を維持する。	・球切:147件 ・器具取替:116件・点滅器不良:14件・機器移設:21件・撤去2件	修繕依頼数に対する修繕数の割合	100 100 100	%	前年度実績	19,868 19,695 19,936	19,213 17,627	主な修繕費の内訳 ・球切:588 ・器具取替:3007 ・点滅器不良:69 ・機器移設:36 光熱水費13165	A	古いタイプの防犯街路灯をLEDタイプの防犯街路灯に取り替えることにより、球切れ件数の減少に結びついた。今後も、修繕や光熱費といった維持管理費を削減するため、省エネ・長寿命であるLEDタイプの防犯街路灯の設置を進めていく。	
② 防犯街路灯整備事業	全市民に	 (要望受付(現地調査(設置工事) (同時設置) (集約))	必要とされる場所に防犯街路灯を設置することにより、市民の生活の安全を守るための環境をつくる。	防犯街路灯新規設置本数:75灯	地域住民からの要望数に対する新規設置数の割合	90 85 100	%	全ての要求に対し、なるべく応えたいため、高い数値で目標設定した。	2,335 2,147 2,106	2,226 2,123	新規設置工事費 2,123(75灯)	A	市民の要望には設置基準や要件を満たすものについて全て対応できたため、A評価とした。今後も宅地開発等により防犯灯設置必要箇所の増加が考えられるため、設置を進めていく。	
③														
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	



長久手市行政評価票

事業番号	25	事業の名称	尾張市町交通災害共済加入促進事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	安心安全課					
基本方針		分野別項目		施策の進め方		フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	市民の生活安定と福祉増進への寄与のための交通災害に関する相互共済制度の普及のため、交通災害に備え、市民の共済加入を促進するとともに、事故に遭いやすい高齢者や児童に対し共済会費を市が負担する。なお、民間保険の普及や子ども医療費無料対象の拡大に伴い、市負担について見直しを行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	・尾張市町交通災害共済加入市町11市町(北名古屋市、岩倉市、扶桑町、豊山町、豊明市、東郷町、日進市、尾張旭市、清須市、大口町) ※補助制度:北名古屋(中学生以下と70歳以上に半額補助)、 岩倉市(75歳以上と身体障害者手帳又は療育手帳所持者に全額補助)、 扶桑町(小中学生と70歳以上、身体障害者手帳等所持者に半額補助)、 豊山町(中学生以下と70歳以上に半額補助) ・新城北設交通災害共済(新城市)…掛金 一人年額360円						
事業期間	事業開始年度	昭和46年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	住民基本台帳に記載されている人					うち	一般財源	5,380	5,166	5,549	5,463	5,809
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	加入率の向上と制度の利用促進。						国費・県費					
							地方債					
						その他						
						受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
										H26目標値	H26予算		H26決算		事業規模	
①	尾張市町交通災害共済加入促進事業	住民基本台帳に記載されている人	4月~   7月~   10月~   1月~ 	加入者数 14,667人、共済掛金総額7,322千円、うち市補助金額4,579千円、見舞金給付件数30件、支給額2,510円	加入率	28.0	26.8	%	平成24年度から加入率はほぼ横ばいで推移しているため、この水準を維持する。	5,380	5,166	5,549	5,463	5,809	広報折込手数料77、高齢者・小学生加入補助金4579、用紙印刷339、電算委託415	B 加入率はほぼ横ばいで推移している一方、市が扶助する対象者は年々増加している。近年の行政が掛金負担をする市町村の減少、民間の保険制度が充実する中、本市の補助制度を見直す必要がある。
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	①	尾張市町交通災害共済加入促進事業		

長久手市行政評価票

事業番号	26	事業の名称	防災訓練実施事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	安心安全課					
基本方針		分野別項目		施策の進め方		フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～					
						フラッグ項目	(47)MJMの推進(M=まちは J=自分で M=守る)					
事業の概要	市民1人1人が防災意識を高めるとともに、関係機関等の連携を確認し、今後懸念される大地震で被害を最小限に抑えることを目的とする。 市民に防災意識を高めていただくため、企画段階から市民や防災関係機関等に関わっていただき、市内一斉に避難訓練や避難所運営訓練を市民参加型で行う。また市役所は災害対策本部を立ち上げるとともに、会場となる避難所との情報伝達訓練などを行い、市民、関係機関、行政が連携した訓練とする。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市、瀬戸市、東郷町で同様の訓練を実施。尾張旭市では、自主防災組織に救助救出訓練に参加していただいたり、消防・警察・自衛隊などが連携して事前に訓練内容を知らせずに行うブラインド訓練を実施している。日進市では、地区の訓練を持ち回りで実施している。 また、みよし市では1つの中学校区で市主導の総合防災訓練を行うほか、その他の地区では自主防災会が中心となり個別に自主的な防災訓練を実施している。 岡崎市では、過去の災害の教訓から、全市一斉の防災訓練を行い、全ての避難所を開設し、市民は避難訓練や避難所運営訓練を実施している。						
事業期間	事業開始年度	不明	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	市民、市職員、企業、消防・防災関連団体、ボランティア団体					うち	一般財源	935	856	848	566	1,034
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	市民や各種団体、市職員それぞれの立場で防災意識を高め、災害時に応急対応を行うことができるようにする。						国費・県費					
							地方債					
						その他						
						受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的		事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明
										H26予算	H26決算			
① 市内一斉防災訓練実施事業	市民、市職員、企業、消防・防災関連団体、ボランティア団体	4月～   7月～   10月～   1月～	総合防災訓練に市民の参加を呼び掛け、防災意識を高める。	参加者 3,349人	訓練参加者数	3,327 3,349 3,500	人	住民 長小1,000 西小300 東小400 北小600 南小500 市が洞300 団体及び市職員400	935 848 1,034	856 566	防災訓練に使用する啓発品、事務用品等566千円	A	市民、市職員、関係機関等が連携し防災訓練を実施できた。参加者からの要望・改善案などを検証し、今後も地域の防災力を向上させる為、実践的な防災訓練を開催していきたい。	
②														
③														
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	27	事業の名称	自主防災報告会実施事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	安心安全課					
基本方針		分野別項目		施策の進め方		フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～					
						フラッグ項目	(48)地震対策啓発講演会の開催					
事業の概要	市民1人1人が防災意識を高めるとともに、地域における自主防災活動を活性化し、今後懸念される大地震で被害を最小限に抑えるため、防災活動を中心的に行う人材を育成することを目的とする。 今後本市を含めた広い地域で甚大な被害が出ると懸念されている、南海トラフにおける巨大地震の発生に備え、自主防災活動を活性化する必要がある。 地震を防ぐことは不可能であるが、地震による被害を最小限に食い止めるため、自分のまちは自分で守るという自助・共助の意識を高めていくため、自主防災活動の活性化について検討、意見交換を行なうための自主防災会報告会を開催する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市、瀬戸市では同様の研修を実施しているほか、県内では武豊町、一宮市、田原市などで毎年カリキュラムを組み、スキルアップ的な講座を実施するなど先進的に取り組んでいる。						
事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民					うち	一般財源	60	45	60	0	60
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民1人1人の防災意識を高め、自主防災活動を活性化するとともに、自主防災会の報告会を行なうことで各防災会の連携を深め、自主防災活動の活性化を図る。					国費・県費						
						地方債						
					その他							
					受益者負担額							

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)				評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~													
① 自主防災会報告会 実施事業	市民	4月~	7月~	10月~	1月~	44人 (30組織)	30	44	人	自主防災組織が構築してある自治会から各2名ほど	60	45	60	0	60	B	平成26年度に開催された防災講習会、自主防災活動の活性化について検討、意見交換を行なった。今後も報告会を通して、各防災会の連携を強化し、防災活動を中心的に行なう人材育成を目指していく。	
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 自主防災会報告会 実施事業	防災会の連携を深め、活動が活性化される報告会が開催できるよう検討する。		

長久手市行政評価票

事業番号	28	事業の名称	自主防災活動支援事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	安心安全課					
基本方針		分野別項目		施策の進め方		フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～					
						フラッグ項目	(49)自主防災用機材の貸与					
事業の概要	自主防災組織を設立した地区及び設立を目指す地区が行う自主防災活動を支援することを目的とする。自主防災組織や自治会等からの防災講習会の申込みに基づき、市職員及び防災関連団体(防災ボランティア、日赤、消防団等)を派遣し、各地区の地元で防災講習会を実施する。また、新たに自主防災組織の設立を目指す地区について、①自治会単位での防災講習会または防災訓練を年間3回以上実施、②参加者が概ね世帯数の3分の1以上または30名以上、などの一定の条件を満たした場合に、防災倉庫及び防災資機材を貸与する。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全国の市町村で同様に自主防災活動の支援を実施している。						
事業期間	事業開始年度	不明	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	自主防災組織や自治会等					うち	一般財源	5,555	5,697	5,600	4,333	2,134
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	防災意識を高めてもらうとともに、地域の絆を深め、地域防災力の高いまちを目指す。						国費・県費	2,295	2,150	2,750	2,081	1,066
							地方債					
					その他							
						受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的		事務事業の実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価					
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明		
										H26目標値	H26予算				H26決算	
① 防災講習会実施事業	自主防災組織や自治会等に	4月～   7月～   10月～   1月～	防災意識を高めてもらうとともに、地域の絆を深め、地域防災力の高いまちを目指す。	2,279人	参加者数	2,164	2,279	人	平成23年度参加者1,800人 平成24年度参加者2,404人	0	0	0	0	A	防災講習会開催数、参加人数とも前年度に比べ増加した。今後も防災講習会の開催、防災リーダーの育成等、地域の防災力を高めるための援助をしていきたい。	
② 自主防災資機材貸与事業	自主防災組織の設立を目指す地区に	4月～   7月～   10月～   1月～	防災意識を高めてもらうとともに、地域の絆を深め、地域防災力の高いまちを目指す。	組織率(52/99)=52.5%	自主防災組織の組織率	39.4	52.5	%	99自治会のうち、47地区が組織化することを目標設定の根拠とした。 組織率(47/99)=47.5%	7,850	7,847	8,350	6,414	3,200	A	今後も地域の防災力を高めるため、組織率の向上を目指す。今後も防災講習会の開催を継続し、貸与条件を満たす地区を増やしていく。
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	29	事業の名称	太陽光発電システム設置補助金		担当部署	部	課																	
						くらし文化部	環境課																	
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(1)環境にやさしいまちをつくる	施策の進め方	(3)温室効果ガス削減の推進	フラッグ	F3「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	フラッグ項目	(52)太陽光発電システム設置補助制度の実施															
事業の概要	長久手市環境基本条例の本旨に基づき、環境への負荷の少ない循環型社会に変革する環境保全意識の高揚を図るため、住宅用太陽光システムを設置しようとする者に対し、予算の範囲内において交付する。(設置する太陽電池の最大出力について20千円/kw、上限4kw80千円を補助)				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	国:35千円/kw(上限10kw未満) 県:4千円/kw(上限4kw)市の補助金を含む 名古屋市:20千円/kw(上限10kw未満) 瀬戸市:20千円/kw(上限4kw) 尾張旭市:20千円/kw(上限4kw) 日進市:20千円/kw(上限4kw) 豊明市:20千円/kw(上限4kw) 東郷町:30千円/kw(上限4kw)																		
事業期間	事業開始年度	平成13年度	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	自ら居住する市内の住宅(店舗等との併用住宅を含む。)に新たにシステムを設置するもの及び市内に自ら居住するための住宅の新築に合わせてシステムを設置するもので、かつ、市税の滞納がないもの。				うち	一般財源	3,646	3,414	3,584	3,242	3,311													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	環境への負担が少ない自然エネルギーの利用を促進するとともに、温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止へ寄与する。					国費・県費	354	570	416	675	689													
						地方債	0	0	0	0	0													
						その他	0	0	0	0	0													
						受益者負担額	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)				評価						
		4月~	7月~	10月~	1月~			成果指標	H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		年度を通じて予算の範囲内において補助金を交付することで						交付件数 52件 執行額 3,917,000円	施設出力 (1件当たり3kw)	kw	4,000千円÷60,000 ≒66.7件 算出した件数を仮定 した3kwに掛けること により目標値とした。 66.7件× 3kw=200.1kw	H27予算						事業規模 事業費			
① 長久手市住宅用太陽光発電システム設置整備事業補助金	自ら居住する市内の住宅に新たにシステムを設置するもの及び市内に自ら居住するための住宅の新築に合わせてシステムを設置するもので、かつ、市税の滞納がないもの。					環境への負担が少ない自然エネルギーの利用を促進するとともに、温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止へ寄与する。	交付件数 52件 執行額 3,917,000円	施設出力 (1件当たり3kw)	kw	237.73	237.72	200.10	1件あたり3kwと仮定。 1kwあたりの補助金額が20,000円のため、3kwで60,000円。予算額4,000千円で割ることで件数を算出 4,000千円÷60,000≒66.7件 算出した件数を仮定した3kwに掛けることにより目標値とした。 66.7件×3kw=200.1kw	4,000	3,984	4,000	3,917	4,000	太陽光発電システム補助金 3,917千円	B 維持 維持	成果目標は十分に達成できたが、予算範囲内で補助金交付を実施しているため、受付が早期終了となっている。(平成26年度は6月13日、25年度は6月17日に受付終了)ポイント制度の導入など、太陽光以外の補助も含めて再検討したい。
②																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 長久手市住宅用太陽光発電システム設置整備事業補助金	予算範囲内で補助金交付を実施しているため、受付が早期終了となっている。(平成26年度は6月13日、25年度は6月17日に受付終了)ポイント制度の導入など、太陽光以外の補助も含めて再検討したい。		

長久手市行政評価票

事業番号	30	事業の名称	外来種対策等事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	環境課					
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(5)豊かな自然環境を次世代に継承する	施策の進め方	(1)自然環境の保全	フラッグ	F3「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	フラッグ項目	(57)自然環境調査の実施			
事業の概要	第3次環境基本計画の3つの柱の一つ「多様な生物が人と共存する自然共生社会の構築」を目指し、市内の自然環境データを蓄積した。 自然環境調査を行った結果、外来種が数多く存在していることが判明した。 長久手市の既存生物への影響もあることから、外来種について市民とともに駆除していく。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	名古屋市:平成23年度～平成25年度 日進市:平成13年度～平成14年度 尾張旭市:平成11年度 春日井市:平成18年度～平成21年度 豊田市:平成13年度～平成15年度						
事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民					うち	一般財源	3,500	3,444	2,376	2,333	2,376
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	自然環境調査を行った結果、外来種が数多く存在していることが判明した。 長久手市の既存生物への影響もあることから、外来種について市民とともに駆除していく。					国費・県費	0	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0	0
					その他	0	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月～	7月～	10月～	1月～				H26実績	H26決算				事業規模 事業費	
①	市民 外来種	●●				実施日 8月3日 8月17日 参加者 延85人	外来種勉強会の参加 人数(1回あたり) H26年度外来種勉強 会実施予定は1回の ため目標値は20人と なります。	— 85 20	3,500 2,376 2,376	3,444 2,333	外来種対策等事業 委託 2,333	A 維持 維持	今年度は一定の参加者を集めることが できた。来年度は今年度の結果をもと に、市民がより外来種に興味を抱くよう なイベントの実施に努める。		
②															
③															
④															

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	31	事業の名称	卯塚墓園事業			担当部署	部	課			
						くらし文化部	環境課				
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(15)やすらぎのある墓園を整える	施策の進め方	(2)墓地の拡充	フラッグ	F3「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	フラッグ項目	(62)緑地の整備		
事業の概要	新しい市民の定住化による墓地需要に対応し、将来にわたり安定した墓地供給ができるよう卯塚墓園の拡充整備を進める。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	横浜市メモリアルグリーン 合葬式樹木型 1,000体×3か所 使用料 14万円/体+管理料 6万円/体 = 20万円 芝生型 7,500区画 使用料 90万円/区画又は45万円/区画・30年間 管理料 8,000円 相模原市峯山霊園 16ha 墓石付芝生墓所 392区画 189,000円/10年 4,500円/年 芝生墓所 4,177区画 445,000～606,000円/区画 4,500円～6,500円/年 名古屋市みどりが丘霊園 芝生型 13,000区画 使用料 1,188千円/区画 管理料4千円/年					
事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	平成46年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	墓地を必要とする市民					うち	一般財源	7,000	6,374	460	3,623
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	増加する墓地需要に対し、墓地供給ができるようにするため、市営の墓園として整備する。					地方債			303,000	217,000	
						その他					
						受益者負担額					95,785

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価						
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
										H26目標値	H26目標値				H26予算	H26決算	
① 卯塚墓園整備事業	墓地を必要とする市民	平成25年度に基本設計 平成26年度に実施設計 工事着手 平成28年度までに整備する。	多様化する墓地需要に対し、墓地供給ができる。	墓園整備工事を開始した。	供給可能区画数	0	0	区画	整備を予定している墓地の区画数	7,000	6,374	303,460	220,623	95,785	実施設計委託 20,823千円 墓園整備工事 199,800千円	A	平成26年度に実施設計を行い、工事に着手できた(完了予定は9月末)一部報道発表により、樹木型合葬式墓所の需要が高かったことが判明した。第2期工事以後の整備にあたり、実施設計の変更が必要と考える。
②																	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	32	事業の名称	遊休農地活用事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	産業緑地課					
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(7)農のあるくらし・農のあるまちを支える	施策の進め方	(1)遊休農地の解消	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	要綱に基づく前熊堀越地区の農地の幹旋、「長久手給食食材生産会」の運営支援等を行うことで、新規就農及び既存農家の農地拡大の推進並びにあぐりん村や学校給食への出荷を促進し、遊休農地を減らしていく。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:農地バンク制度 東郷町:農地バンク制度						
事業期間	事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内農業者					うち	一般財源	0	0	0	0	0
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	前熊堀越地区を地産地消費産物の生産拠点とする。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算		事業規模 事業費	
①	市内農業者	要綱に基づき、遊休農地を幹旋することで	前熊堀越地区の遊休農地を解消し、耕作地を増やし市内農産物の生産量を増加させる。	農業者の規模拡大支援及び新規就農者への農地幹旋	前熊堀越地区の遊休農地面積	28,128 21,009 27,000	m <sup>2</sup>	前熊堀越地区の遊休農地の減少状況	0 0 0	0 0 0	0 0 0	A 維持 維持	農業者の規模拡大及び新規就農者の参入が順調に進んでいる。遊休農地面積は目標値以上に少なくっており、幹旋及び農業者の積極的な活動の効果が出ている。
②	市内農業者	学校給食への納入品目、数量等を決定する栽培会議を給食センターも交えて開催し、連絡調整を活発にすることで	学校給食への地元農産物の納入量を増やす。	生産者会議の開催(毎月1回)栽培会議の開催	学校給食への納入実績	3,889 3,198 8,000	kg	これまでの納入実績の最大値	0 0 0	0 0 0	0 0 0	A 維持 維持	市内産の野菜の納入を増やすための方策について、毎月生産者で協議を行ない、実践するようにしている。担当課と生産者との間でできることは行っており、使用量が増えないのはセンター方式による給食の製造過程、農業者の生産方針、体制、農業技術による。継続して事業実施をしていくとして、評価はAとした。
③	市内農業者	給食食材生産にN-GAP(安心・安全な農作物を生産するための工程管理手法)を導入することで	生産する農作物の質を向上させ、安心・安全な長久手産野菜を消費者にむけてアピールする。	生産者会議の開催(毎月1回)	N-GAP認証圃場面積	50,374 50,374 50,374	m <sup>2</sup>	前年度実績	0 0 0	0 0 0	0 0 0	A 維持 維持	毎月生産者で協議を行ない、安心安全な野菜栽培を実践するようにしている。認証システムはできあがっているが、担当する職員、農家がシステムの運営まで手が廻らない状態であるため現時点では面積の維持と、NGAPの運営が目標である。継続して事業実施をしていくとして、評価はAとした。
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	



長久手市行政評価票

事業番号	33	事業の名称	農楽校事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	産業緑地課					
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(7)農のあるくらし・農のあるまちを支える	施策の進め方	(1)遊休農地の解消	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	農業を行うにあたっての基本的な知識と技術を学ぶ「基礎コース」と、より実践的な知識と技術を習得する「農力向上コース」に分かれ、週1回の実習及び年8回の講義を実施する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:日進アグリスクール(初、中、上級コース) 東郷町:東郷農学校、東郷軽トラ市 瀬戸市:せと農業塾(担い手コース)						
事業期間	事業開始年度	平成16年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	受講生					うち	一般財源	1,579	1,688	1,925	1,870	1,891
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	多様な担い手として、農業に従事してもらう。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	420	456	510	435	510	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① ほ場実習の実施	受講生	→	農業に対する理解、関心を深め、就農のきっかけとしてもらう。	60回実施 (臨時含む)	農楽校をきっかけに、今後何らかの形で農に携わりたいと答えた受講生の割合	100 100 100	%	全受講生(100%)	1,515 1,861 1,827	1,640 1,830	消耗品718、コーチ報償金659、光熱水費277、燃料費27、食糧費3、賄材料費9、火災保険料4、自動車損害保険料8、損害保険料56、借地料26、備品購入43	A 維持 維持	現行通り実施する 修了後の就農支援を行なう
② 講義の実施	受講生	→	農業の幅広い知識を習得し、実習に役立ててもらう	10回開催	講義が役に立つと答えた受講生の割合	97 100 100	%	全受講生(100%)	64 64 64	48 40	農楽校講師(座学講師分)40	A 維持 維持	現行通り実施する
③ 野菜販売実習	受講生	●	出荷の際に必要な作業等を学び、野菜の栽培から販売までの一連を学んでもらう	2回開催	販売実習が今後役に立つと答えた受講生の割合	89 100 100	%	全受講生(100%)	0 0 0	0		A 維持 維持	現行通り実施する 農楽校のPR、長久手「農」のPRを実施する
④ 農産加工及び収穫体験	市民	●	食育の観点から、市民に長久手の農に触れる機会を提供する		味噌作り体験 漬け物作り体験 収穫体験	0 65 65	人	前年度の参加者数(味噌作り20、漬け物作り14、収穫体験31)を目標とする。	0 0 0	0	①に含まれる	A 維持 維持	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
				H27以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	34	事業の名称	市民農園事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	産業緑地課					
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(7)農のあるくらし・農のあるまちを支える	施策の進め方	(1)遊休農地の解消	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	1区画30㎡の農園66区画を、最長5年貸し出している。初心者でも気軽に農業を楽しめるよう、市内農家を中心とした「たがやっせサポートクラブ」のメンバーが、栽培指導、モデル農園の栽培管理及び年に2回栽培講習会を行っている。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	東郷町(20㎡・2,000円/年) 瀬戸市(20㎡・2000円/年) 日進市(30㎡・12000円/年)						
事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	農園利用者					うち	一般財源	1,336	1,293	1,242	1,108	1,304
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	初心者でも気軽に、楽しく野菜を栽培できるようにする。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	660	660	660	650	660	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	評価の説明		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)						
		4月~	7月~	10月~	1月~							H26実績	H26予算			H26決算	
① 長久手ふれあい農園 (市民農園)維持管理業務	農園利用者	●	●	●	●	モデル農園での野菜栽培講習会2回 年間指導日数	貸出区画数	66	66	66	1,336	1,293	1,242	1,108	1,304	A 維持 維持	現行通り実施していく
②																	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	35	事業の名称	児童遊園管理事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	産業緑地課					
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(4)だれもが憩い親しむ公園緑地を整える	施策の進め方	(1)公園緑地の整備、(3)維持管理に対する住民参加の推進	フラッグ	F3「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	フラッグ項目	(60)児童遊園の整備			
事業の概要	児童遊園の環境維持のため、樹木の剪定や除草、遊具の保守点検や修繕、定期的なトイレの清掃やゴミ収集を行う。 また、児童遊園の清掃活動を行う愛護会への報償金の支払いや掃除道具の支給を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	通常の維持管理は、児童遊園を所有している市町村で行われている。						
事業期間	事業開始年度	昭和54年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の児童					うち	一般財源	2,992	2,964	3,262	3,114	3,740
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	安全で快適に児童遊園を利用できるようにする。						国費・県費	0	0	0		
							地方債	0	0	0		
							その他	0	0	0		
							受益者負担額	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① 除草・剪定・清掃事業	児童遊園	●●●●●●●●●●●●●●●●	定期的な除草、樹木剪定、清掃作業を行うことで	除草2回/年 樹木剪定1回/年 トイレ清掃・ゴミ収集2回/年	児童遊園に対する苦情件数	5 4 4	件	前年度実績以下とする。	1,806 2,041 2,429	1,938 2,041	除草・剪定及び清掃業務委託2,041	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
② 遊具点検事業	児童遊園	●●●●●●●●●●●●●●●●	定期的な遊具点検を行うことで	規準・劣化点検1回/年 日常点検11回/年	遊具点検で改善が必要とされた箇所のうち、改善を実施した割合	17 32 100	%	指摘を受けた遊具は全て修繕する。	986 1,021 1,201	883 973	遊具保守点検委託973	A 維持 維持	遊具点検で改善が必要とされた箇所の修繕工事を実施する場合、修繕内容によってかかる費用が変わってくるが、緊急度の高いものから随時修繕工事を実施している。修繕予算が不足しているため目標値に達していないが、利用者が安全に遊具を利用できるように点検事業は現行どおり実施する。
③ 児童遊園等愛護会報償金交付事業	愛護会	●●●●●●●●●●●●●●●●	愛護会の活動に対し、半期毎に報償金を支払い児童遊園を管理してもらうことで	愛護会の管理する児童遊園上半期7箇所、下半期6箇所	愛護会数	9 上半期:7 下半期:6 9	団体	既に活動している団体の確保を目標とする。	200 200 110	143 100	報償金100	A 拡充 削減	愛護会として活動しているほとんどの団体が子供会で、子供の減少により子供会が消滅したため愛護会も減少した。市民に公園に愛着を持って清掃等の活動をしていただく事業なので、現行どおり実施する。事業費については、予算配分の結果、削減した。
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	36	事業の名称	草刈機貸出事業	担当部署	部 くらし文化部	課 産業緑地課				
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(7)農のあるくらし・農のあるまちを支える	施策の進め方	(1)遊休農地の解消	フラッグ フラッグ項目				
事業の概要	農地の適切な管理をしようとする農家の方々に草刈機を貸し出し、良好な営農環境の維持をしていただく。また、貸し出される草刈機の修理の委託を行い草刈機の管理をしていただく。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市等一部市町で実施。					
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)					
事業の対象 (だれ、何に対して)	農地の適切な管理をしようとする市内農家等			総事業費	うち	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	農地等の環境を整備して自然環境を健全に維持する。				一般財源	82	82	85	82	100
					国費・県費	0	0	0	0	0
					地方債	0	0	0	0	0
					その他	0	0	0	0	0
				受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① 草刈機貸出事業	農地の適切な管理をしようとする市内農家等	●●●●●●●●●●●●●●●●	各農家の方々に、農地の適切な管理をしていただく	貸出件数 130件	貸出件数	116 130 120	件	前年度実績	82 85 100	82 82	草刈機管理業務委託82	A	貸出件数は増加傾向にあり、また農繁期には過密スケジュールにも対応してもらったため、事業費を増加する。
②													
③													
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	37	事業の名称	米政策対策推進事業			担当部署	部	課				
						くらし文化部	産業緑地課					
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(7)農のあるくらし・農のあるまちを支える	施策の進め方	(3)環境保全型農業の振興	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	需給にあった主食用米の生産や耕作放棄地の減少を目的としている。転作を希望し種子配布希望の申請のあった農家に対して種子の配布を行い、転作を行った農家に対しては、米生産調整推進対策補助金の交付を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市では農振農用地において農家1戸あたり300㎡以上の転作を実施した農家に転作補助金を交付。米生産調整推進対策補助金に関しては近隣市町村全てで実施。						
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内農家					うち	一般財源	1,262	1,108	1,164	927	1,196
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	需要にあった主食用米の生産と適切な営農活動						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~									H26実績	H26予算
①	米政策対策推進に係る種子配布事業	転作を希望する農家	●	4月の生産組合長会議にて、組合長に転作用種子配布申込書を各農家に配布していただくよう依頼し、希望者より申込書を提出してもらうことで	大豆1,462㎡ コスモス20,266㎡ レンゲ3,345㎡ そば150㎡	転作種子使用水田面積	31,576	前年度実績	314	307	米政策改革対策推進事業 241千円 大豆種子代 コスモス種子代 レンゲ種子代 そば種子代	A	実績が目標値を下まわったが、この事業は米の生産調整目標を達成するための国の支援事業である。次年度も継続して実施していくため評価は「A」とする。		
②	米生産調整推進対策補助金	転作した農家	●	現地確認を行い、転作されている面積若しくは出荷数量に応じて補助金を交付することで	農協管理転作推進費補助金7,453㎡ 重点作物転作推進費補助金61,957㎡ 一般作物転作推進費補助金35,760㎡	補助金給付水田面積	127,613	前年度実績	948	801	農協管理転作推進費補助金8 重点作物転作推進費補助金535 一般作物転作推進費補助金143	A	実績が目標値を下まわったが、この事業は米の生産調整目標を達成するための国の支援事業である。次年度も継続して実施していくため評価は「A」とする。		
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	



長久手市行政評価票

事業番号	39	事業の名称	農業用施設維持管理事業			担当部署	部	課				
						くらし文化部	産業緑地課					
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(7)農のあるくらし・農のあるまちを支える	施策の進め方	(3)環境保全型農業の振興	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	農業従事者に農業用水の安定的供給性を確保し、農業生産性の向上を図るための農業用施設を年に2回草刈りやフェンス修繕、余水吐等の修繕を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村も同様に農業用施設を維持管理している。						
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	農業従事者					うち	一般財源	5,832	5,832	4,916	4,643	6,300
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	農業用水を安定的に供給する						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~											
① 農業用施設修繕工事	農業従事者	●	●			2箇所	修繕箇所	1	前年実績	5,832	5,832	4,916	4,643	農業用施設維持修繕工事 4,643	A	農業用施設の老朽化に対応して、施設の機能を維持させるため、順次施設の修繕事業を継続的に実施していくため評価は「A」とする。
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	40	事業の名称	緑化関係補助金事業		担当部署	部	課				
						くらし文化部	産業緑地課				
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(4)だれもが憩い親しむ公園緑地を整える	施策の進め方	(2)緑化の推進	フラッグ	F3「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～				
						フラッグ項目	(56)地域や家庭の緑化支援				
事業の概要	利用者の負担を軽減しながら緑化を推進する。 生垣設置補助金は、戸建て住宅等(4,000円/m、上限150,000円)、集合住宅等(3,000円/m、上限150,000円)、分譲住宅(2,000円/m、上限60,000円/宅)を助成。 屋上・壁面緑化助成金は、20,000円/m又は補助対象経費の1/2のうち少ない方の額(上限500,000円)を助成。 あいち森と緑づくり事業補助金(愛知県)は、あいち森と緑づくり税を活用して行う民有地の緑化に対し、間接補助を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市:生けがき設置奨励補助事業 設置距離×9千円(既存ブロック塀を取壊して生垣設置:上限12万円、ブロック塀以外の取壊し又は生垣設置のみ:上限6万円) 尾張旭市:生垣設置助成金 設置距離×3千円(上限9万円)(生垣新設のみ 設置距離×2千円(上限6万円)) 日進市、豊明市、東郷町:なし あいち森と緑づくり事業については、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、豊川市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、田原市、清須市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、東浦町、武豊町、扶桑町の34市町にて実施。					
事業期間	事業開始年度	平成8年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算
事業の対象(だれ、何に対して)	市民					一般財源	1,300	162	1,300	201	800
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	みどりの育成を推進し、緑化面積を拡大させる					国費・県費	6,000	1,509	3,000	3,000	3,000
						地方債					
						その他					
						受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的		事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	評価の説明			
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値	H25予算	H25決算			H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)
						4月～	7月～	10月～	1月～	H26目標値	設定の根拠			H27予算		
① 屋上・壁面緑化助成事業	市民		みどりの育成を推進し、緑化面積を拡大させる。	申請件数0件	緑化面積	0	0	m <sup>2</sup>	昨年度の実績がないため、H21からH23年度の平均値を目標とする	1,000	0	1,000	0	500	B	近年、実績が上がっていないためB評価とする。市民や事業者に対し、PRしていく。事業費については、予算配分の結果、削減した。
② 生垣設置補助事業	市民		みどりの育成を推進し、緑化面積を拡大させる。	申請件数7件	生垣延長	43	51	m	過去3年間の平均値を目標とする。	300	162	300	201	300	A	現行どおり実施していく。目標値は過去3年間の平均値を採用しているため、実績は届かなかったが、申請件数はH25が2件であったことに対し7件であり、緑化面積の拡大が図られている。
③ あいち森と緑づくり事業	市民、事業所		みどりの育成を推進し、緑化面積を拡大させる。	申請件数2件	緑化面積	101	526	m <sup>2</sup>	過去2年間の平均値を目標とする。	6,000	1,509	3,000	3,000	3,000	A	現行どおり実施していく。
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 屋上・壁面緑化助成事業	家の建築について、窓口相談時に補助事業についてPRしていく。		



長久手市行政評価票

事業番号	41	事業の名称	商工振興事業			担当部署	部	課				
						くらし文化部	産業緑地課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(9)魅力ある商工業を活発にする	施策の進め方	(1)商業の振興	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	金融機関との取引の薄い中小規模の商工業者が、事実上必要とする資金の融通を円滑にすることにより、市内の商工業の振興に資することを目的として、愛知県と市が協調し、覚書を締結している資金を金融機関に預託し、中小企業者への融資を促す。また、愛知県信用保証協会を経由して融資を受ける中小企業に対して、保証料の一部を補助する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町村とも同様の制度を設けている。						
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の中小企業者					うち	一般財源	55,200	54,511	53,500	53,965	54,300
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市内の中小企業者が必要とする資金の融通を円滑にする。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① 小規模企業等振興 資金	中小企業者	●●●●●●●●●●●●●●●●	市内の中小企業者が 資金の融通を円滑に する。	22件	融通決定率 (融通決定件数 / 融通申込件 数)	100 100 100	%	全ての申込みににつ いて融資決定を目標	50,000 50,000 50,000	50,000 50,000	小規模企業等振興 資金預託金 50,000	A 維持 維持	目標値を達成しており、なおかつ市内 中小企業者からの需要はあるため、事 業規模を維持し実施していく。
② 信用保証料補助事 業	中小事業者	●●●●●●●●●●●●●●●●	市内の中小企業者の 負担を軽減	46件	補助件数	58 46 60	件	前年度実績件数程 度を見込む	5,200 3,500 4,300	4,511 3,965	信用保証料補助 3,965	A 拡充 増加	補助件数の目標値は達成していない が、1件あたりの補助金額が増額してい るため、次年度は予算額を増額する。 事業内容は変わらず、継続して事業実 施していくため、評価は「A」とする。
③													
④													

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要	



長久手市行政評価票

事業番号	43	事業の名称	2014ながくて市民まつり事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	産業緑地課					
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(1)住民と行政が協働するまちづくりを進める	施策の進め方	(1)「新しい公共」の担い手としての意識の醸成	フラッグ	F1「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～					
						フラッグ項目	(8)市民主導型市民まつりの実施					
事業の概要	急激な人口増加を続ける本市においては、市民相互の交流や連帯意識の希薄化が懸念される。このため、市民相互のふれあいの場の創出を目指し、また、地域文化、産業の発展・向上を目指すために市民が主体となって実行委員会を組織し、まつり全体の企画・運営を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村も同様のまつりを開催している。 日進市 ゆめまつり(ゆめまつり実行委員会) 1800千円 夢花火(夢花火実行委員会) 8500千円 尾張旭市 たのしい夏まつり(たのしい夏まつり実行委員会) 7200千円						
事業期間	事業開始年度	昭和59年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民					うち	一般財源	3,025	2,852	2,854	2,835	2,854
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民相互のふれあいの場を創出し、地域文化、産業の発展・向上を目指す。						国費・県費	0	0	0		
							地方債	0	0	0		
						その他	0	0	0			
						受益者負担額	0	0	0			

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	H25予算	H25決算			評価		
		4月～	7月～	10月～	1月～				H26実績	H26予算		H26決算	H26予算				H26決算	
① 市民まつり	市民	●				市民相互のふれあいの場を創出し、地域文化、産業の発展・向上を目指す。	来場者数	17,000	18,000	18,000	前年度実績を上回る	3,025	2,852	2,854	2,835	市民まつり実行委員会補助金 2,835	A	目標を達成したため、ひきつづき、事業規模を維持し実施していく。
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要

事業番号	44	事業の名称	都市公園・緑地管理事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	産業緑地課					
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(4)だれもが憩い親しむ公園緑地を整える	施策の進め方	(1)公園緑地の整備、(3)維持管理に対する住民参加の推進	フラッグ	F3「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	フラッグ項目	(59)公園の整備			
事業の概要	都市公園及び緑地の環境維持のため、樹木の剪定や除草、遊具や水景施設の保守点検、定期的なトイレの清掃やゴミ収集及び施設の修繕を行う。 また、都市公園の清掃活動を行う愛護会への報償金の支払いや掃除道具の支給を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市:都市公園54施設を指定管理者で管理 尾張旭市:直営で管理 日進市:直営で管理(総合運動公園、上納池スポーツ公園のみ指定管理者にて管理) 東郷町:直営にて管理(愛知池運動公園、境川緑地公園多目的広場及びテニスコート、東郷町ふれあい広場のみ指定管理者にて管理)						
事業期間	事業開始年度	昭和54年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民					うち	一般財源	68,102	66,883	72,086	70,812	92,969
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	安全で快適に都市公園・緑地を利用できるようにする。						国費・県費	0	0	0		
							地方債	0	0	0		
						その他	0	0	0			
						受益者負担額	0	0	0			

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の説明
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～7月～10月～1月～	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)		
									H26予算	H26決算			
① 指定管理者制度事業	都市公園	●●●●●●●●●●●●●●●● 都市公園の指定管理者を選定し、定期的な除草、草刈、剪定、トイレ清掃、広場清掃及び電球交換等の簡易な修繕を行うことで	安心して快適に都市公園を利用できるようにする。	除草1～4回/年 草刈1～4回/年 施肥1回/年 トイレ清掃1回/週 剪定1回/年 水景清掃1～2回/月	都市公園に対する苦情件数	33	件	前年度実績以下とする。	47,438	46,600	指定管理者協定 47,932	A	現行どおり実施していく。 事業費は、管理する都市公園数が増加するため、増加とした。
				11		47,932	47,932						
				30		51,600							
② 緑道管理事業	緑道・緑地	●●●●●●●●●●●●●●●● 定期的な除草、草刈、剪定、トイレ清掃、広場清掃を行うことで	快適に緑道・緑地を利用できるようにする。	除草2～3回/年 草刈2回/年 施肥1回/年 トイレ清掃1回/週 剪定1回/年 水景清掃1回/月	緑道・緑地に対する苦情件数	5	件	前年度実績。	14,000	14,826	緑道管理委託17,018	A	現行どおり実施していく。 事業費は、管理する緑道数が増加するため、増加とした。
				5		16,860	17,018						
				5		33,678							
③ 遊具点検事業	都市公園・緑道	●●●●●●●●●●●●●●●● 定期的な遊具点検を行うことで	安全に遊具を利用できるようにする。	規準・劣化点検1回/年 日常点検11回/年	遊具点検で改善が必要とされた箇所のうち、改善を実施した割合	28	%	指摘を受けた箇所のうち、遊具に関する物は全て修繕する。	2,529	2,266	遊具保守点検委託 2,485	A	現行どおり実施していく。 事業費は、管理する遊具数が増加するため、増加とした。
				66		2,609	2,485						
				60		2,852							
④ 水景施設点検事業	都市公園・緑道	●●●●●●●●●●●●●●●● 定期的な水景施設の点検、清掃を行うことで	快適に公園・緑地を利用できるようにする。	保守点検2～4回/年 清掃7～12回/年	修繕が必要と指摘された箇所のうち、修繕を実施した割合	94	%	指摘を受けた箇所は、全て修繕する。	2,302	1,540	水景施設保守点検委託1,728	A	指定管理者の修繕ができる範囲内で実施しているが、限られた予算での対応となるので、緊急度の高いものから随時実施している。利用者が快適に利用できるように現行どおり実施していく。 事業費は、管理する水景施設数が増加するため、増加とした。
				77		2,672	1,728						
				100		3,119							

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

事業番号	44	事業の名称	都市公園・緑地管理事業		担当部署	部	課						
						くらし文化部	産業緑地課						
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(4)だれもが憩い親しむ公園緑地を整える	施策の進め方	(1)公園緑地の整備、(3)維持管理に対する住民参加の推進	フラッグ	F3「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	フラッグ項目	(59)公園の整備				
事業の概要	都市公園及び緑地の環境維持のため、樹木の剪定や除草、遊具や水景施設の保守点検、定期的なトイレの清掃やゴミ収集及び施設の修繕を行う。 また、都市公園の清掃活動を行う愛護会への報償金の支払いや掃除道具の支給を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市:都市公園54施設を指定管理者で管理 尾張旭市:直営で管理 日進市:直営で管理(総合運動公園、上納池スポーツ公園のみ指定管理者にて管理) 東郷町:直営にて管理(愛知池運動公園、境川緑地公園多目的広場及びテニスコート、東郷町ふれあい広場のみ指定管理者にて管理)							
事業期間	事業開始年度	昭和54年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民					うち	一般財源	68,102	66,883	72,086	70,812		92,969
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	安全で快適に都市公園・緑地を利用できるようにする。						国費・県費	0	0	0	0		0
							地方債	0	0	0	0		0
						その他	0	0	0	0	0		
						受益者負担額	0	0	0	0	0		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25実績	単位	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明				
		4月~	7月~	10月~	1月~												H26実績	H26実績	H26実績	
① 水景施設水質検査 事業	都市公園・ 緑道	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	安全に公園・緑道を利用できるようにする	6~9月の毎月1回(6項目) 桜ヶ根公園の残留塩素は6~9月の毎日(日曜日を除く)	水質基準を超えた回数	4	回	水質基準を超えないように管理する。	5	0	583	550	639	615	685	A	水質は天候により左右されるため、日々の検査結果により調整している。利用者が快適に利用できるように現行どおり実施していく。
② 公園愛護会報償金 交付事業	愛護会	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	快適に都市公園を利用できるようにする	愛護会の管理する都市公園数23箇所	愛護会数	24	団体	既に活動している団体の確保を目標とする。	23	24	1,250	1,101	1,374	1,034	1,035	A	愛護会として活動しているほとんどの団体が子供会で、子供の減少により子供会が消滅したため愛護会も減少した。市民に公園に愛着を持って清掃等の活動をしていただく事業なので、現行どおり実施する。事業費については、予算配分の結果、削減した。
③		●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●															
④		●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	45	事業の名称	社会教育事業・生涯学習推進事業(ながくて市民大学)			担当部署	部	課				
						くらし文化部	生涯学習課					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(2)住民の自主的な生涯学習活動を支える	施策の進め方	(1)自主的な学習の支援	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	第2次長久手市生涯学習基本構想における重点施策として、市民交流を目的とし、市民が気軽に参加して学べる市民大学を公民館で実施する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町ですでに実施している自治体も多く、どこも定員を超えるなど人気が高い状況						
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤の60歳以上の方					うち	一般財源	-	-	370	273	420
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民が講座の中で興味のあるジャンルを見つけ、活動を始めるきっかけになること、さらに、市民間の交流や、まちづくりを積極的に行う市民リーダーの育成を意図しています。					国費・県費	-	-	0	0	0	
						地方債	-	-	0	0	0	
					その他	-	-	0	0	0		
					受益者負担額	-	-	216	187	234		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算			H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)
		4月~	7月~	10月~	1月~											
①	ながくて市民大学(いきいき!エルダー塾) 市内在住、 在勤の方	4月~	7月~	10月~	1月~	生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとしてもらう	30人定員に対し、26人が受講した。	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	86	%	新規事業であるため、8割程度の定員充足率を目標とする。	370	273	委託料273,000円	A 拡充 維持	現行どおりのプログラムに加え、新事業として専門コースを行う。
②																
③																
④																

事務事業の 改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

事業番号	46	事業の名称	社会教育事業・生涯学習推進事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	生涯学習課					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(2)住民の自主的な生涯学習活動を支える	施策の進め方	(1)自主的な学習の支援	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	興味のある講座を開催することにより、市民が活動始めるきっかけになることを意図しています。 また、講座から自主的にサークルが立ち上がることを奨励しています。今年度は旧街道探訪講座2講座、パソコン講座2講座、俳句講座1講座、自分で装うはじめての浴衣1講座、茶道入門講座1講座及び市内史跡めぐり講座1講座を開催。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自に生涯学習講座を実施						
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の18歳以上の方(ただし、一定期日までに募集定員に満たなければ市外の方も可)					うち	一般財源	1,186	1,143	500	533	167
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	興味のある講座を開催することにより、市民が活動始めるきっかけになることを意図しています。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	459	675	432	368	69	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
① 旧街道探訪講座	市内在住、 在勤、在学 の方	●		●		各30人定員 に対し、前期33人、後 期34人が受講した。	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	97	111	%	申込者の多い講座で あるので、募集定員 の充足を目標とする。	144	144	講師料114,000円	A	人気講座で住民からの要望も多く、募 集人員も確保していることから、市民の 求める生涯学習講座のニーズに合っ ている。ただし、講師高齢のため事業実 施は難しく、次年度は休止する。
② パソコン講座	市内在住、 在勤、在学 の方	→		→		各20人定員 に対し、前期20人、後 期14人が受講した。	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	100	85	%	申込者の多い講座で あるので、募集定員 の充足を目標とする。	225	127	講師料161,600円	A	人気講座で住民からの要望も多く、募 集人員も確保していることから、市民の 求める生涯学習講座のニーズに合っ ているため、現行どおり実施していく。
③ 外国語を学ぶ『韓国 語』	市内在住、 在勤、在学 の方		●		●	各30人定員 に対し、前期10人、後 期23人が受講した。	募集人数の確保 講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	-	55	%	平成24年度に行った 外国語講座(英語) は、募集定員15名に 対し53%の実績で あったため、8割程度 の定員充足率まで引 き上げる。	120	120	講師料120,000円	E	定員に対し、受講希望者が少なく、事 業の廃止の検討を行う。
④ 自分で装うはじめて の浴衣	市内在住、 在勤、在学 の方	●				15人定員に 対し、15人 が受講した。	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	67	100	%	申込者が少ない講座 であるので、8割程度 の定員充足率まで引 き上げる。	32	32	講師料32,000円	A	人気講座で住民からの要望も多く、募 集人員も確保していることから、市民の 求める生涯学習講座のニーズに合っ ているため、現行どおり実施していく。

事務事業の改 善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	③ 外国語を学ぶ『韓国 語』	外国語・国際理解に関する講座については、講師が企画・運営を行う『ながくて・学び・アイ講座』にて、応募があった場合、審査によって開講を決定する。		

事業番号	46	事業の名称	社会教育事業・生涯学習推進事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	生涯学習課					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(2)住民の自主的な生涯学習活動を支える	施策の進め方	(1)自主的な学習の支援	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始め始めるきっかけになることを意図しています。 また、講座から自主的にサークルが立ち上がることを奨励しています。今年度は旧街道探訪講座2講座、パソコン講座2講座、俳句講座1講座、自分で装うはじめての浴衣1講座、茶道入門講座1講座及び市内史跡めぐり講座1講座を開催。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自に生涯学習講座を実施						
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の18歳以上の方(ただし、一定期日までに募集定員に満たなければ市外の方も可)					うち	一般財源	1,186	1,143	500	533	167
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始め始めるきっかけになることを意図しています。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	459	675	432	368	69	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)				
							H26実績	H26予算		H26決算			
⑤	市内在住、 在勤、在学 の方	4月~   7月~   10月~   1月~ 4回講座で15人募集すること で	生涯学習への関心を 高め、学習意欲を持 つきっかけとしてもら う	15人定員に 対し、17人 が受講し た。	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	87 113 100	%	申込者の多い講座で あるので、募集定員 の充足を目標とする。	60 60 0	60 60 /	講師料60,000円	A 縮小 削減	人気講座で住民からの要望も多く、募集人員も確保していることから、市民の求める生涯学習講座のニーズに合っている。ただし、文化協会と協働で毎月開催している茶会と事業統合する。
⑥	市内在住、 在勤、在学 の方	4月~   7月~   10月~   1月~ 2回講座で20人募集すること で	生涯学習への関心を 高め、学習意欲を持 つきっかけとしてもら う	20人定員に 対し、16人 が受講し た。	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	95 80 100	%	申込者の多い講座で あるので、募集定員 の充足を目標とする。	15 15 15	15 15 /	講師料15,000円	A 維持 維持	人気講座で住民からの要望も多く、募集人員も確保していることから、市民の求める生涯学習講座のニーズに合っているため、現行どおり実施していく。
⑦													
⑧													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	⑤	茶道入門講座		



長久手市行政評価票

事業番号	47	事業の名称	成人式事業	担当部署	部 くらし文化部	課 生涯学習課				
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(3)輝きを持った青少年の育成を支える	施策の進め方	(2)青少年健全育成体制の充実	フラッグ フラッグ項目				
事業の概要	実行委員会を設置し、開催の準備をして、成人の日に文化の家森のホールで成人式の式典を開催する。式典後に、成人式の参加者を対象に茶話会を開催する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町村で実施					
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)					
事業の対象 (だれ、何に対して)	新成人			総事業費	うち	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	地域での仲間づくりや大人としての自覚を持つ。新成人の手作りの成人式を開催することで参加率を向上させる。				一般財源	1,113	887	1,127	1,099	1,251
					国費・県費	0	0	0	0	0
					地方債	0	0	0	0	0
					その他	0	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0	0					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明				
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算			H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	
		4月~	7月~	10月~	1月~														H26目標値
① 成人式	新成人				●	参加者数 430人	参加率 (参加者430人/ 対象者619人)	69	69	%	成人式への参加率を 前年度より向上させる ことを目標とする。	1,113	887	1,127	1,099	1,251	需用費779 委託料288 ほか	B 維持 維持	目標値には至らなかったが、参加率としては前年度と同率であり、新成人による成人式実行委員会により、成人式の企画、運営している。目標値を目指し、実行委員会でより魅力ある成人式を実施していく。現行どおり実施していく。
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 成人式	成人式実行委員会において、参加率を向上できるよう、より魅力ある成人式の開催を検討していく。		

長久手市行政評価票

事業番号	48	事業の名称	長久手古戦場野外活動施設管理運営事業			担当部署	部	課				
							くらし文化部	生涯学習課				
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と機会を充実する	施策の進め方	(3)町固有の伝統文化の継承	フラッグ		フラッグ項目				
事業の概要	長久手の文化財等の資料や概要を紹介する長久手古戦場野外活動施設を適正に管理運営し、長久手の文化財や歴史の紹介を行う。また、郷土資料室等の施設の維持管理を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で類似施設						
事業期間	事業開始年度	昭和60年	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	野外活動施設を訪れる市民					うち	一般財源	7,527	9,478	9,515	9,773	9,376
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	多くの人に訪れて貰い、施設の利用を増やす。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
					受益者負担額	689	767	738	814	782		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標	H25実績		単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)			
					H26実績				H26予算	H26決算				
①	野外活動施設を訪れる市民	4月~   7月~   10月~   1月~	多くの人に訪れて貰い、施設の利用を増やす。	年間利用者数34,881人	112 113 130	人	前年実績からの増加	7,527 9,515 9,376	9,478 9,773	需用費2,621 委託料6,685 ほか	B	目標値には至らなかったが、利用者数は、前年度実績から増加している。今後は、施設の適正な管理運営に加え、古戦場のPRを行うことで目標値の達成を目指し、継続して事業を実施する。		
②														
③														
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	①	長久手古戦場野外活動施設管理運営事業		

長久手市行政評価票

事業番号	49	事業の名称	古戦場桜まつり事業			担当部署	部	課				
						くらし文化部	生涯学習課					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と機会を充実する	施策の進め方	(3)固有の伝統文化の継承	フラッグ	F3「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	フラッグ項目	(64)地域文化活動の支援			
事業の概要	市民による実行委員会により古戦場桜まつりを開催し、長久手の史跡等のPRを行う。期間中(4月4日から4月6日まで)、古戦場公園の夜間ライトアップ3日間、郷土資料室の夜間開放を実施。事業集中日には、催事、芸能発表や模擬店が出店。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市、みよし市						
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	古戦場桜まつりに訪れる人と市民					うち	一般財源	2,500	2,497	2,895	2,862	2,565
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	史跡のPRのため、多くの人に訪れて貰う。						国費・県費	0	0	0		
							地方債	0	0	0		
					その他		0	0	0			
						受益者負担額	0	0	0			

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	評価の説明				
		手段(いつ、どのような手段を使って)						H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算			H26決算の主な内訳(単位:千円)			
		4月~	7月~	10月~	1月~												H26目標値	H26予算	H26決算
① 長久手古戦場桜まつり	古戦場桜まつりに訪れる人と市民	●				来場者数 8,000人	来場者数	8,000	8,000	人	より多くの方に来場してもらうことを目標に、前年度実績からの増加を目標とする。	2,500	2,497	2,895	2,862	2,565	役務費44 委託料273 補助金2,479 ほか	B 維持 維持	目標値には至らなかったが、参加者数は、前年度と同数であり、市民参加による古戦場桜まつり実行委員会の主催(H25年度より)により、市民主体で開催している。目標値を目指し、実行委員会により魅力あるまつりを開催していく。現行どおり実施していく。
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 長久手古戦場桜まつり	古戦場桜まつり実行委員会において、来場者数を増加できるよう、より魅力あるまつりの開催を検討していく。			

長久手市行政評価票

事業番号	50	事業の名称	古戦場公園再整備事業			担当部署	部	課				
						くらし文化部	生涯学習課					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と機会を充実する	施策の進め方	(3)固有の伝統文化の継承	フラッグ	F3「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	フラッグ項目	(59)公園の整備			
事業の概要	古戦場公園再整備事業を実施する。 H26年度 基本構想策定 H27年度 基本計画策定 H28年度 測量・実施設計 H29年度 工事着手				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	市町により、史跡等の状況が異なる。 小牧市では、史跡小牧山整備事業を実施						
事業期間	事業開始年度	平成26年	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民					うち	一般財源	-	-	3,000	3,000	11,659
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	野外活動施設を含め、古戦場公園一帯に関して、市民などからの意見を反映させ、地域の歴史や文化に親しめる場としてまた、観光資源として整備をしていく。					国費・県費	-	-	0	0	0	
						地方債	-	-	0	0	0	
					その他	-	-	0	0	0		
					受益者負担額	-	-	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明				
		4月~	7月~	10月~	1月~														
① 古戦場公園再整備事業	市民					市民ワークショップを開催する。	基本構想に市民の意見を反映する。	開催回数 5回	ワークショップ開催回数	5	回	より多くの市民の意見をもらうため、ワークショップの開催回数を指標とする。	-	-	3,000	3,000	委託料2,997 使用料 3	A	ワークショップを目標どおり5回実施し、基本構想の策定を完了した。なお、平成27年度は、基本計画の策定に着手する。
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	51	事業の名称	色金山歴史公園茶室管理運営事業			担当部署	部	課				
						くらし文化部	生涯学習課					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と機会を充実する	施策の進め方	(3)固有の伝統文化の継承	フラッグ	F3「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	フラッグ項目	(64)地域文化活動の支援			
事業の概要	色金山歴史公園茶室管理棟の維持管理するとともに、胡牀庵、和室の貸出しや立礼席で抹茶サービスを提供する。また、文化協会と協働で毎月茶会を開催し、茶道に親しむ機会をつくる。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、モリコロパーク、愛知県陶磁資料館						
事業期間	事業開始年度	平成8年	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	色金山歴史公園茶室の利用者					うち	一般財源	11,029	11,029	11,070	10,749	11,666
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施設の利用者を増やす。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	1,600	1,978	2,212	2,410	1,893	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)					成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~						H26予算	H26決算			
① 色金山歴史公園茶室管理運営事業	色金山歴史公園茶室の利用者	色金山歴史公園茶室の維持管理を行い、胡牀庵・和室の貸出しや立礼席で抹茶サービスを提供しておもてなしすること				年間来所者数12,520人	1日あたりの来所者人数(利用人数/開室日数306日)	人	利用者数は、ほぼ横ばいの現状。文化協会と協働で毎月開催している茶会への利用者数を考慮して約10%増をめざす。	11,029	11,029	賃金3,188 需用費2,611 委託料4,016 ほか	A	広告等実施し、来所者の増加を図り、目標値まで来所者を増やすことができた。現行どおり実施していく。	
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	52	事業の名称	平成こども塾事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	生涯学習課					
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(7)農のあるくらし・農のあるまちを支える	施策の進め方	(5)自然環境体験活動の推進	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	平成こども塾事業推進のため次の事業を行う。 ・地域の環境や福祉についての学習活動 ・学習活動を通じた地域住民との交流 ・学校連携活動 ・その他平成こども塾の設置目的を達成するために必要な事業				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	周辺市町村での学校連携の実施や原体験教育活動ならびに子どもを主体として一年間を通じた食と農に関する取り組みを実践することについては他に例を聞かない。 全国的に見て多種多様な年間200回前後のプログラムを総合的に一つの施設で行っている例は聞かないが、個別に見れば類似事業はある。						
事業期間	事業開始年度	平成18年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。					うち	一般財源	3,484	3,509	4,029	3,494	3,635
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	自然・文化・環境・農業等に関わる活動に参加してもらい健全な心と身体を培う。						国費・県費	3,314	3,339	3,859	3,324	3,635
							地方債	170	170	170	170	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	125	128	187	98	179	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明				
		4月~	7月~	10月~	1月~									H26実績	H26予算	H26決算	事業規模
① 学校連携事業	主に長久手市内の6小学校の小学生(1人の児童あたり6年間に3回実施予定)	← 4月~7月~10月~1月~				67回実施 1,902名参加	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	98	99	85	1,220	1,230	1,310	1,270	1,320	A	現行どおり実施していく。
② 平成こども塾プログラム事業	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。	←				12回実施 351名参加	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	96	99	85	180	195	120	115	180	A	現行どおり実施していく。
③ 専門プログラム事業 (日曜日特別プログラム委託、土曜日特別プログラム委託、ネイチャーゲームプログラム委託)	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。	←				18回実施 575名参加	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	94	94	85	941	941	1,260	966	992	A	現行どおり実施していく。
④ サポーター事業 (平成こども塾サポート隊委託)	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。	←				98回実施 2,172名参加	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	95	97	85	1,143	1,143	1,339	1,143	1,143	A	現行どおり実施していく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
				平成こども塾マスタープラン改訂事業

長久手市行政評価票

事業番号	53	事業の名称	地域社会体育事業	担当部署	部 くらし文化部	課 生涯学習課				
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(5)だれもが楽しむ生涯スポーツを進める	施策の進め方	(1)スポーツ活動の推進	フラッグ フラッグ項目				
事業の概要	スポーツイベントやレクリエーション活動を実施し、家族や仲間との交流を通して、絆を強めることを目標とする。幅広い年齢層を対象として「歩く、走る、泳ぐ等」といった各種スポーツイベント及び教室を開催する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自にイベント等を実施					
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)					
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の方			総事業費	うち	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	スポーツイベントやレクリエーション活動を実施し、家族や仲間との交流を通して、絆を強める				一般財源	4,709	4,912	4,966	5,573	6,122
					国費・県費	0	0	0	0	0
					地方債	0	0	0	0	0
					その他	0	0	0	0	0
				受益者負担額	781	914	943	1,481	1,233	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明		
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26予算			H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)
									H27予算	H26予算	H26決算				
① 社会体育事業(教室等)	市内在住、在勤、在学の方	→	スポーツを楽しむことで、健康で元気な生活を送る。	参加者数 460人	教室申込者数÷ 募集定員の割合 (教室申込者数/ 募集定員)	78.3 82.2 100	%	すべての教室で定員以上の申込があり、参加者全員に満足してもらえる教室を目指す。	1,752 1,922 2,906	2,226 2,958	2,072 176	B 維持 維持	一部の教室に募集人数に達していない教室もあるので、日程や内容等検討し、募集人数確保に努めたい。		
② 新春マラソン大会	走ることが好きな人	→	スポーツを楽しむことで、健康で元気な生活を送る。	参加者数 1,153人	参加者数	1,399 1,153 1,470	人	参加者の増加を目標とし、前年参加者数1,399人×105%(過去2年の伸び率平均)	794 819 983	677 642	49 58 103 308	A 維持 維持	平成26年度は、低温の影響により参加者の減少が見られたが、毎年多数の参加者があるので、継続して進めていく。		
③ 学校プール開放事業	市内在住、在勤、在学の方	●	スポーツを楽しむことで、健康で元気な生活を送る。	利用者数 1,557人	参加者数	2,194 1,557 2,350	人	参加者の増加を目標とし、1日平均入場者数の過去最高値(87人)×27日(25年度開放日)	2,163 2,225 2,233	2,009 1,973	1,887 86	A 維持 維持	平成26年度は、天候の不良及び8月下旬の低温の影響により参加者の減少が見られたが、毎年多数の参加者があるので、継続して進めていく。		
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 社会体育事業(教室等)	一部の教室に募集人数に達していない教室もあるので、日程や内容等検討し、募集人数確保に努めたい。		

長久手市行政評価票

事業番号	54	事業の名称	総合型地域スポーツクラブ運営事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	生涯学習課					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(5)だれもが楽しむ生涯スポーツを進める	施策の進め方	(1)スポーツ活動の推進	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動を通して、住民の健康づくり、地域社会の活性化に寄与することを目標とする。 「いつでも、どこでも、誰でも」を合言葉に、子どもから高齢者、初心者から上級者まで参加できる各種スポーツ教室やイベントを開催する総合型地域スポーツクラブ(会員は会費を支払い、自立した運営をめざすクラブ)を運営する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自にクラブ運営を実施						
事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の方					うち	一般財源	4,099	3,269	4,296	2,632	3,346
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	スポーツを通じて、地域の新たな仲間と街づくり						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	4,099	2,886	2,749	2,694	2,908	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明	
		手段							H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算			H26決算の主な内訳 (単位:千円)
		4月~	7月~	10月~	1月~				H26目標値			H26予算	H26決算				
① 総合型地域スポーツ クラブ運営事業	市内在住、 在勤、在学 の方	4月~	7月~	10月~	1月~	スポーツを通じて、地 域の新たな仲間づく りと街づくり	スポーツ クラブ会員数 392人	募集定員の充足 率(クラブ参加者 数/募集定員)	83.5	75.5	%	すべての教室で定員 以上の申込があり、 参加者全員に満足し てもらえる教室を目指 す。	4,099	3,269	クラブ運営委員報償 金 150千円 消耗品費 74千円 クラブ教室等講師委 託 1,759千円	B	
②																	
③																	
④																	

事務事業の改 善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要
	① 総合型地域スポーツ クラブ運営事業	平成24年度に立ち上げた事業であり、市民に向けてのPRを積極的に行うこと。併せて、事業の内容の検討や将来自主運営できる組織に育てていく必要がある。			



長久手市行政評価票

事業番号	55	事業の名称	社会体育関係団体補助事業			担当部署	部	課				
							くらし文化部	生涯学習課				
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(5)だれもが楽しむ生涯スポーツを進める	施策の進め方	(1)スポーツ活動の推進	フラッグ		フラッグ項目				
事業の概要	市内で活動している社会教育団体の活動を支援することで、スポーツに関わる人数を増やしていくことを目標とする。生涯スポーツの振興及び啓発活動のため、社会教育団体に補助金を交付することで、安定的な運営がなされ、住民のためのより充実した質の高い事業を実施するようにする。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	体育協会 (日進市 4,600千円・東郷町 1,910千円・豊明市 2,673千円) レク協会 (日進市 1,000千円・東郷町 0千円・豊明市 495千円)						
事業期間	事業開始年度	昭和57年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内で活動している社会教育関係団体、市内在住、在勤、在学の方					うち	一般財源	7,072	6,928	6,985	6,931	6,843
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	生涯スポーツに関わる人数を増やしていく						国費・県費	0	0	0	0	0
					地方債		0	0	0	0	0	
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績	H26実績	H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算			H25決算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)
		H26実績			H26目標値						H26予算	H26決算	H27予算						
① 社会教育関係団体補助事業	市内で活動している社会体育関係団体	→				各団体に安定して大会や教室等を開催してもらう。	(補助額) 体育協会 2,400千円 レク協会 150千円 校区体育委員 1,920千円	各団体が開催した大会や教室等の回数	96	回	前年実績(例年並み)	4,570	4,570	4,470	体育協会 2,400千円 レク協会 150千円 校区体育委員 1,920千円	A	補助金を交付することにより市内の社会教育団体を活性化させた。		
② 社会体育事業補助事業(スポーツの祭典)	市内在住、在勤、在学の方	→				運動を通じて、健康増進と体のリフレッシュを図る。	(補助額) 体育協会 1,000千円	参加者	800	人	より多くの方に参加してもらうことを目標とし、参加者の過去最高数(H22)	1,000	1,000	1,000	体育協会 1,000千円	B	補助金を交付することにより市内の社会教育団体を活性化させた。		
③ 社会体育事業補助事業(愛知医科大学プール開放事業)	市内在住で高校生以上の方	→				運動を通じて、健康増進と体のリフレッシュを図る。	利用者数 2,837人	利用者数	2,716	人	現状の事業規模を維持していくことを目標とし、過去5年間の利用者数平均	2,837	2,800	1,373	愛知医科大学 1,461千円	A	補助金を交付することにより市内の社会教育団体を活性化させた。		
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	② 社会体育事業補助事業(スポーツの祭典)	市民に向けてのPRを積極的に行うこと。		

長久手市行政評価票

事業番号	56	事業の名称	学校体育施設貸出事業			担当部署	部	課				
							くらし文化部	生涯学習課				
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(5)だれもが楽しむ生涯スポーツを進める	施策の進め方	(1)スポーツ活動の推進	フラッグ		フラッグ項目				
事業の概要	学校のスポーツ施設の有効利用を図る。 小学校の運動場、小中学校の体育館を開放し、市民にスポーツを行う場を提供する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	東郷町、豊明市						
事業期間	事業開始年度	昭和36年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学で構成されている登録チーム(最低10人以上)					うち	一般財源	2,754	1,954	2,978	1,771	2,691
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	小中学校のスポーツ施設の有効活用						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
					受益者負担額	903	712	757	697	724		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
							H26目標値	単位	H26予算	H26決算			
① 学校体育施設貸出事業	登録チーム	→	小中学校のスポーツ施設の有効活用	年間の使用件数1,704件	使用件数/開放可能件数	75.9 74.9 85.0	%	より使用率を高めることを目標とし、過去5年間の利用率平均+5%	2,754 2,978 2,691	1,954 1,771	学校開放施設管理委託 1,709千円 消耗品費 62千円	B 維持 維持	使用率を向上させる。
②													
③													
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 学校体育施設貸出事業	市民に向けてのPRを積極的に行うこと。		

長久手市行政評価票

事業番号	57	事業の名称	施設利用業務		担当部署	部	課					
						くらし文化部	文化の家					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と機会を充実する	施策の進め方	(1)文化芸術環境の発展	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	地域文化の発展に寄与し、市民が集う文化創造活動や情報・交流活動など多岐にわたる文化活動の拠点とし、住民の福祉を増進するため、文化の家の施設(ホール・アートリビング)の貸し館業務を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町の類似施設は、自主事業の実施が少なく貸し館業務を主体としているところが多い。また、指定管理者による運営施設が多い。						
事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民					うち	一般財源	208,696	209,151	206,551	203,647	220,953
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民が集う文化創造活動や情報・交流活動など多岐にわたる文化活動の拠点とする。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	20,088	22,228	19,680	23,149	23,421	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① 施設貸し館事業 (ホール)	市内外の住民に	市民が集う文化創造活動や情報・交流活動など多岐にわたる文化活動の拠点とする。	H26年度 開館日 250日	施設の稼働率	79.4 78.9 100	%	フル稼働を目指す。	208,696 206,551 220,953	209,151 203,647	需用費 61,882 委託費 137,938	B 維持 維持	ホール稼働率100%を目指したいが、ホールのメンテナンス及び舞台スタッフの person 費を考慮すると、今後は目標80%が妥当と考える。	
② 施設貸し館事業 (アートリビング)	市内外の住民に	市民が集う文化創造活動や情報・交流活動など多岐にわたる文化活動の拠点とする。	H26年度 開館日 302日	施設の稼働率	80.2 79.2 100	%	フル稼働を目指す。	同上 同上 同上	同上 同上	需用費 61,882 委託費 137,938	B 維持 維持	光のホール、暗室、和室の稼働率が悪いことから、全体の数字を下げている。今後これらの施設の稼働率を上げる対策が必要と考える。	
③													
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 施設貸し館事業 (ホール)	ホールのメンテナンス及び舞台スタッフの person 費を考慮し、今後は目標80%とする。		
② 施設貸し館事業 (アートリビング)	和室の子供入室を許可することで、子育て世代にも利用できる施設とし、稼働率の改善を図る。利用率(利用日/開館日)の向上を目標としているが、今後は、実質稼働率(利用時間区分/利用可能時間区分)を計算し、その向上を目標とする。			

長久手市行政評価票

事業番号	58	事業の名称	チケット販売業務		担当部署	部	課					
						くらし文化部	文化の家					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と機会を充実する	施策の進め方	(4)情報提供・広報の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	文化の家の自主事業や提携事業等における入場料収入の確保と事業PRを行うため入場料のチケット販売及び情報提供を行う				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町は指定管理者による運営が多く、チケット購入についてインターネット予約やクレジット決済を実施しているところも多い。						
事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民					うち	一般財源	328	353	383	227	359
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	自主事業等の情報を広く発信し、チケット購入の利便性を高め事業PRを行う。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
					受益者負担額	12600	14052	12600	7960	14000		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~						H26予算	H26決算			
① チケット販売業務	市内外の住民	窓口でのチケット販売、チケットぴあ及びNピアへの販売委託。電話及びインターネットによるチケット予約をすることで	自主事業等の情報を広く発信し、チケット購入の利便性を高め、事業PRを行う。	22公演について、チケットぴあに委託	チケット売上率	77 77 82	%	前年実績(平成25年度)からの約5%増加	328 383 359	353 227	チケットぴあ販売手数料 227	B 維持 維持	さらなるチケット販売向上の方法を検討する。		
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① チケット販売業務	ホームページをリニューアルすることにより、購買意欲を促進させチケット販売につなげる。		

長久手市行政評価票

事業番号	59	事業の名称	住民情報サービス業務			担当部署	部	課				
						くらし文化部	文化の家					
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(5)合理的で効果的な行政運営を行う	施策の進め方	(1)効率的な行政運営の確立	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	市役所閉庁時における市民サービスのため、住民票及び印鑑登録証明の発行を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全市町で実施している。						
事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民					うち	一般財源	0	0	0	0	0
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	閉庁時等の市内の住民の利便性を高める。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	215	277	247	269	277	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)		
									H26予算	H26決算			
① 住民票発行業務	市民	住民票・除票・記載事項証明等を発行することで	閉庁時等の市民の利便性を高める	発行件数 680件のうち、閉庁日発行386件	発行件数	743 680 700	件	前年実績並み	0 0 0	0 0 0	なし	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
② 印鑑登録証明発行業務	市民	印鑑登録証明を発行することで	閉庁時等の市民の利便性を高める	発行件数 665件のうち、閉庁日発行359件	発行件数	598 665 600	件	前年実績並み	0 0 0	0 0 0	なし	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
③ 地番変更証明発行業務	市民	地番変更証明を発行することで	閉庁時等の市民の利便性を高める	発行件数65件のうち、閉庁日発行36件	発行件数	168 65 150	件	前年実績並み	0 0 0	0 0 0	なし	A 維持 維持	この業務は実施することにより、住民サービスの増加となっているため、現行どおり実施していく。様式に目標値があるため目安として記載しているが、発行件数を増やす事を目標とはしていない。
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

事業番号	60	事業の名称	文化事業業務		担当部署	部	課					
						くらし文化部	文化の家					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と機会を充実する	施策の進め方	(1)文化芸術環境の発展	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	住民が芸術文化を気軽に鑑賞及び体験できる機会を提供するため、年間を通して、音楽・演劇・伝統芸能などあらゆるジャンルの舞台公演や企画展、講座(アートスクール)、映像鑑賞会の開催。また、文化の家に来館することが困難な幼児、高齢者、病患者など養老施設・病院・児童館への出張コンサートなどを実施する。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣ほとんどの市町が各種さまざまな事業公演等を実施している。先進地は多様な発信事業を行い、自治体の知名度を高め、観光などに結びつけている。						
事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	市内外の住民					うち	一般財源	34,252	26,670	30,286	29,717	36,360
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	文化芸術活動が活発に行われる環境を醸成することで、地域住民が主体的に、且つ文化・芸術に触れる機会を多様化し、文化活動のレベルを上げる。しいては、活動そのものが日々の暮らしに溶け込み心の栄養として福祉の増進に繋げていく。					国費・県費	0	551	0	6,969	0	
						地方債	0	0	0	0		
						その他	16,458	20,144	16,458	13,313	15,987	
					受益者負担額	16,458	19,593	16,458	6,344	15,987		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段(いつ、どのような手段を使って)						H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
① ホール公演事業	市内外の住民に	年間を通して、音楽・演劇・伝統芸能などあらゆるジャンルの公演を開催することで	市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした	52事業を実施	各事業の定員充足率	72 74 100.00	%	満席を事業の成果目標とする。	43,906 44,361 48,334	39,505 43,030	事業公演委託 30,647 出演者報償費 24,600 チラシ印刷 2,787 公演撮影委託 343 看板作成委託 394 著作権使用料 181	A 維持 維持	充足率は2%アップした。クーテフェスなどが盛況だったことが挙げられる。今後も継続していく。			
② 企画展示事業	市内外の住民に	年間を通して、さまざまな企画・展示会を開催することで	市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした	7事業を実施	各事業の延参加者数	18,548 19,479 19,000	人	過去3年の事業平均延参加者数	2,000 2,000 2,000	2,100 2,000	チラシ等印刷 740 審査員等報償費 544 掲示物管理委託 416 看板作成委託 37 ほか	A 維持 維持	ながくてアートフェスティバルの参加者の増加が影響している。今後も継続していく。			
③ アートスクール(講座)事業	市内外の住民に	年間を通して、短期講座から長期講座まであらゆるジャンルを開催することで	市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした	長期講座13、短期講座34を開催	各事業(講座)の定員充足率	90 94 100.00	%	満席を事業の成果目標とする。	3,304 3,304 4,015	2,197 3,651	講師報償費 2,553 事業公演委託 1,032 ほか	A 維持 維持	講座はほぼ定員に達している。今後も継続していく。			
④ アウトリーチ事業	市内外の住民に	年間を通して、いろいろな場に出向き催し物を開催することで	市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした	ガレリアコンサート・アートデリバリ等25回開催	各事業の延参加者数	3,833 5,467 3,900	人	過去3年の事業平均延参加者数	1,000 1,000 1,000	895 860	事業公演委託 500 出演報償費 360	A 維持 維持	おんぱくが町中で展開したことや小学校全6校で行われたアウトリーチ(であーと)が大幅な参加者増加を促した。今後も文化の家だけでなく町中でも継続していく。			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	①~④について	外部評価により「現在の成果指標が判りにくく、文化の家事業には馴染まないもので改善すること」との指示があったことから、H27年度より事業項目や指標を大幅に変更する		

事業番号	60	事業の名称	文化事業業務		担当部署	部	課					
						くらし文化部	文化の家					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と機会を充実する	施策の進め方	(1)文化芸術環境の発展	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	住民が芸術文化を気軽に鑑賞及び体験できる機会を提供するため、年間を通して、音楽・演劇・伝統芸能などあらゆるジャンルの舞台公演や企画展、講座(アートスクール)、映像鑑賞会の開催。また、文化の家に来館することが困難な幼児、高齢者、病患者など養老施設・病院・児童館への出張コンサートなどを実施する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣ほとんどの市町が各種さまざまな事業公演等を実施している。先進地は多様な発信事業を行い、自治体の知名度を高め、観光などに結びつけている。						
事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民					うち	一般財源	34,252	26,670	30,286	29,717	36,360
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	文化芸術活動が活発に行われる環境を醸成することで、地域住民が主体的に、且つ文化・芸術に触れる機会を多様化し、文化活動のレベルを上げる。しいては、活動そのものが日々の暮らしに溶け込み心の栄養として福祉の増進に繋げていく。						国費・県費	0	551	0	6,969	0
							地方債	0	0	0	0	0
							その他	16,458	20,144	16,458	13,313	15,987
					受益者負担額		16,458	19,593	16,458	6,344	15,987	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
										H26目標値	H26予算		H26決算	
⑤ 映像鑑賞会事業	市内外の住民に	4月~7月~10月~1月~	市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした。	12回実施	各事業の定員充足率	70 81 80	%	前年実績からの10%増加	758 600 600	405 291	映像鑑賞会(有料)フィルム借上げ料291,000円	A 維持 維持	後半の数ヶ月が満席となり、前年よりもわずかながら参加者が増加した。今後も継続していく。	
⑥														
⑦														
⑧														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	61	事業の名称	住民参画交流会議「夢さがし★発見★実現★文化の家プロジェクト」			担当部署	部	課				
						くらし文化部	文化の家					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と機会を充実する	施策の進め方	(1)文化芸術環境の発展	フラッグ	F1「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	フラッグ項目	(24)住民参画交流会議「夢さがし★発見★実現★文化の家プロジェクト」			
事業の概要	文化の家の運営を、市民と行政と一緒に学びながら、企画・運営の課題を確認したり、具体的な改善策を考え、文化施設の新しい市運営形成に取り組みシビックプライドの向上を目指す。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	なし						
事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民					うち	一般財源	0	0	0	0	0
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民にとって敷居が高い施設と思われがちな文化の家が、より市民にとって身近であり開かれた施設となることを目指す。					国費・県費	0	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	0
					受益者負担額	0	0	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月～	7月～	10月～	1月～													
① ワーキンググループ	市内外の住民に	9月～12月に3回程度、文化の家の大規模改修に向けて、利用者の意見を反映するためワーキンググループを開催することで	市民に交流の場所を提供し、市民のニーズを把握し、より身近な施設とする	実施回数3回	1つのテーマに対し、適切な開催回数で意見をとりまとめる。	10	3	回	今回のテーマに対して、必要と思われる回数	0	0	0	0	0	A	テーマに対し、適切な話し合いが行われた。		
② アイデンカフェ	市内外の住民に	月1回程度、定例的に企画制作会議を実施することで	市民が企画した事業の実施	中止	企画事業数	7	0	回	—	0	0	0	0	E	アイデンカフェメンバーとの話し合いにより、本企画は中止とした。			
③ モニター制度	市内外の住民に	年間を通じて、自主事業等の公演等を鑑賞・体験してもらうことで	自主事業等の公演を鑑賞・体験してもらい、意見等をもらうことで事業企画・運営に反映させる。	モニター会議を2回開催	参加人数	3	12	人	客観的な評価のために適正と思われる人数	0	0	0	0	A	これまでモニターのメンバーによる直接意見交換をする機会がなかったが、広報宣伝への指摘などを翌年度の対策に活かすことができた。			
④ 舞台見学会	市内外の住民に	年3回程度舞台見学等を実施することで	舞台について、市民の理解を深めるために、舞台の機構や裏側を公開する舞台見学会を実施する。	実施回数1回	舞台見学会参加者数	294	72	人	前年実績並み	0	0	0	0	A	現行どおり、実施していく。また、一般向け舞台見学会以外に市内各小学校に働きかけ、学校行事としての見学会を実施した。			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	



長久手市行政評価票

事業番号	62	事業の名称	地域福祉計画策定事業			担当部署	部 福祉部	課 福祉課																																											
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(6)地域で支え合う福祉の仕組みをつくる	施策の進め方	(1)地域福祉計画の策定	フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	フラッグ項目	(36)地域福祉計画の策定・各施策の推進																																										
事業の概要	本計画は、地域住民の意見を十分に反映させながら策定する計画であり、今後の地域福祉を総合的に推進する上で大きな柱になるものであります。従来のような行政から支援を必要としている人への一方向のサービスの提供という形ではなく、地域と行政などが連携したネットワークシステムを作ることが大切となります。地域内のネットワークづくりや住民同士の支援活動を広げ、住民自治の実現を目指し、福祉施策の総合的な推進に資することができますようにします。					他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	この地域福祉計画の策定をしている全国の市区町村の割合は、平成25年3月31日現在において63.8% (1,742自治体の内1,111)となっています。その内、町村部では46.7 (930自治体の内434)ですが、市区部では83.4% (812自治体の内677)という策定状況です。																																												
事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	平成26年度	<table border="1"> <tr> <td>総事業費 (単位:千円)</td> <td>H25予算</td> <td>H25決算</td> <td>H26予算</td> <td>H26決算</td> <td>H27予算</td> </tr> <tr> <td>うち</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,598</td> <td>1,225</td> <td>1,679</td> <td>1,606</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>国費・県費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>受益者負担額</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>					総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	うち						一般財源	2,598	1,225	1,679	1,606	138	国費・県費	0	0	0	0	0	地方債	0	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	0	受益者負担額	0	0	0	0	0
総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算						H27予算																																									
うち																																																			
一般財源	2,598	1,225	1,679	1,606	138																																														
国費・県費	0	0	0	0	0																																														
地方債	0	0	0	0	0																																														
その他	0	0	0	0	0																																														
受益者負担額	0	0	0	0	0																																														
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民、事業者、市職員																																																		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	計画策定に多くの市民等が主体的に携わることで、地域の意見を反映することができるだけでなく、地域のネットワーク、計画推進の担い手ができ、地域福祉の向上につなげます。																																																		
						<table border="1"> <tr> <td colspan="2">評価の見方</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>		評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討																																
評価の見方																																																			
A	現行どおり実施																																																		
B	事業の改善																																																		
C	他事業と統合																																																		
D	運営主体の見直し																																																		
E	事業の廃止の検討																																																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算		事業規模 事業費	
① 計画書策定	市職員、市民	→	市の業務と地域福祉との関わりを理解してもらう 地域福祉計画の策定に主体的に関わることで	会議を各2回開催し、計画案のとりまとめを行った。	策定委員会、庁内プロジェクト・チーム会議の開催回数	12 4 4	回	計画策定まで2か月に1回	498 1,564 -	498 1,491	策定委員報償費117千円 計画書策定業務委託1,329千円	E - -	平成26年9月に計画策定が完了したため、計画策定のための策定委員会、庁内プロジェクト・チームは解散したため、評価はE(事業廃止)とする。
② 地域福祉推進のための講演会	市内の住民、福祉事業従事者ほか	●	地域福祉に関する先進地の事例報告や専門家による講演会を開催することで	講演会を2回開催し、計画の発表等を行った。	講演会の参加者数	475 265 200	人	100人×2回	2,100 115 138	727 115	講演会講師謝礼100千円	B 維持 維持	計画策定後も地域福祉に対する理解を深め、計画推進の啓発のための講演会を継続する。今後は、幅広い、新たな参加者を地域福祉の担い手として巻き込む必要があり、実施・呼掛け方法の改善の必要があると判断し、評価はBとする。
③ 地域福祉学習会	市内の住民に(小学校区毎)	→	地域における福祉課題を小学校区毎に学び、話し合うことで	3小学校区において、月1回の学習会を実施した。	勉強会の参加者数	144 501 540	人	15人×3小学校区×12回	- 0 -	0 0		A 維持 -	小学校区単位の地区社協設置に向けて、地域の話し合い、学びの場として今後も継続が必要であり、評価はAとする。
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 計画書策定	事業廃止		
② 地域福祉推進のための講演会		今まで地域福祉に関わりのなかった人を新たな担い手として巻き込むため、幅広い分野、年代の方に関心を持ってもらうため、講演会の実施方法、参加呼掛けについて検討をする。	H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	63	事業の名称	社会福祉団体補助事業			担当部署	部 福祉部	課 福祉課				
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(6)地域で支え合う福祉の仕組みをつくる	施策の進め方	(2)地域福祉体制の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会は、地域に暮らす地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざしたさまざまな活動をおこなっています。補助金交付により、事業の充実、地域活動の支え合いを活性化し、地域福祉の向上を図ります。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	他市町においても同様に実施している。						
事業期間	事業開始年度	社協/昭和60年度 民協/昭和62年度	終了(予定)年度	—								
事業の対象 (だれ、何に対して)	社会福祉団体				総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	地域住民が、それぞれの地域で、いつまでも安心して自分らしく暮らすことができる。					うち	一般財源	67,692	67,619	92,307	91,072	102,311
							国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
										H26予算	H26決算			
①	社会福祉協議会補助金	社会福祉協議会	社会福祉協議会の役割、必要性を知ってもらう 地域に密着した活動することで	会員加入数 7,137人	会員加入数	7,355 7,137 7,700	件	更なる社協への理解、認知が必要であり、前年度の5%程度の増加。	62,972 87,587 97,591	62,899 86,378	職員設置費 75,485千円 運営費3,151千円 事業費7,742千円	A 維持 増加	成果目標である会員加入数は目標値を下回ったが、地区社協の設置、サロン活動の助成等、地域に密着した活動より社協に対する認知度、理解も高まりつつあり、引き続き地域福祉推進を目的とする事業実施に伴う人件費とその運営費等を補助し、福祉の向上を図る必要があり、評価はAとする。	
②	民生委員児童委員協議会補助金	民生委員児童委員協議会	地域の困りごとの相談役として、地域に根差した存在になってもらう 地域の見守り、相談業務を行うことで	活動日数 6,898日	委員の述べ活動日数	5,747 6,898 6,000	日	地域の見守りの充実のため、前年度の5%程度の増加。	4,720 4,720 4,720	4,720 4,694	民生委員児童委員協議会運営事業費 4,694千円	A 維持 維持	民生委員児童委員の活動を実施するにあたり、必要な運営費を補助しており、評価はAとする。	
③														
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	64	事業の名称	支え合いマップ策定事業		担当部署	部 福祉部	課 福祉課																	
基本方針		分野別項目		施策の進め方		フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	フラッグ項目	(44)支え合いマップの策定															
事業の概要	住民主体の助け合いのあり方への理解、マップ作りのねらいや初歩的知識の習得を目的とした入門講座から、実際に自分たちの住む地域のマップづくりに取り組むことで、地域にどんな困っている人がいるのか、どのような人のつながりがあり、支え合いが行われているかを再確認、共有することで地域の見守り体制の充実を目指します。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	安城市では、支え合いマップづくりをとおして、町内会単位の福祉委員会による地域の見守り活動を実施しています。																		
事業期間	事業開始年度	平成26年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民				うち	一般財源	—	—	757	420	771													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	現在は、民生委員・児童委員のみが行っている避難行動要支援者登録制度への地域の協力体制(自治会役員等による訪問調査等)を構築し、地域の守りのための基礎活動につなげたい。				国費・県費	—	—	0	0	0														
					地方債	—	—	0	0	0														
					その他	—	—	0	0	0														
					受益者負担額	—	—	0	0	0														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~										H26実績	H26予算
① 支え合いマップ参加者	市内の住民、福祉事業従事者ほか	→				4地区において、マップづくりを各5回実施した。	講座参加者数	—	—	—	—	—	—	—	A	成果目標である参加者数は目標値を下回ったが、継続的な話し合いにより地域のつながり、課題解決に向けた取組みが始まりつつあり、地域の見守り体制の充実のため、引き続き事業継続が必要であり、評価はAとする。
②							122	757	420	771	講師謝礼140(3回)					
③							150									
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	65	事業の名称	障害者相談支援事業		担当部署	部	課					
						福祉部	福祉課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(4)障害者が暮らしやすいまちをつくる	施策の進め方	(1)相談支援体制の充実	フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～					
						フラッグ項目	(39)相談支援事業の充実					
事業の概要	障害者総合支援法に基づき、福祉の家に相談支援センターを設置し相談を受け付けたり、障がい者の虐待防止を目的に24時間365日受付可能な障害者の相談事業を委託する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:3障害と児童を対象に「障害者相談支援センター」に指定管理を行っている。正規職員5名で指定管理料18,145千円 東郷町:知的・身体を社会福祉協議会が担当し4,826千円、精神を地域活動支援センター柏葉が担当 瀬戸市:平成25年度から基幹相談支援センターを実施予定。正規職員2名事務職員1名委託料13,500千円 尾張旭市:委託料3,000千円でひまわりに委託 豊明市:基幹相談センターとして社会福祉協議会に委託正規職員3名19,000千円臨時職員1名3,150千円						
事業期間	事業開始年度	平成19年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	障がい者とその家族、支援者等					うち	一般財源	11,200	11,269	11,200	11,200	13,102
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	障がい者の相談を通じて適切なサービスの利用につなげる。						国費・県費	0	2,730	4,424	2,852	
							地方債	0	0	0	0	
					その他		0	0	0	0		
						受益者負担額	0	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① 一般相談支援事業	障がい者とその家族、支援者	福祉の家に相談支援センターを設置することで	支援を必要とする障がい者が適切な支援を利用し、自己実現ができる。	実相談件数 5265件	相談支援事業の利用人数	4,697 5,265 4,800	人	のべ利用人数4800人 400人×12月=4800人	11,200 11,200 13,102	11,268 11,200	障害者相談支援事業業務委託(9,200千円) アドバイザー業務委託(困難ケース相談)(400千円)	A 拡充 増加	障がいのある方、支援者及び関係者に対する相談を実施し、支援するための体制の充実のため、引き続き事業継続が必要であり、評価はAとする。
② 障害者虐待防止センター事業	障害者とその家族	24時間365日受付可能なオンコール体制を実施することで	虐待の防止及び虐待防止の啓発を図る。	虐待件数 0件	虐待通報に対する48時間以内の対応件数	100 - 100%	%	48時間以内対応件数/虐待通報件数	相談事業に含む 0	相談事業に含む	障害者虐待防止事業業務委託(2,000千円)	A 維持 削減	障がいのある方が擁護者等から虐待を受けた場合の体制整備、居室確保についての支援体制を整備する必要があるため、評価はAとする。 なお、事業の一部内容を改善を実施したため、事業費は削減とする。また、平成26年度の発生件数は0件となっている。
③													
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	66	事業の名称	長生学園	担当部署	部 福祉部	課 長寿課								
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(3)生きがいづくり	フラッグ								
事業の概要	高齢者が住み慣れた自宅や地域で安心して暮らすことができ、生きがいを持って明るく元気に暮らせるよう、更に高齢者同士のつながりの強化、高齢者のいきがいづくり及び外出の機会を拡充することを目的とし、年度に25回、高齢者を対象とした防犯・防災などの講話や介護予防体操などを行う。また、県外への日帰り親睦旅行もしている。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	実施なし									
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)									
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住のおおむね60歳以上の市民			総事業費	H25予算	1,198	H25決算	1,189	H26予算	1,316	H26決算	1,443	H27予算	1,723
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	外出を促進し、つながりの強化、社会参加機会を拡充させる。	うち			一般財源	1,198	1,189	1,316	1,443	1,723				
		国費・県費			0	0	0	0	0					
		地方債			0	0	0	0	0					
		その他			0	0	0	0	0					
受益者負担額		0	0	0	0	0								

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~												H26目標値	H26予算
① 長生学園事業	市内在住のおおむね60歳以上の市民	→	→	→	→	23回	参加者数	1,538	1,547	人	事業実績による目標値	1,198	1,189	1,316	1,443	委託料1,365千円 報償費78千円	B	長生学園地域事業については、平成25年度同様社会福祉法人に委託をし、実施した。 日帰り温泉事業についても、平成25年度と同様に、事業の準備や当日の添乗等を実行委員会を設置し運営を行った。 観光バス料金の見直しがあったため、事業費については増加とした。
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業		改善内容(H27以降に実施する内容)		H27以降新規に実施する事務事業	事務事業		事業概要	
	①	長生学園事業	事業の周知を行い、参加者の増加を図る。						

長久手市行政評価票

事業番号	67	事業の名称	敬老事業			担当部署	部	課				
						福祉部	長寿課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(3)生きがいづくり	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	敬老金を贈呈し感謝の意を表すとともにその長寿を祝うことを目的とし、敬老金(80歳、85歳、90歳、95歳は5,000円、数え99歳以上の方は10,000円)の贈呈を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市…敬老金5,000円:数え88歳、数え95歳 20,000円:数え100歳 10,000円:数え101歳以上 東郷町…記念品(ひざかけ):満88歳、記念品(写真立て):満99歳(H25年実績。毎年2,000円前後の品) 尾張旭市…敬老金5,000円:数え88歳 敬老金10,000円:数え100歳 瀬戸市…敬老金5,000円:数え88歳 敬老金10,000円:数え100歳 豊明市…記念品(タオル):数え100歳以上(毎年1,500円程度の品)、敬老金5,000円:数え88歳、数え99歳 敬老金10,000円:数え100歳以上						
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の80歳、85歳、90歳、95歳、数え99歳以上の方					うち	一般財源	3,133	2,326	2,958	2,575	5,802
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	敬老金を贈呈し感謝の意を表すとともにその長寿を祝う。					国費・県費	0	0	0	0	0	
						地方債	0	0	0	0	0	
					その他	0	0	0	0	0		
					受益者負担額	0	0	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の説明			
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算			H26決算の主な内訳 (単位:千円)		
		4月~	7月~	10月~	1月~													H26目標値	H26予算
① 敬老の日大会事業	市内在住の80歳、85歳、90歳、95歳、数え99歳以上の方			●		木受領の対象者には通知をして振込手続きをし、対象者すべてに敬老金の贈呈を行った。	配布人数	411	463	人	高齢者数増加から予想される数値	3,133	2,326	2,958	2,575	9/15敬老事業開催にかかる費用 180千円 敬老金 2,395千円 (5,000円×447人、10,000円×16人)	B 維持 増加	催事については好評だったため、同様のイベントを行うが、文化の家主催から長寿課主催へと変更。敬老金は対象者すべてに配布する。 長寿記念品のござらっせ入泉券による入泉料補助費について、健康増進事業費から科目を付替えたため、H27は予算額が増額。	
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業		改善内容(H27以降に実施する内容)		H27以降新規に実施する事務事業	事務事業		事業概要	
	①	敬老の日大会事業	事業の周知を行い、参加者の増加を図る。						

長久手市行政評価票

事業番号	68	事業の名称	高齢者優待事業補助金			担当部署	部 福祉部	課 長寿課				
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(3)生きがいづくり	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	・リノモ乗車券1枚(1,000円分)の交付。 ・年度の間に名都美術館に3回、トヨタ博物館に1回、無料で入館できる。 ・年度の間に10回、福祉の家の福祉浴室、歩行浴室が無料で利用できる。 ・あつたかあどの発行(ござらっせ入浴料金の割引。福祉の家の福祉浴室、歩行浴室が200円で利用できる。Nバスが無料で乗車できる)				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	①外出促進②文化施設優待③福祉浴・歩行浴優待④あつたかあど 瀬戸市 ①～④実施なし 尾張旭市 ①タクシーチケット交付(80歳以上) ②～④実施なし 日進市 ①デマンドバス定期券(65歳以上 月1000円) 要介護認定の方無料 東郷町 ①④デマンドバス無料(65歳以上) ②③実施なし 豊明市 ①デマンドバス1年無料(免許返納の場合) ③大府市の東部知多温泉プール半額助成(65歳以上年間40枚/人まで) ②④実施なし 名古屋市 ①敬老バス(市営交通、あおなみ線) ②敬老手帳(市内36箇所) ③～④実施せず 豊田市 ①、③、④実施無し ②豊田市美無料(常設展のみ75歳以上)						
事業期間	事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	市内在住の満65歳以上の市民					うち	一般財源	7,979	6,712	7,013	6,651	7,518
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	外出を促進し、つながりの強化、社会参加機会の拡充を目的とする。					国費・県費	0	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0	
					その他	0	0	0	0	0		
					受益者負担額	0	0	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的			事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)	H25実績			H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明	
										H26目標値	H26予算				H26決算
										4月～	7月～				10月～
① 高齢者外出促進事業	市内在住の満65歳以上の市民	通年	高齢者が外出の機会を増やすことで、社会的視野を広めるとともに、生きがいを得られる	3,519	3,576	枚	実績からの見込数	3,497	3,496	リノモカード3,500枚購入 3,312千円	A	現行どおり実施していく。事業費については、65歳以上の人口が増加しており、利用者数が増えているため、増加とした。			
② 高齢者文化施設優待事業	市内在住の満65歳以上の市民	通年	社会的視野を広めるとともに、高齢者に生きがいを与える	891	815	枚	実績からの見込数(一度発行すると6年間有効なため毎年度発行枚数は減少する)	450	591	入館料 名都美術館:600円 トヨタ博物館:400円	C	あつたかあどと統合する。事業費については、65歳以上の人口が増加しており、利用者数が増えているため、増加とした。			
③ 高齢者福祉浴・歩行浴優待事業	市内在住の満65歳以上の市民	通年	高齢者が温泉施設を利用することにより、高齢者の健康を増進すること及び楽しみを得て元気に暮らす	4,993	4,931	人	実績からの見込数	66	0	—	A	平成25年度より、あつたかあどの提示と個人台帳による管理としており、来年度においても同様に実施する。			
④ あつたかあど事業	市内在住の満65歳以上の市民	通年	外出を促進し、また、高齢者が温泉施設を利用することにより、高齢者の健康を増進すること及び楽しみを得て元気に暮らす	641	775	枚	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業による目標値	3,966	2,625	あつたかあど裏面印刷 108千円 入泉助成 2,699千円	A	文化施設優待カード機能を持たせる。65歳以上高齢者の増加、またあつたかあどの特典追加(あつたかあどデーの実施や協賛店舗による特典等)によりカードの購入枚数は増加すると見込んだ。			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	② 高齢者文化施設優待事業	「長久手市高齢者文化施設優待カード」(黄色のカード)による管理から、あつたかあどの裏面に「文化施設優待利用記録簿」シールを貼付することで、あつたかあどの提示で文化施設優待利用ができるよう変更。			

事業番号	69	事業の名称	高齢者福祉事業	担当部署	部 福祉部	課 長寿課
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支援体制の充実	フラッグ フラッグ項目
事業の概要	・食の自立支援事業…給食の宅配による栄養管理、安否確認を行う。 ・家具転倒防止事業…タンス、書棚等家具ひとつにつき器具2個を1組として設置する。 ・寝具洗濯乾燥事業…布団や毛布の洗濯乾燥し、直接利用者宅へ集配する。 ・ホームヘルパー派遣事業…調理、衣類の洗濯、住居等の掃除及び整理整頓、生活必需品の買物等を行う。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	・食の自立支援…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町など同種事業実施 ・家具転倒防止事業…近隣で同種事業を行っている市町村なし ・寝具洗濯乾燥…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町など同種事業実施 ・ホームヘルパー派遣事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、東郷町など同種事業実施	
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の65歳以上の市民等			総事業費	H25予算	22,274
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的支援や日常的支援により、住み慣れた地域の中で安心して生活してもらうため。				H25決算	20,189
					H26予算	24,635
					H26決算	27,856
					H27予算	30,427
				うち	一般財源	22,274
					国費・県費	0
					地方債	0
					その他	0
					受益者負担額	5,652
					H26決算	5282
					H26予算	5,961
					H26決算	7,352
					H27予算	9,212

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		H26目標値							H26目標値		成果指標の目標値 設定の根拠	H27予算					事業規模 事業費	
① 食の自立支援事業	・65歳以上の一人暮らしの者 ・75歳以上の者のみの世帯	年間を通して、宅配給食を必要な方に配達することで				調理等日常生活に支障のある一人暮らしの高齢者等の健康の保持、食生活の改善、日常生活の助長を図るとともに、安否の確認を行う	H26.10月から土日祝の配食スタート。利用者数は1年間で33人増加。年間の配食数は9,799食増加。	利用者数	114 147 120	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	11,205 12,261 18,465	9,826 16,694	1食670円×24,915食=16,693,050円	B 向上 維持	業者の選択ができるように準備していく。		
② 家具転倒防止事業	・65歳以上の一人暮らしの者 ・75歳以上の者のみの世帯 ・身体障害者手帳2級以上の者 ・療育手帳B判定以上の者 ・精神障害者保健福祉手帳2級以上の者 ・要介護認定で要介護3以上の者	地震時の高齢者等宅において、家具等の転倒等による人的被害の発生を防止するため、市が家具等の転倒防止器具を取付けることで				高齢者等が安心して生活できる環境を整備する	2組取付:2名、4組取付:1名、取付不可:2名	利用者数	6 5 45	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	271 140 146	47 26	6,103円×2件+11,243円×1件+963円×2件=25,375円	B 向上 維持	取付器具数の上限を撤廃し、利用者数の増加を図る。		
③ 寝具洗濯乾燥事業	・介護保険法第27条における要介護認定で要介護3以上の者又は認知症高齢者一人暮らし高齢者 ・重度身体障害者 ・後期高齢者世帯の世帯員	身体的な虚弱等の理由により、寝具を洗濯することが困難である人に対し、寝具洗濯乾燥サービスを行うことで				高齢者及びひとり暮らし高齢者等が快適な生活を送れる	利用人数 55人	利用者数	47 55 50	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業による目標値	500 671 551	649 517	寝具選択乾燥 517千円	B 向上 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数のさらなる向上を図る。		
④ ホームヘルパー派遣事業	・介護保険法第14条に規定する介護認定審査会において非該当と認定された者で、家族のみでは家族等を行うことが困難な者 ・緊急に家事援助が必要な者で介護保険を申請中の者	家事等が困難で日常生活を営むのに支障がある者に対して、ホームヘルパーを派遣することで				高齢者等が住み慣れた地域の中で安心して生活を営むことができる	延人数 29人	利用者数	3 4 11	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業による目標値	726 520 260	234 189	ホームヘルパー派遣 189千円	B 向上 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数のさらなる向上を図る。		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 食の自立支援事業	業者の選択ができるように準備していく。		
② 家具転倒防止事業	取付器具数の上限を撤廃し、利用者数の増加を図る。			
③ 寝具洗濯乾燥事業	市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数のさらなる向上を図る。			
④ ホームヘルパー派遣事業	市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数のさらなる向上を図る。			



事業番号	69	事業の名称	高齢者福祉事業	担当部署	部 福祉部	課 長寿課
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支援体制の充実	フラッグ F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～
フラッグ項目	(43)徘徊高齢者家族の支援					
事業の概要	・デイサービス事業…自宅からデイサービスセンターまで送迎し、日常動作訓練や趣味活動の提供を受け、身体的な機能の低下を防ぎ、生きがいのある生活を図る。 ・緊急通報システム事業…緊急時にボタンを押すだけで、通報センターから消防本部等に通報され、救助等を行う。 ・徘徊高齢者等家族支援事業…専用端末機を貸出し、徘徊時にその位置を検索し、早期発見及び保護を行う。 ・防犯対策事業…玄関前等にセンサーライトを取り付ける。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)		・デイサービス事業…瀬戸市尾張旭市、日進市、豊明市など同種事業実施 ・緊急通報システム事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町で同種事業実施 ・徘徊高齢者家族支援事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町など同種事業実施 ・防犯対策事業…近隣で同種事業を行っている市町村なし
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の65歳以上の市民等			総事業費		総事業費 (単位:千円)
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的支援や日常的支援により、住み慣れた地域の中で安心して生活してもらうため。			H25予算 22,274 H25決算 20,189 H26予算 24,635 H26決算 27,856 H27予算 30,427		一般財源 22,274 国費・県費 0 地方債 0 その他 0 受益者負担額 5,652
						評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		H26目標値							H26目標値	人		H27予算					事業規模 事業費		
⑤ デイサービス事業	・要介護認定で非該当(自立)と判定されたもの ・ひとり暮らし高齢者及び後期高齢者世帯 ・要介護認定申請中の者 ・日中独居状態となる65歳以上の高齢者で本事業の利用が必要と認められる者	→				生きがいのある生活と社会参加を促進し、高齢者福祉の増進を図る	利用者数 3人	延利用者数	3	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業による目標値	875	977	1,000	1,024	延利用回数 74回分 1,024千円	B	閉じこもり予防の必要な高齢者の把握に努め、利用者増を目指す。	
⑥ 緊急通報システム事業	・65歳以上の一人暮らし高齢者 ・75歳以上の世帯 ・日中又は夜間において長時間に渡り独居状態になる身体障害者手帳1級及び2級所持者 ・シルバーハウジング入居者	→				日常生活上の不安を軽減し、円滑な救助及び援助を行い、もって福祉の増進を図る	利用者数 142人	利用者数	147	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業による目標値	7,954	8,256	9,592	9,053	緊急通報システム業務委託料 7,267千円 緊急通報システム保守委託料 1,409千円	A	センサー付き機器を導入し、さらなる利用者数の増加を図る。	
⑦ 徘徊高齢者等家族支援事業	・次のいずれかの人を介護する家族 1 徘徊癖の見られる認知症高齢者 2 知的障がい者	→				徘徊癖の見られる認知症の高齢者や知的障害者等を介護する家族及び保護者が安心して介護できる環境を整備する	利用人数 2人	利用者数	2	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業による目標値	314	32	150	103	徘徊高齢者家族支援事業委託 103千円	B	利用者が少ないため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。	
⑧ 防犯対策事業	・満65歳以上のひとり暮らしの人 ・満75歳以上のみの世帯	→				高齢者宅への侵入盗などによる犯罪被害を防止するため、高齢者の申請に基づき、市が防犯器具を取り付けることにより、高齢者が安心して生活できるまちづくりを推進する	利用者数 11人	利用者数	11	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業による目標値	328	149	200	185	高齢者防犯対策委託 185千円	B	利用者が少ないため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	⑤	デイサービス事業		
⑥	緊急通報システム事業	センサー付き機器を導入し、さらなる利用者数の増加を図る。		
⑦	徘徊高齢者等家族支援事業	利用者が少ないため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。		
⑧	防犯対策事業	利用者が少ないため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。		

H27以降新規に実施する事務事業

事業番号	69	事業の名称	高齢者福祉事業		担当部署	部 福祉部	課 長寿課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支援体制の充実	フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	フラッグ項目	(35)ワンコインサービスの実施			
事業の概要	高齢者に対し、専門的な知識・技術を要しない軽度な日常生活支援等をワンコインで行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣で同種事業を行っている市町村なし						
事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の65歳以上の市民等					うち	一般財源	22,274	20,189	24,635	27,856	30,427
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的支援や日常的支援により、住み慣れた地域の中で安心して生活してもらうため。					国費・県費	0	0	0	0	0	
						地方債	0	0	0	0	0	
					その他	0	0	0	0	0		
					受益者負担額	5,652	5,282	5,961	7,352	9,212		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
⑩ ワンコインサービス事業	・満65歳以上のひとり暮らし高齢者 ・満75歳以上のみの世帯	在宅の高齢者に対し、軽度な日常生活の援助を行うことにより、				住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整え、また、高齢者に対する経済的な負担の軽減を図る	延利用者数 177人	利用者数	62	177	人	実績による目標値	101	19	101	65	ワンコインサービス事業補助金 65千円	A	高齢者相互の支え合いを推進するため、事業内容をさらに使いやすいものにし、利用者数の向上を図る。
⑪																			
⑫																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

事業番号	70	事業の名称	高齢者日常生活補助金	担当部署	部 福祉部	課 長寿課				
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支援体制の充実	フラッグ フラッグ項目				
事業の概要	・紙おむつ助成…紙おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋等の購入費用を、年度上限額5万円までを助成する。 ・住宅改修事業…手すりの取り付け等住宅の改修費用を補助する。 ・家族介護慰労金支給事業…介護者に対し、10万円の慰労金を支給することで精神的、経済的負担の軽減を図る。 ・訪問理美容サービス事業…在宅理美容サービス費用を助成する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	・紙おむつ助成…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、東郷町で同種事業実施 ・住宅改修事業…豊明市で同種事業実施 ・家族介護慰労金支給事業…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市、東郷町で同種事業実施 ・訪問理美容サービス事業…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市、東郷町で同種事業実施					
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)					
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の満65歳以上の市民等			総事業費	H25予算	H25決算				
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的支援や日常的支援により、住み慣れた地域の中で安心して生活してもらうため。				H26予算	H26決算				
					H27予算	H27決算				
					H28予算	H28決算				
				H29予算	H29決算					
				うち	一般財源	7,063	6,424	6,979	6,630	7,164
					国費・県費	0	0	0	0	0
					地方債	0	0	0	0	0
					その他	0	0	0	0	0
					受益者負担額	0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		H26目標値							H26目標値			H26予算	H26決算			
① 紙おむつ助成	介護保険法で要介護2から5と認定され、本人所得金額200万円未満の者であり、介護保険施設に入所していない者	→				介護者と要介護者の健康的な生活を支援する。	事業利用申請者数155人	助成金支給者数	155 137 160	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	4,089 4,450 4,635	4,323 4,858			
② 住宅改修事業	65歳以上で補助事業を実施しようとする住宅に居住し、申請時に市民税非課税世帯である者	→				対象者に安心、快適な生活を送れるようにする	手すり設置や段差解消の工事を行った利用者5人に対し、助成を行った。	助成金支給件数	7 5 30	件	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	2,500 2,100 2,100	1,885 1,500	300千円×5人=1,500千円	B 維持 維持	高齢者が安心して自宅で生活できるよう、今後も同様の内容で実施していく。
③ 家族介護慰労金支給事業	介護保険法第19条に規定する認定を受けた被保険者の介護を家族介護者が同居する居宅において行っており、世帯構成員の中に在宅で介護している期間において要介護度又は要介護3以上の認定を受けた被保険者がいること。且つ、世帯構成員のうち主たる生計中心者が申請時において市民税非課税者であり、要介護認定を受けた被保険者が、介護期間において法第40条に規定する介護給付を1年間受給していないこと。	→				介護者の精神的かつ経済的負担の軽減を図る	利用人数0人	利用者数	0 0 1	人	予算額による算定	100 100 100	0 0	-	B 向上 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用率の向上を図る。
④ 訪問理美容サービス事業	介護保険で要介護3~5に認定された寝たきり状態、もしくは認知症高齢者の人・身体障害者手帳1級(内部疾患障がい者を除く)の人	→				ねたきり状態の高齢者及び重度身体障害者(児)の保健衛生を向上させる	利用者数26人	利用者数	23 26 24	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	288 288 288	216 210	高齢者訪問理美容サービス支給費210千円	B 向上 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用率の向上を図る。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 紙おむつ助成	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。		
② 住宅改修事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。			
③ 家族介護慰労金支給事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。			
④ 訪問理美容サービス事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。			

事業番号	70	事業の名称	高齢者日常生活補助金		担当部署	部 福祉部	課 長寿課				
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支援体制の充実	フラッグ	フラッグ項目				
事業の概要	電磁調理器の購入代を各1回に限り助成する。(所得制限あり)			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市で同種事業実施						
事業期間	事業開始年度	平成12年度	終了(予定)年度	-							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の満65歳以上の市民等			総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的支援や日常的支援により、住み慣れた地域の中で安心して生活してもらうため。				うち	一般財源	7,063	6,424	6,979	6,630	7,164
					国費・県費	0	0	0	0	0	
					地方債	0	0	0	0	0	
				その他	0	0	0	0	0		
受益者負担額	0			0	0	0	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~										H26実績	H26予算
⑤	日常生活用具給付事業	・満65歳以上の 寝たきりの人 ・満65歳以上の ひとり暮らしの人 ・満75歳以上の みの世帯	電磁調理器、火災報知機、自動消火器を各1回に限り助成することで (所得制限あり)	日常生活の安全と利便の向上を図る。	利用者数 2人	利用者数	0 2 1	人	予算額による算定	86 41 41	0 62	電磁調理器購入費 助成 62千円	B 維持 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用率の向上を図る。		
⑥																
⑦																
⑧																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	①	日常生活用具給付事業		
			H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	71	事業の名称	地域支援事業(介護予防事業)		担当部署	部 福祉部	課 長寿課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(1)介護予防の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	市内在住の65歳以上の高齢者が、要支援・要介護状態になることなく元気でいきいきした生活を送ることができるよう、介護保険法に基づき運動、口腔、栄養、閉じこもり・うつ、認知の5項目に関連した介護予防事業を実施している。 平成25年度から社会福祉法人長久手市社会福祉協議会、愛知たいようの杜に委託。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町においても、介護保険法に基づき介護予防事業を実施している。						
事業期間	事業開始年度	平成18年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住で要介護認定を受けていない65歳以上の人					うち	一般財源	10,311	9,458	11,979	11,407	12,371
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	要支援・要介護状態になることを防ぐ。					国費・県費	5,767	5,769	6,720	6,442	6,950	
						地方債	0	0	0	0	0	
					その他	0	0	0	0	0		
					受益者負担額	693	728	773	824	781		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~						H26予算	H26決算		事業規模 事業費	
① 介護予防事業	市内在住の 65歳以上の 人	年間通し、福祉の家の各部屋 を利用して、運動や口腔、栄 養、うつ・閉じこもり、認知の5項 目に着目した教室を実施する ことで	要支援・要介護状態 になることを防ぐ	12教室を延 べ331回実 施 参加実人数 762人(うち 二次予防事 業対象者 134人)、延 べ人数 4,839人	当該年度末の高 齢者人口に対す る介護予防教室 に参加した二次 予防事業対象者	1.6	%	国で掲げられてい る目標値	16,078	15,227	18,699	17,849	19,321	B	目標値には達していないため事業につ いてさらに周知を図り、参加者の増加を 目指す。
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要
	① 介護予防事業			より多くの方に参加していただけるよう、事業を運営委託している地域包括支援センターと周知方法等話し合う。	

事業番号	72	事業の名称	施設の利用予約及びその管理業務			担当部署	部 福祉部	課 長寿課			
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(3)生きがいづくり	フラッグ	フラッグ項目				
事業の概要	福祉の家で実施している、住民を対象としたサービス業務(貸室、福祉浴室・歩行浴室、窓口での受付案内等)			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)		施設の運営管理業務は、全国の公共施設において一般的に行われている。					
事業期間	事業開始年度	平成14年度	終了(予定)年度	-							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民			総事業費		総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。					うち	一般財源	0	0	0	0
						国費・県費	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0
						受益者負担額	3957	3609	3757	3443	3609

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26目標値			H27予算							
① 貸室(工房1)	市民	[Progress Bar]				福祉の向上を図る	延利用人数 1,829人	開館日に対する 利用日数の割合	47.7	50.0	%	開館以来の利用率推移を参考として	0	0	0	0	A	平成25年度より、社会福祉法人に施設の利用及び管理業務を委託しており、現行どおりに実施していく。利用率向上が見られるが、更なる向上のための取組を行う。	
		貸室を利用してもらうことで							45.0				0				維持		
② 貸室(工房2)	市民	[Progress Bar]				福祉の向上を図る	延利用人数 160人	開館日に対する 利用日数の割合	5.6	10.8	%	開館以来の利用率推移を参考として	0	0	0	0	A	平成25年度より、社会福祉法人に施設の利用及び管理業務を委託しており、現行どおりに実施していく。利用率向上が見られるが、更なる向上のための取組を行う。	
		貸室を利用してもらうことで							10.0				0				維持		
③ 貸室(ITルーム)	市民	[Progress Bar]				福祉の向上を図る	延利用人数 651人	開館日に対する 利用日数の割合	19.3	18.0	%	開館以来の利用率推移を参考として	0	0	0	0	A	平成25年度より、社会福祉法人に施設の利用及び管理業務を委託しており、現行どおりに実施していく。利用率向上が見られるが、更なる向上のための取組を行う。	
		貸室を利用してもらうことで							15.0				0				維持		
④ 会議室	市民	[Progress Bar]				福祉の向上を図る	延利用人数 2,956人	開館日に対する 利用日数の割合	66.3	63.0	%	開館以来の利用率推移を参考として	0	0	0	0	A	平成25年度より、社会福祉法人に施設の利用及び管理業務を委託しており、現行どおりに実施していく。利用率低下が見られるため、向上のための取組を行う。	
		貸室を利用してもらうことで							60.0				0				向上		
																	維持		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

事業番号	72	事業の名称	施設の利用予約及びその管理業務			担当部署	部 福祉部	課 長寿課			
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(3)生きがいづくり	フラッグ	フラッグ項目				
事業の概要	福祉の家で実施している、住民を対象としたサービス業務(貸室、福祉浴室・歩行浴室、窓口での受付案内等)			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)		施設の運営管理業務は、全国の公共施設において一般的に行われている。					
事業期間	事業開始年度	平成14年度	終了(予定)年度	-							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民			総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。				うち	一般財源	0	0	0	0	0
					国費・県費	0	0	0	0	0	
					地方債	0	0	0	0	0	
					その他	0	0	0	0	0	
受益者負担額	3957	3609	3757	3443	3609						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~													
⑤ 集会室	市民	[手段]				延利用人数 15,189人	開館日に対する 利用日数の割合	91.5		%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	-	A	平成25年度より、社会福祉法人に施設 の利用及び管理業務を委託しており、 現行どおりに実施していく。 利用率の更なる向上のための取組を行う。		
		貸室を利用してもらうことで	福祉の向上を図る	91.5				0	0									
⑥ 機能回復訓練室	市民	[手段]				延利用人数 7,752人	開館日に対する 利用日数の割合	85.3		%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	-	A	平成25年度より、社会福祉法人に施設 の利用及び管理業務を委託しており、 現行どおりに実施していく。 利用率向上が見られるが、更なる向上 のための取組を行う。		
		貸室を利用してもらうことで	福祉の向上を図る	86.6				0	0									
⑦ 歩行浴室	市民	[手段]				延利用人数 9,092人	年間の延利用者 数	9,389		人	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	-	B	利用受付及び利用料金徴収について は、業務委託しており、現行どおりに実 施していく。 利用者が低下しているため、増加に 向け周知を進める。		
		貸室を利用してもらうことで	福祉の向上並びに健康 の維持及び増進を 図る	9,092				0	0									
⑧ 福祉浴室	市民	[手段]				延利用人数 6,798人	年間の延利用者 数	7,318		人	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	-	A	利用受付及び利用料金徴収について は、業務委託しており、現行どおりに実 施していく。 利用者が低下しているため、増加に 向け周知を進める。		
		歩行浴室を利用してもらうこと で	福祉の向上並びに健康 の維持及び増進を 図る	6,798				0	0									

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	⑦ 歩行浴室			より多くの方に利用していただけるよう、周知方法等を検討する。	

長久手市行政評価票

事業番号	73	事業の名称	交通児童遊園管理運営事業			担当部署	部	課				
						福祉部	子育て支援課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(9)安心して子育てができる環境をつくる	施策の進め方	(3)児童健全育成事業の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、児童の交通安全の知識及び能力の開発に寄与することを目的とする。 施設内の遊具等による児童への健全な遊び場の提供と、交通トレーニングコースを使用した正しい交通安全の知識を学び自己防衛能力を備える。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市交通児童遊園 「児童館」「交通コース」「あそびの広場」を設置、自転車の練習や交通安全教室を実施 春日井市交通児童遊園 「児童館」「交通トレーニングコース」を設置、子どもの健全育成と交通ルールを学ぶための施設						
事業期間	事業開始年度	昭和57年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童					うち	一般財源	2,939	2,787	3,853	3,818	3,295
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	児童の交通安全の知識の向上及び自転車の練習など能力の開発ができる環境をつくる。					うち	国費・県費	0	0	0	0	0
						うち	地方債	0	0	0	0	0
						うち	その他	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算		事業規模 事業費	
① 交通児童遊園運営事業	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童	安全な遊び場の提供、交通コースを使った交通安全の啓発を行うことで	児童の交通安全の知識の向上及び自転車の練習など能力の開発ができる環境をつくる。	施設利用者数	15,664 16,294 16,000	人	これまでの推移からの目標値	1,700 1,902 1,986	1,671 1,684	臨時職員賃金1,684	B	交通安全の啓発等に施設を有効活用するため、安心安全課や学校等と連携した事業を検討する必要がある。	
② 交通児童遊園管理事業	交通児童遊園	日常点検、施設管理業務を実施することで	施設を安全かつ快適に利用してもらう。	自転車点検年1回、遊具非破壊検査年2回、保守点検年10回等	0 0 0	件	重大な不具合の発生がないことを目標	1,239 1,951 1,309	1,116 2,134	トイレ改修工事864、除草・剪定等委託441、光熱水費201、消耗品費86、庇修繕59、砂場砂補充58	A	現行どおり実施していく。老朽化等による不具合箇所等については、早期対応によって補修費の削減に努める。	
③													
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 交通児童遊園運営事業	交通安全の啓発等に施設を有効活用するため、安心安全課や学校等と連携した事業を検討する必要がある。		



長久手市行政評価票

事業番号	74	事業の名称	ファミリーサポートセンター事業		担当部署	部	課					
						福祉部	子育て支援課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(9)安心して子育てができる環境をつくる	施策の進め方	(2)子育て支援の充実	フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～					
						フラッグ項目	(30)家庭児童相談室の設置					
事業の概要	子育ての援助を受けたい人が、仕事と育児を両立したり、子どもを預けてリフレッシュすることで、安心して子育てができる環境をつくることを目的とする。 地域において育児の援助を行いたい者(援助会員)と援助を受けたい者(依頼会員)の会員登録を行い、保育所への送迎など相互援助活動の橋渡しを行う。また、援助会員向けのフォローアップ研修や会員同士の交流を図り、活動のサポートを行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県54市町村のうち、45市町村で47か所設置(直営36か所 委託9か所 補助2か所) 近隣市町状況 ・瀬戸市 直営 ・尾張旭市 直営 ・日進市 委託 ・豊明市 直営・委託 ・東郷町 直営						
事業期間	事業開始年度	平成17年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	小学生までの子どもを育てている家庭の保護者					うち	一般財源	1,958	1,492	1,784	1,203	1,295
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	仕事と育児を両立し、安心して子育てができる環境をつくる						国費・県費	1,939	1,490	2,004	2,396	2,582
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算			H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)					
				H26実績	H26目標値			H27予算							
①	子育ての援助を受けた人	仕事と育児を両立し、安心して子育てができる。	活動件数/依頼件数	100.0	3,897	2,982	3,877	3,788	3,599	アドバイザー賃金2,869、託児報償金55、印刷製本費104、損害保険料298	A	現行どおり実施していく。目標を達成し、依頼件数は平成25年度より、約700件増加した。平成26年度に実施した会員向けアンケートでは、援助に満足したと答えた方が全体の96.9%と高かった。			
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	
	①	ファミリーサポートセンター事業		平成27年4月から乳幼児健診等、母子保健事業においてチラシを配布し、事業の周知を図っている。		

長久手市行政評価票

事業番号	75	事業の名称	子育て支援センター事業		担当部署	部	課					
						福祉部	子育て支援課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(9)安心して子育てができる環境をつくる	施策の進め方	(2)子育て支援の充実	フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～					
						フラッグ項目	(30)家庭児童相談室の設置					
事業の概要	子育て親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習会等の実施。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	子育て支援センター設置状況 ・瀬戸市1か所設置(直営) ・尾張旭市5か所設置(直営2か所、委託3か所) ・日進市3か所設置(直営1か所、委託1か所、指定管理1か所)						
事業期間	事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の子ども及び子育て中の保護者					うち	一般財源	1,324	1,228	1,346	1,056	1,139
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	子ども達が健やかに育ち、幸せになれる。また、子育て中の保護者が、虐待をしない。						国費・県費	1,075	1,136	1,493	1,656	1,744
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)		
									H26予算	H26決算			
① 子育て支援センター	市内の子ども及び子育て中の保護者	子育て支援センターを運営し、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進をすることで	子育て中の保護者が、安心して子育てできる。	入館者数 22,062人	市内の子ども及び子育て中の保護者の来館者数	21,825 22,062 23,000	人	前年度実績からの増加	484 904 948	464 799	消耗品費167、印刷製本費314、損害保険料97、清掃委託82	B 維持 維持	目標値は達成していないが、平成25年度より入館者数が約200人増加したため、現行を維持し、目標達成を目指す。
② 育児講座	市内の子ども及び子育て中の保護者	支援センター等で遊びの講座や講習会等を実施することで	子どもを育てる親が、子育ての知識を得ることで、楽しく子育てをする。	(参加者数) リズム遊び2,032人、おもちゃ作り204人、育児講座155人、親子で遊ぼう313人、赤ちゃんと遊ぼう118人	事業の参加人数	2,996 2,822 3,000	人	事業の定員数等からの数値	130 150 150	115 128	講座講師報償費100、託児報償費28	B 維持 維持	目標は達成していないが、約3,000の方が事業に参加した。今後も継続して事業を実施することで、子育ての知識の普及を図り、楽しく子育てすることを支援する。
③ 家庭児童相談室	市内の子ども及び子育て中の保護者	電話・来所・家庭訪問による相談を受けることで	子育て中の親等が、他者に相談することで、育児の不安感、負担感を軽減できる。	相談延件数(DV相談含む)252人	相談件数	255 252 300	人	家庭児童相談室の設置に伴う相談件数の増加	1,785 1,785 1,785	1,785	嘱託員報酬1,785	B 維持 維持	目標は達成していないが、平成25年度と相談件数は、ほぼ同数であった。相談内容が多岐にわたるため、相談員の充実を図る必要がある。
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 子育て支援センター	平成27年度から各児童館で実施しているリズム遊びにおいて、子育て支援センターを周知している。			
② 育児講座	平成27年度からリズム遊びの実施場所を西庁舎から各児童館へ変更し、参加者にとって身近な地域で実施することとした。				
③ 家庭児童相談室	平成27年度から家庭相談員に社会福祉士を雇用し、相談員の充実を図った。				

長久手市行政評価票

事業番号	76	事業の名称	要保護児童対策事業		担当部署	部	課					
						福祉部	子育て支援課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(9)安心して子育てができる環境をつくる	施策の進め方	(2)子育て支援の充実	フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～					
						フラッグ項目	(30)家庭児童相談室の設置					
事業の概要	児童虐待防止を目的として、要保護児童の適切な保護、要支援児童、特定妊婦への家庭訪問、面接など適切な支援を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 児童虐待に係る通告件数 29件 ・尾張旭市 " 7件 ・日進市 " 60件 ・豊明市 " 43件 ・東郷町 " 16件						
事業期間	事業開始年度	不明	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	要保護児童、要支援児童、特定妊婦					うち	一般財源	2,983	2,867	3,581	3,402	2,553
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	要保護児童等が保護者等からの虐待から解放され、安全で、心身ともに健やかな状態とする。						国費・県費	38	19	31	30	40
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	5	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明					
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績	H26実績	H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算			H25決算	H26決算	H26予算	H26決算	H27予算
		H26実績			H26目標値																
① 要保護児童対策事業	通告の対象者	虐待通告等があった際、家庭児童相談室の相談員が、安全の確認を行うための措置を講ずることによって				児童虐待に係る通告件数16件のうち、全件に対応。	通告件数に対する対応割合を成果指標とする。	100.0	%	通告があった場合、児童相談所運営指針によって、48時間以内の対応が求められていることから、対応割合を根拠とした。	3,021	2,886	3,612	3,432	2,598	一般事務員嘱託員報酬2,124、一般事務賃金914、要保護児童対策地域協議会委員報償金300、消耗品費41	A	現行どおり実施していく。			
②																					
③																					
④																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	77	事業の名称	放課後児童クラブ事業			担当部署	部	課				
						福祉部	子育て支援課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(9)安心して子育てができる環境をつくる	施策の進め方	(3)児童健全育成事業の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	放課後に、保護者が就労等により、留守になる家庭の児童を保護者に替わって預かる。 児童クラブ6箇所(長久手南、下山、長久手、上郷、市が洞、西) 学童保育所4箇所(長久手、長久手長南、長久手北、市が洞)				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市 児童クラブ(市営9箇所)、学童クラブ(民営6箇所) 日進市 児童クラブ(市営5箇所)、学童保育所(民営9箇所) 瀬戸市 児童クラブ(民営12箇所)、せとっこモアスクール(8箇所)						
事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	児童クラブ 市内に住所を有する小学校1年生から6年生までの児童 学童保育所 市内に住所を有する小学校1年生から6年生までの児童					うち	一般財源	13,868	6,621	37,916	5,911	24,131
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	入所要件を満たす児童をすべて受け入れる。						国費・県費	21,703	23,128	0	25,073	25,074
							地方債	0	0	0	0	0
							その他	0	0	0	0	0
					受益者負担額		12,164	12,699	12,164	13,822	13,424	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段(いつ、どのような手段を使って)						H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~							H26目標値	H26予算			
① 児童クラブ運営事業	市内に住所を有する小学校1年生から3年生までの児童	児童クラブを運営し、児童を受け入れることで、	入所要件を満たす児童をすべて受け入れる。	入所児童数225人、待機31人	入所児童数/申込者数	94.5 88 100	%	待機児童ゼロが目標	29,403 31,206 37,744	25,508 26,540	嘱託員報酬12,337、臨時職員賃金10,667、賄材料費1,212、損害保険料1,140	B 維持 維持	入所希望者の増加により、平成26年4月1日現在、31人の待機者が発生した。放課後児童クラブのニーズは今後も高いと想定されるため、定員の見直しを図る。			
② 児童クラブ事業委託(学童保育所)	市内に住所を有する小学校1年生から6年生までの児童	児童クラブ(学童保育所)を運営し、児童を受け入れることで、	入所要件を満たす児童をすべて受け入れる。	入所児童数186人、待機0人	入所児童数/申込者数	100 100 100	%	待機児童ゼロが目標	18,332 18,874 24,885	16,940 18,266	児童クラブ事業委託18,266	A 維持 維持	現行どおり実施していく。引き続き、待機児童が発生しないよう、定員の見直し等を図りつつ、事業を実施する。			
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 児童クラブ運営事業	児童クラブ入所希望者増加のため、定員を改正し実施する。 (南40人→50人、下山50人→59人、長久手52人→71人、市が洞64人→70人)		児童クラブ運営事業
			児童クラブ運営事業	国によって示された「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体化に努める。

長久手市行政評価票

事業番号	78	事業の名称	児童館運営事業			担当部署	部	課				
						福祉部	子育て支援課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(9)安心して子育てができる環境をつくる	施策の進め方	(3)児童健全育成事業の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、異年齢児、地域との交流の場とするを目的とする。 青少年児童センター、上郷児童館、下山児童館、長久手西児童館、長久手南児童館を運営する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市 9箇所(2箇所指定管理) 児童館こどもまつりは、みらい子育てネットの協力により各児童館で実施 日進市 6箇所(すべて複合施設) 東郷町 6箇所(1箇所指定管理)						
事業期間	事業開始年度	昭和49年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童					うち	一般財源	42,350	41,127	56,111	54,774	57,079
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	児童の発達を増進し、地域住民、自治会、子ども会などと連携した活動を進め、活性化を図る。					国費・県費	0	0	0	0	0	
						地方債	0	0	0	0	0	
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~				H26実績	H26決算		事業規模 事業費			
① 児童館施設管理事業	児童館					施設を安全かつ快適に利用してもらう。	施設維持管理上の重大な不具合件数	0	0	0	40,945	40,461	3,343	A	現行どおり実施していく。地域住民、自治会、子ども会と連携を深め、地域に根ざした活動を進める。
② 児童館活動事業	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童					児童館が地域の子育ての拠点となり、発達の増進を図る。	入館者数	69,374	70,069	69,500	569	235	100	B	入館者数の実績は増えており、今後も地域に身近な事業を実施することで、児童館を地域における子育て支援の拠点とするとともに子どもの健全育成の場とする。
③ 児童館まつり実施事業	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童					子どものボランティアの育成・援助を図る。	児童館まつり参加者数	1,493	1,499	1,500	836	431	245	B	ボランティアスタッフの参加人数や児童館まつりへの参加者数も増えている。今後も地域住民が企画運営に関わることで、児童館の良さを身近に感じてもらうよう努める。
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	② 児童館活動事業	学校や保育園等、子育て関連施設への情報提供を拡充し、地域住民の事業参加の促進に努める。		

H27以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	79	事業の名称	出産祝金支給事業		担当部署	部	課					
						福祉部	子育て支援課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(9)安心して子育てができる環境をつくる	施策の進め方	(2)子育て支援の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	子どもの誕生を祝うとともに子育てを支援することを目的とする。 ・第3子以降の出産に対し、1子あたり20万円の祝い金を支給する事業 ・平成26年1月1日生まれ以降は、10万円に改正				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載) 阿久比町 第3子以降に5万円を支給 南知多町、豊根村 出生児1人につき10万円を支給 飛島村 1人につき10万円を支給 設楽町 第2子に5万円、第3子に10万円、第4子以降に20万円を支給 小牧市 第3子以降に20万円を支給(平成26年3月31日で廃止) 愛西市 第3子以降に15万円を支給(平成27年3月31日で廃止予定)							
事業期間	事業開始年度	平成19年度	終了(予定)年度	平成27年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	第3子以降の児童を出生した保護者					うち	一般財源	10,000	15,300	9,000	7,000	6,500
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	子どもの誕生を祝い、子育てを支援する。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)				評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標	H25実績		単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
					H26実績				H26予算	H26決算					
① 出産祝金支給事業	第3子以降の児童を出生した保護者	4月~   7月~   10月~   1月~	子どもの誕生を祝い、子育てを支援する。 出産祝金を支給することで	支給対象児童数64人	80 64 85	人	これまでの推移から予想される数値	10,000 9,000 6,500	15,300 7,000	出産祝金7,000	E	外部評価の意見を反映し、平成26年1月1日以降生まれから、支給額を減額して継続している。また、木のおもちゃ等配布事業開始に伴い、平成28年1月1日をもって事業を廃止とすることとなった。			
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 出産祝金支給事業	木のおもちゃ等配布事業開始に伴い、平成28年1月1日をもって事業を廃止とする(平成27年12月31日生まで対象)		

長久手市行政評価票

事業番号	80	事業の名称	保育園入所等事業			担当部署	部 福祉部	課 子育て支援課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(9)安心して子育てができる環境をつくる	施策の進め方	(1)保育の充実	フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	フラッグ項目	(27)保育園の新設・改修、(28)家庭的保育事業の実施				
事業の概要	保護者の就労や疾病などにより、日中養育できない児童を保護者に代わり保育する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	①保育所数及び運営形態別数 ②待機児童数(平成26年4月1日時点) ③家庭保育室制度実施状況 瀬戸市……①公営13園、公営以外11園、合計24園。 ②待機児童3名 ③家庭保育室制度は未実施。 尾張旭市……①公営9園、公営以外6園、合計15園。 ②待機児童8名 ③家庭保育室制度は未実施。 日進市……①公営9園、公営以外2園、合計11園。 ②待機児童0名 ③家庭保育室制度は未実施。 東郷町……①公営8園、公営以外1園、合計9園。 ②待機児童9名 ③家庭保育室制度は未実施。							
事業期間	事業開始年度	昭和43年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	保護者の就労や疾病などにより、日中養育できない児童					うち	一般財源	1,247,263	1,216,700	1,144,530	1,049,159		1,137,165
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	入所要件を満たす児童を全て保育園に受け入れ、児童の健全な育成に努める。					うち	国費・県費	34,598	80,872	85,583	157,156		211,814
						うち	地方債	0	0	0	0		0
					うち	その他	0	0	0	0	0		
						受益者負担額	242,673	241,300	306,663	303,800	303,813		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)								
		4月~	7月~	10月~	1月~				H26実績	H26決算									
① 保育園運営事務	保護者の就労や疾病などにより、日中養育できない児童	4月~	7月~	10月~	1月~	入所児童数1,173人、待機児童数12人	入所児童数/申込者数	96.2	98.9	100	%	待機児童ゼロが目標	1,263,071	1,279,335	1,211,275	1,189,245	1,326,661	B	平成26年4月から公設民営による市が洞保育園の開園及び民設民営の2園(アイン・アート)を開園し、待機児童の解消を図った。
② 家庭保育室制度運営事業	待機児童	1	定員に達するまで	随時		全10人の利用	家庭保育室入所者数	10	10	10	人	家庭保育室定員数	18,790	18,217	18,838	17,070	22,318	A	待機児童の年齢層が0から2歳児クラスまでのため、家庭的保育事業を維持し、実施する。
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 公立保育園改築事業	老朽化している公立保育園の改修を順次行い、定員の拡充を図る。	民間保育園の開園	平成27年4月から民設民営保育園(コロポックル長久手保育園)を認可し、待機児童の解消を図る。

長久手市行政評価票

事業番号	81	事業の名称	私立保育所通所助成金事業			担当部署	部 福祉部	課 子育て支援課																	
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(9)安心して子育てができる環境をつくる	施策の進め方	(1)保育の充実	フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	フラッグ項目	(29)認可外保育施設への補助																
事業の概要	認可保育所の定員に空きが無いため入所できない児童が、認可外保育所に通所せざるを得ないケースが多く、認可外保育所へ通所する児童の保護者の負担軽減と児童福祉の向上を目的とする。 ・所得に応じて通所助成金を支給 ・助成額 所得に応じて月額1,000円～50,000円					他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町で同様の事業は実施していない。																		
事業期間	事業開始年度	平成13年度	終了(予定)年度	-		総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																									
A	現行どおり実施																								
B	事業の改善																								
C	他事業と統合																								
D	運営主体の見直し																								
E	事業の廃止の検討																								
事業の対象 (だれ、何に対して)	認可外保育所に通所している児童で、長久手市に居住している者を保護する者(以下「保護者」という。)					うち	一般財源	2,222	1,719	1,778	1,919	1,376													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	認可外保護施設へ通う児童の保護者負担の軽減を行う。						国費・県費	0	0	0	0	0													
							地方債	0	0	0	0	0													
							その他	0	0	0	0	0													
							受益者負担額	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月～	7月～	10月～	1月～										H26実績	H26予算
① 私立保育所通所助成金事務	保護者	●	●			助成事業申請者数45人	私立保育所通所助成利用者申請者数	57	2,222	1,719	私立保育所通所助成金:1,919千円	B	認可保育園が平成26年度は3園開園し助成金額は減少しているが、待機児童解消は達成していない。そのため、私立保育所通所助成金補助対象者の多数を占める階層を含め、助成金額が保護者負担軽減の目的に見合うか、検討・見直しが必要である。			
②								45	1,778	1,919		維持				
③								45	1,376			維持				
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 私立保育所通所助成金	申請した保護者が多い階層の助成金額が月1,000円であり、保護者負担軽減の目的に見合う助成金額であるか、助成金額の妥当性を検討する。		



長久手市行政評価票

事業番号	82	事業の名称	私学助成事業	担当部署	部 福祉部	課 子育て支援課
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(9)安心して子育てができる環境をつくる	施策の進め方	(1)保育の充実	フラッグ項目
事業の概要	保護者の授業料負担を軽減し、また幼稚園の運営に係る経常費を補助することにより、幼稚園事業の助長促進を図る。 ①長久手市私立幼稚園助成 市内に設置されている私立幼稚園に対し、運営に係る経常費の補助を行う。 ②長久手市私立幼稚園通園助成金 市内私立幼稚園に通園し、就園奨励費の対象とならない幼児の保護者に対し、授業料等の補助を行う。 ③長久手市私立幼稚園就園奨励費補助金 市内在住幼児が在園する市内外の私立幼稚園が行う授業料減免に対し、幼児の属する世帯の市町村民税所得割額に応じた補助を行う。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	①長久手市私立幼稚園助成 日進市、尾張旭市、豊明市、東郷町等、近隣市町でも同様の事業を実施。なお、東郷町は町内に私立幼稚園がないため、町内在住幼児が通園する町外の幼稚園に対して補助を行っている。 ②長久手市私立幼稚園通園助成金 日進、東郷町、豊明市、みよし市、名古屋市等で実施している。補助対象を市内私立幼稚園在園者に限っているのは本市のみ。瀬戸市、尾張旭市には現在制度がない。 ③長久手市私立幼稚園就園奨励費補助金 全国的に実施されている。近隣市町とも国の基準に準じて実施している。	
事業期間	事業開始年度	①昭和53年度②51年度③-	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	
事業の対象 (だれ、何に対して)	①市内私立幼稚園設置者 ②市内私立幼稚園に通園し、③に該当しない幼児の保護者(市内在住に限る) ③市内在住で私立幼稚園に在園する幼児の保護者(市町村民税所得割額に応じた額を幼稚園を通して補助)			総事業費	一般財源	87,791
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	授業料軽減を要する世帯に公平性を図りつつ必要な補助を行い、私立幼稚園事業を助長促進する。				国費・県費	69,041
					地方債	84,618
					その他	126,081
					受益者負担額	132,766
					H25決算	84,618
					H26決算	126,081
					H27予算	132,766
					H25予算	87,791
					H25決算	69,041
					H26決算	65,171
					H27予算	86,539
					H25予算	18,750
					H25決算	19,447
					H26決算	39,542
					H27予算	31,403
					H25予算	0
					H25決算	0
					H26決算	0
					H27予算	0
					H25予算	0
					H25決算	0
					H26決算	0
					H27予算	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
										H26目標値	H26予算				H26決算	
① 私立幼稚園助成	市内私立幼稚園設置者	幼稚園の運営に係る経常費を補助(市内在住で当該幼稚園に通園する幼児1人当たり6,000円)することによって	私立幼稚園事業を助長促進する。	市内幼稚園3園に計3,522千円を補助(587人)	市内幼稚園在園幼児数に対する市内在住園児数	76	77	%	平成26年度における市内幼稚園在園児数に対する市内在住園児数の割合を平成25年度と同等と見込んでいるため。	3,793	3,612	3,793	3,522	市内幼稚園3園に対する経常費補助:3,522円	A	現行どおり実施していく。幼児数全体が増加しているため、助成額の増加が見込まれており、事業費については増加とした。
② 私立幼稚園通園助成金	市内私立幼稚園に通園し、③に該当しない幼児の保護者(市内在住に限る)	市内私立幼稚園に通園し、③に該当しない幼児の保護者に授業料の補助(幼児一人当たり月額1,000円)をすることによって	市内の私立幼稚園事業を助長促進し、保護者の負担軽減を図る。	147人に計1,704千円を補助	幼児人口に対する補助件数	48	51	%	幼児人口(3~5歳児)に対する通園助成金・就園奨励費の補助件数の割合は、平成26年度は国の補助対象者の拡充があるため、平成25年度より増加すると見込んでいるため。	2,905	2,820	2,905	1,704	市内幼稚園3園に通園する保護者への授業料補助:1,704千円	A	私立幼稚園就園奨励費補助金の支給対象外者を救済し保護者の負担軽減に一定の効果が認められるため、現行どおり実施していく。③の補助対象者が拡充されているため、対象者は減少傾向にあるが、幼児数全体が増加しており、助成額の増加が見込まれるため、事業費については増加とした。
③ 私立幼稚園就園奨励費補助金	市内在住で私立幼稚園に在園する幼児の保護者(市町村民税所得割額に応じた額を幼稚園を通して補助)	市内在住で、私立幼稚園に在園する幼児の保護者の市町村民税課税額に応じた授業料軽減を行うことによって	授業料軽減を要する世帯に必要な補助を行い、私立幼稚園事業を助長促進する。	1007人に計126,806千円を補助						81,093	78,186	118,627	127,540	就園奨励費補助:126,806千円 交付額算定に必要な市町村民税課税額の電算(抽出)委託:734千円	A	国の制度に基づいた事業のため、現行どおり実施していく。事業費については、幼児数全体が増加していること、また、平成27年度国庫補助単価が引き上げられるため、保護者負担軽減をさらに充実していくこととし、増加とした。
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	83	事業の名称	放課後子ども教室事業			担当部署	部	課				
						福祉部	子育て支援課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(9)安心して子育てができる環境をつくる	施策の進め方	(3)児童健全育成事業の充実	フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	フラッグ項目	(31)放課後子ども教室の充実			
事業の概要	定員最大60人で給食開始日から3月末までの期間で、授業終了後から午後4時50分の間で開室。ただし、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始や学校の行事等の場合は休室。体験プログラムとして、ボランティアの講師を招いて、将棋体験、茶道体験、絵手紙体験、指導員による遊び体験などの事業を実施。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市…9小学校で実施 尾張旭市…実施なし 日進市…4小学校で実施 東郷町…5小学校で実施						
事業期間	事業開始年度	平成21年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	放課後子ども教室登録者					うち	一般財源	1,733	2,201	2,226	3,565	4,640
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	西及び南小学校児童の放課後の安全な居場所づくりを推進する。						国費・県費	3,440	2,983	4,717	2,859	4,378
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	56	70	64	84	80	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価							
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~														H26目標値	H27予算
① 放課後子ども教室	放課後子ども教室登録者					参加を希望する児童を全て受け入れ、児童の放課後の安全な居場所づくりを推進する。	入所児童数100人、待機9人	参加児童数/申込者数	%	待機児童ゼロが目標	85	92		5,229	5,254	7,007	6,508	指導員賃金5,845、消耗品費362	B	登録定員等の見直しにより、児童の放課後の安全な居場所づくりに努める。
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 放課後子ども教室	東小学校において、平成28年度に放課後子ども教室を開室するための準備を行う。	放課後子ども教室	東小学校において、平成28年度から放課後子ども教室を開室する。
			放課後子ども教室	平成27年3月に策定した、「長久手市 子ども・子育て支援事業計画」に基づき、放課後の子どもの居場所づくりに努める。
			放課後子ども教室	国によって示された「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体化に努める。

長久手市行政評価票

事業番号	84	事業の名称	子ども医療費事業		担当部署	部 福祉部	課 保険医療課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(9)安心して子育てができる環境をつくる	施策の進め方	(2)子育て支援の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	0歳から15歳の子どもにかかる医療費(保険診療の自己負担分)を助成する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県の補助金要綱に基づき補助金交付を受けている事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。 県内5市町村が小学校卒業まで、43市町村が中学校卒業まで、6市町が高校卒業までの入院・通院にかかる医療費自己負担分を助成している。						
事業期間	事業開始年度	昭和48年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票のある0歳から15歳年度末までの子どもを持つ保護者					うち	一般財源	286,920	253,205	284,290	259,690	281,906
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	子育て中の親の経済支援、子どもの受診機会を確保する						国費・県費	95,287	79,987	92,767	83,352	91,479
							地方債	0	0	0		
						その他	0	0	0			
						受益者負担額	0	0	0			

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明						
		4月~	7月~	10月~	1月~				H26実績	H26決算				事業規模 事業費					
①	子ども医療費支給事業 市内在住の 子どもの保 護者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	受診件数 170,556件	医療費助成金額 (一人当たり)	33,379	33,160	35,000	円	前年実績(平成25年 度)からの増加	H25予算 382,207	H25決算 333,192	H26予算 377,057	H26決算 343,042	扶助費 343,042千円	A	現行どおり実施していく。事業費は対象者の増加のため増加を見込む。
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	85	事業の名称	障害者医療費事業			担当部署	部 福祉部	課 保険医療課																
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(4)障害者が暮らしやすいまちをつくる	施策の進め方	(2)障害福祉サービスの充実	フラッグ	フラッグ項目																	
事業の概要	障害者(障害者手帳1～3級、療育手帳A、B所持者等)にかかる医療費を助成する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県の補助金要綱に基づく事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。																		
事業期間	事業開始年度	昭和48年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票がある障がい者				うち	一般財源	38,849	37,589	42,275	34,224	41,036													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	障害者の経済支援、受診機会の確保					国費・県費	38,848	27,470	36,823	29,923	41,035													
						地方債	0	0	0															
						その他	0	0	0															
						受益者負担額	0	0	0															

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明	
		4月～	7月～	10月～	1月～				H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算			H26決算の主な内訳 (単位:千円)
		H26目標値										H26予算	H26決算				
① 障害者医療費支給 事業	市内に住民 票がある障 がい者	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	
②																	
③																	
④																	

事務事業の改 善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	86	事業の名称	母子家庭等医療費事業			担当部署	部 福祉部	課 保険医療課				
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(5)ひとり親家庭の自立を支える	施策の進め方	(1)経済的自立の支援	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	母子・父子家庭等にかかる医療費を助成する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県の補助金要綱に基づく事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。						
事業期間	事業開始年度	昭和53年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票がある母子・父子家庭等の親と子ども					うち	一般財源	12,854	10,725	12,624	11,178	11,762
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	母子・父子家庭等の経済支援、受診機会の確保						国費・県費	12,852	10,631	12,033	10,505	11,761
							地方債	0	0	0		
					その他		0	0	0			
						受益者負担額	0	0	0			

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算			H26決算の主な内訳 (単位:千円)		
		H26目標値										H26予算	H26決算	H27予算					
①	母子・父子家庭医療 費支給事業	市内に住民 票がある母 子・父子家 庭等の親と 子ども	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	経済支援、受診機会 の確保をする。	受診件数 7,507件	医療費助成金額 (一人当たり)	36,568	35,604	円	前年実績(平成25年 度)からの増加	25,706	21,356	24,657	21,683	23,523	21,683千円	A	現行どおり実施していく。事業費は対象 者の増加のため増加を見込む。
②																			
③																			
④																			

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	87	事業の名称	後期高齢者福祉医療費事業		担当部署	部 福祉部	課 保険医療課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支援体制の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	後期高齢者医療加入者で福祉医療対象者にかかる医療費の助成				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県の補助金要綱に基づく事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。						
事業期間	事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算 65,984	H25決算 59,130	H26予算 66,112	H26決算 56,137	H27予算 68,360	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票がある後期高齢者医療加入者で福祉医療対象者					うち	一般財源	32,993	31,443	33,056	30,317	34,181
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	後期高齢者医療加入者で福祉医療対象者の経済支援、受診機会の確保						国費・県費	32,991	27,687	33,056	25,820	34,179
							地方債	0	0	0		
					その他		0	0	0			
						受益者負担額	0	0	0			

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明					
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績	H26実績	H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算			H25決算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)		
①	後期高齢者福祉医療費支給事業	市内に住民票がある後期高齢者医療加入者で福祉医療対象者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	経済支援、受診機会の確保をする。	受診件数 14,541件	医療費助成金額 (一人当たり)	129,105	123,107	134,000	円	前年実績(平成25年度)からの増加	65,984	59,130	66,112	56,137	68,360	扶助費56,137千円	A	現行どおり実施していく。事業費は対象者の増加のため増加を見込む。	
②																					
③																					
④																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	88	事業の名称	精神障害者医療費事業			担当部署	部 福祉部	課 保険医療課																
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(4)障害者が暮らしやすいまちをつくる	施策の進め方	(2)障害福祉サービスの充実	フラッグ	フラッグ項目																	
事業の概要	精神障害者(精神障害者保健福祉手帳1～2級、自立支援医療費受給者)にかかる医療費を助成する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県の補助金要綱に基づく事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。																		
事業期間	事業開始年度	平成16年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票がある精神障がい者				うち	一般財源	21,675	19,246	19,265	18,201	18,870													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	精神障がい者の経済支援、受診機会の確保					国費・県費	4,494	3,688	4,455	3,688	3,917													
						地方債	0	0	0															
						その他	0	0	0															
						受益者負担額	0	0	0															

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明	
		4月～	7月～	10月～	1月～				H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算			H26決算の主な内訳 (単位:千円)
		H26目標値										H26予算	H26決算	H27予算			
① 精神障害者医療費支給事業	市内に住民票がある精神障がい者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●		
②																	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	89	事業の名称	国民健康保険給付事業		担当部署	部	課					
						福祉部	保険医療課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(12)生活習慣病を予防する保健サービスを充実する	施策の進め方	(1)健診・保健指導の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	国民健康保険の被保険者が医療機関等において診療を受けたときに、7割、8割又は9割を負担する。療養費、高額療養費、出産一時金、葬祭費を審査し、支払を行う。また、医療費の適正化のため、医療費通知、ジェネリック薬品通知を送付し、特定健康診査を実施する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成26年度の保険給付費(予算ベース)の対前年度(予算ベース)伸び率 瀬戸市・・・2.2%増 尾張旭市・・・2.0%増 日進市・・・3.6%増 豊明市・・・0.01%増 長久手市・・・3.5%増						
事業期間	事業開始年度	昭和34年	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	国民健康保険被保険者					うち	一般財源	663,316	633,107	648,271	606,341	999,303
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	被保険者が安心して医療を受けられる。						国費・県費	567,094	541,268	590,981	552,756	660,358
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		1,317,381	1,257,385	1,400,528	1,309,942	1,056,098	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
① 被保険者給付事業	国民健康保険の被保険者	 (12回) 国保連合会からの請求書、被保険者からの請求を審査し支払をすることで	適正な給付を受けられるようにする	毎月給付を行った。	被保険者1人当たりの給付額	千円	H25年度の1人当たりの給付額に過去5年度の伸び率の平均値(3.433%)を乗じた値を上限とした。	2,518,986 2,607,827 2,680,047	2,404,778 2,438,631	2,047,690千円 その他給付 390,941千円	A 拡充 維持	現行どおり実施していく。 事業費は高齢化に伴い増加を見込む。	
② 医療費通知、ジェネリック差額通知事業(医療費適正化)	国民健康保険の被保険者	 奇数月に被保険者に対し、「医療費通知」を行い、7、11、3月にジェネリック薬品を使用した場合の差額通知を行うことで	医療費の抑制を行う。	医療費通知及びジェネリック差額通知を年6回通知した。	被保険者1人当たりの給付額	千円	H25年度の1人当たりの給付額に過去3年度の伸び率の平均値(3.433%)を乗じた値を上限とした。	735 729 735	674 675	医療費通知及びジェネリック差額通知の作成委託 672千円 その他委託 3千円	A 維持 維持	現行どおり実施していく。	
③ 特定健康診査事業(医療費適正化)	40~74歳の国民健康保険被保険者	 保健センター(集団)(6月から11月)と市内委託医療機関(個別)(5月から10月)にて、特定健康診査を実施することで	疾病の早期発見、早期治療、健康の維持を図り、医療費の抑制を行う。	集団は6月から11月、個別は5月から10月に実施した。	健診受診率	%	第2期長久手市特定健診等実施計画の平成26年度の目標値とした	49.0% 50.9%(暫定) 52.5%	28,070 31,224 34,977	26,309 29,733	特定健診委託料 29,733千円	A 拡充 維持	データヘルス計画を策定し、本市の状況を踏まえ、目標受診率達成に向けて事業を展開していく。
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	③ 特定健康診査事業(医療費適正化)	国民健康保険加入者の健診データや医療(レセプト)データを分析して、健康課題を明確化し、既存の保健事業を整理・評価して、健康増進と医療費の適正化に効果的な保健事業を選定・実施する。		







長久手市行政評価票

事業番号	92	事業の名称	健康診査事業		担当部署	部	課					
						福祉部	健康推進課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(12)生活習慣病を予防する保健サービスを充実する	施策の進め方	(1)健診・保健指導の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	健康診査を受診することにより疾病の早期発見・早期治療を図ることを目的とする。胸部、胃、大腸、前立腺がん、肝炎ウイルス、眼底、喀痰、歯周疾患、子宮、乳腺検診を行い受診率の向上により、疾病の早期発見・早期治療を図る。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町すべて、各種検診を実施。						
事業期間	事業開始年度	昭和41年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民					うち	一般財源	83,088	84,453	86,496	96,153	80,089
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	疾病の早期発見・早期治療につなげる。						国費・県費	6,135	4,770	3,371	5,762	5,770
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	8774	8936	9386	9036	8,110	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~												H26目標値	H26予算
① 健康診査事業	市民に	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	疾病の早期発見・早期治療を図り、医療費の増大を未然に防ぐとともに、健康の増進につなげていく。	各種検診(子宮、乳腺及び大腸検診)の実施	受診率(国が目標値を示している子宮・乳腺・大腸検診について評価)	子宮44.6 乳腺53.9 大腸62.9 子宮49.1 乳腺56.1 大腸66.3	%	国が示した受診率の目標値。	89,223	89,223	89,867	101,915	委託料101,915	A	一部検診では国の目標値に達しなかったものの、昨年度と比較して各検診の受診率が向上しているため、現状のとおり努めていく。
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	93	事業の名称	砂防公園管理事業		担当部署	部	課				
						建設部	土木課				
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(6)うるおいある水辺空間を整える	施策の進め方	(2)砂防施設整備の推進	フラッグ	フラッグ項目				
事業の概要	トイレ清掃、除草、樹木剪定を定期的実施し利用者が気持ちよく利用できる施設にする。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	砂防公園のある自治体では、実施されている。						
事業期間	事業開始年度	平成5年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	公園利用者			うち		一般財源	2,536	2,536	2,536	2,536	2,669
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	維持管理業務を定期的実施し利用者が気持ちよく利用できる施設にする。					国費・県費	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0
					その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① トイレ清掃	公園利用者	2週間~10月~1月~ 2週間に一回トイレ清掃を行うこと	気持ちよくトイレを利用してもらおう。	26回	苦情件数	0	件	2,536	2,536	※公益社団法人シルバー人材センターに一括発注のため事業ごとの仕分けができない。	A	維持 維持	現行どおり実施していく
② 除草	公園利用者	年2回除草を行うこと	気持ちよく公園を利用してもらおう。	2回	苦情件数	0	件	※①を含む	※①を含む	同上	A	維持 維持	現行どおり実施していく
③ 樹木剪定	公園利用者	年1回樹木剪定を行うこと	樹木の適正な管理を行い、気持ちよく公園を利用してもらおう。	1回	苦情件数	0	件	※①を含む	※①を含む	同上	A	維持 維持	現行どおり実施していく
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	94	事業の名称	道路維持管理事業		担当部署	部	課					
						建設部	土木課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(3)安全で快適な道路を整える	施策の進め方	(2)市道の整備・維持管理	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	市道のパトロール、穴埋めをおこなうことで、道路の損傷を早期に処置するとともに、路面清掃・街路樹管理等を行い、快適な通行を確保し、また、大規模に修繕が必要な舗装修繕、側溝修繕を計画的に行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村のほとんどが実施している。						
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市の管理する道路					うち	一般財源	165,940	134,255	263,144	200,698	214,953
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	道路利用者の安全で快適な通行を確保する。						国費・県費	2,892	3,032	60,879	28,996	28,691
							地方債	0	0	0	0	0
							その他	0	0	0	0	0
					受益者負担額		0	0	0	0	0	
										<b>評価の見方</b> <b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~							H26目標値	H26予算				H26決算	
① 道路維持管理業務	市の管理する道路	→				穴埋め、路面清掃、街路樹管理、大規模に修繕が必要な舗装修繕、側溝敷設を計画的に行った。	苦情件数	45		件	道路利用者が安全で快適な通行を確保できるよう苦情件数を指標とする。	165,940	134,255	263,144	200,698	214,953	A	現行どおり実施していく。
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

事業番号	95	事業の名称	交通安全施設設置事業			担当部署	部	課				
						建設部	土木課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(3)安全で快適な道路を整える	施策の進め方	(3)道路交通の安全確保・円滑化	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	市の管理する道路を、道路利用者が安全に通行できるよう、道路パトロール・地元要望に基づき、ガードレール、カーブミラー、街路灯、カラー舗装等を設置する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村のほとんどが実施している。						
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市の管理する道路					うち	一般財源	33,700	32,330	15,000	21,273	20,000
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
							その他	0	0	0	0	0
					受益者負担額		0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~													
① ガードパイプ設置	市の管理する道路	→				-	-	-	%	要望に対する実施率(長久手市交通安全施設設置基準等に適合するものに限る)	20,000	18,631	20,000	15,000	21,273	※同一工事で発注しているため事業ごとの仕分けができない。	A	現行どおり実施していく
		ガードパイプを設置することで					100	20,000										
② カーブミラー設置	市の管理する道路	→				29基	79	100	%	要望に対する実施率(長久手市交通安全施設設置基準等に適合するものに限る)	※①に含む	※①に含む	※①に含む	※①に含む	※①に含む	同上	A	現行どおり実施していく
		カーブミラーを設置することで					100	※①に含む										
③ 照明灯設置	市の管理する道路	→				1基	-	-	%	要望に対する実施率(長久手市交通安全施設設置基準等に適合するものに限る)	※①に含む	※①に含む	※①に含む	※①に含む	※①に含む	同上	A	現行どおり実施していく
		道路照明灯を設置することで					100	※①に含む										
④ 区画線設置	市の管理する道路	→				2,538m	72	100	%	要望に対する実施率(長久手市交通安全施設設置基準等に適合するものに限る)	※①に含む	※①に含む	※①に含む	※①に含む	※①に含む	同上	A	現行どおり実施していく
		区画線を設置することで					100	※①に含む										

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

事業番号	95	事業の名称	交通安全施設設置事業			担当部署	部	課				
						建設部	土木課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(3)安全で快適な道路を整える	施策の進め方	(3)道路交通の安全確保・円滑化	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	市の管理する道路を、道路利用者が安全に通行できるよう、道路パトロール・地元要望に基づき、ガードレール、カーブミラー、街路灯、カラー舗装等を設置する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村のほとんどが実施している。						
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市の管理する道路					うち	一般財源	33,700	32,330	15,000	21,273	20,000
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
					受益者負担額	0	0	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
										H26予算	H26決算			
⑤	カラー舗装設置 市の管理する道路	4月~   7月~   10月~   1月~	道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。	1,012㎡	要望に対する実施率(長久手市交通安全施設設置基準等に適合するものに限る)	100 100 100	%	要望に対して実施率を指標とすることで要望対応度合いが把握できるため。	※①に含む ※①に含む ※①に含む	※①に含む ※①に含む	※同一工事で発注しているため事業ごとの仕分けができない。	A 維持 維持	現行どおり実施していく	
⑥														
⑦														
⑧														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	96	事業の名称	河川維持修繕事業			担当部署	部 建設部	課 土木課				
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(6)うるおいある水辺空間を整える	施策の進め方	(3)適正な維持管理の強化	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	河川の機能を維持するため、通水断面に堆積した土砂を取り除き流下能力を保ち、適正な管理に努める。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村のほとんどが実施している。						
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	河川					うち	一般財源	2,770	2,499	2,948	2,052	8,000
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	流下能力を保ち、河川災害を防止する。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~			H26実績			H26予算	H26決算				
① 河川浚渫事業	河川	→				神明川 0.11km	20	%	要望に対して実施率 を指標とすることで要 望対応度合いが把握 できるため。	2,770	2,499	2,948	2,052	神明川2,052	A	現行どおり実施していく。 河川修繕を含めた予算であり、要望に 対して予算的に出来る範囲が限られて いる。
②																
③																
④																

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要



長久手市行政評価票

事業番号	97	事業の名称	都市計画街路新設改良事業			担当部署	部 建設部	課 都市計画課																
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(3)安全で快適な道路を整える	施策の進め方	(1) 幹線道路の整備	フラッグ	フラッグ項目																	
事業の概要	交通集中による慢性的な渋滞を緩和させ、安全で快適な都市計画街路を整備するため、用地の確保、街路の新設改良を進める。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村においても、都市計画法及び道路法に基づき、同様に都市計画街路の整備を進めている。																		
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	都市計画街路				うち	一般財源	0	0	2,298	12,060	49,661													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	早期に道路整備率100%を達成させる。				国費・県費	0	0	10,865	3,000	8,200														
					地方債	0	0	14,000	14,000	0														
					その他	0	0	0	0	0														
					受益者負担額	0	0	0	0	0														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~							H26目標値	H26予算			
①	長久手古戦場駅前 通り線街路新設工事 (区画整理 区域外)					工事施工実施	都市計画街路長 久手古戦場駅前 通り線の道路整 備率	— 100 100	%	計画延長に対して道 路整備延長の割合を 算出することにより、 進捗状況を把握する ことができる。	— 27,163 57,861	— 29,060	道路土工一式、道路 施設工一式、道路舗 装工一式、区画線工 一式、撤去工一式 29,060千円	A 維持 維持	計画どおり実施できた。	
②																
③																
④																

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	98	事業の名称	都市計画公園等新設事業			担当部署	部 建設部	課 都市計画課				
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(4)だれもが憩い親しむ公園緑地を整える	施策の進め方	(1) 公園緑地の整備	フラッグ	F3「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	フラッグ項目	(59)公園の整備			
事業の概要	市民の憩いの場となる都市計画公園等を整備するため、設計・施工を進める。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村においても、都市計画法及び都市公園法に基づき、同様に都市計画公園等の整備を進めている。						
事業期間	事業開始年度	-		終了(予定)年度	-		総事業費 (単位:千円)					
事業の対象 (だれ、何に対して)	都市計画公園等				総事業費	うち	一般財源	0	0	137,059	104,241	75,741
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	早期に都市計画公園等整備率100%を達成させる。					国費・県費	0	0	54,823	39,916	24,333	
						地方債	0	0	0	0	0	
						その他	0	0	82,236	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① 中央地区1号公園整備工事	都市計画公園長久手中央1号公園	都市計画公園を整備することで	早期に都市計画公園整備率100%を達成させる。	工事施工実施	都市計画公園整備率	100	%	計画面積に対して公園整備面積の割合を算出することにより、進捗状況を把握することができる。	53,303	57,641	公園築造工事一式、トイレ建築工事一式	A	計画どおり実施できた。
② 中央地区2号公園整備工事	都市計画公園長久手中央2号公園	都市計画公園を整備することで	早期に都市計画公園整備率100%を達成させる。	工事施工実施継続	都市計画公園整備率	100	%	計画面積に対して公園整備面積の割合を算出することにより、進捗状況を把握することができる。	83,756	46,600	前払い金	A	公園に隣接する商業施設建築工事及び組合施工の駅前広場整備工事との日程調整により、平成27年度に繰り越す。
③													
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	99	事業の名称	屋外広告物に関する事業		担当部署	部 建設部	課 都市計画課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(8)魅力ある長久手らしい景観を創り出す	施策の進め方	(3)屋外広告物の適正化	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件に対して、規制に適合しない広告物を排除し、良好な街並み景観を維持する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	県内の市町村で実施されている。						
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	規制に適合しない屋外広告物					うち	一般財源	0	0	0	0	0
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	良好な街並み景観を維持する						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の説明				
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算			H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	
									H27予算	H27決算			H27予算	H27決算		
①	屋外広告物の簡易除去作業	規制に適合しない屋外広告物	簡易除去を実施することで	良好な街並み景観を維持する。	簡易除去の実施(9月)	簡易除去件数	48 55 48	件	除去作業に充てられる限度として設定 2人×12月(2時間/月)×2件(除去1件につき1時間想定)	—	—	—	—	—	A 維持 維持	計画どおり実施していく。
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	100	事業の名称	木造住宅耐震事業		担当部署	部 建設部	課 都市計画課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(2)地区の特性に合った住まいを誘導する	施策の進め方	(2) 人にやさしく安心・安全な住宅の誘導	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	長久手市耐震改修促進計画に基づき、木造住宅の耐震改修を促進することで市内の地震による被害(死者数や経済被害額)を軽減させる。地震発生時における木造住宅(在来軸組構法)の倒壊等による災害を誘発する建築物に対し、補助制度を活用し改修工事を促進させることにより減少させる。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣のほとんどの市町村で実施されている。						
事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度	平成32年度	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	市内木造住宅所有者					うち	一般財源	2,700	785	4,200	1,608	3,148
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅については耐震診断を受診していただき、結果が「耐震性なし」となった場合は建替えや耐震改修を行っていただくことで、市全体の木造住宅の耐震化率を平成32年度までに95%にする。					国費・県費	8,100	2,347	8,100	4,764	9,279	
						地方債	0	0	0	0	0	
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	評価の説明		
		手段(いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	H25予算	H25決算			H26予算	H26決算
		4月~	7月~	10月~	1月~				H26実績	単位		H26目標値	H26予算				
① 木造住宅耐震診断事業	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅(在来軸組構法)の所有者に	市が費用負担する無料耐震診断の周知啓発を行うことで	耐震診断を受診していただき、安全性確認・耐震改修・建替えの促進を図る。	耐震診断21件	耐震診断実施件数	10 21 40	件	過去の実績から推移した数値	1,800 1,800 1,872	450 972	耐震診断委託21棟×46.3千円=972千円	B 維持 維持	周知啓発活動として広報誌・市ホームページへの掲載、木造住宅所有者へのダイレクトメール送付に加え、作田一丁目・二丁目にて75戸の戸別訪問による周知啓発活動、申込み方法の簡便化を実施したところ、受診件数は前年度10件から21件へと増加した。				
② 木造住宅耐震改修費補助事業	木造住宅(在来軸組構法)で耐震診断結果が「耐震性なし」の建築物の所有者に	周知啓発及び改修費補助を行うことで	改修工事を実施していただき、「耐震性あり」の状態に改善する。	耐震改修6件	耐震改修件数	3 6 10	件	過去の実績から推移した数値	9,000 9,000 9,000	2,682 5,400	耐震改修費補助6棟×900千円=5,400千円	B 維持 維持	補助内容の変更等はないが、改修件数は昨年度3件から6件と増加した。昨年度は建設業の件数・材料費の高騰があり、木造住宅の耐震改修費用の負担が大きくなっていたが、建設業需要もある程度落ち着き、景気が上向していることが要因と考えられる。				
③ 木造住宅耐震シェルター整備費補助事業	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅(在来軸組構法)かつ、高齢者又は障害者世帯が居住するもの	シェルター整備工事を補助することで	災害時の避難弱者である高齢者及び障害者への耐震性の高いスペースを確保する。	耐震シェルター0件	シェルター整備件数	— 0 5	件	近隣市町村の目標値と同等とした。	— 1,500 1,555	— 0		B 維持 維持	平成26年度から新規事業として開始したが、申込みはなかった。				
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 木造住宅耐震診断事業	平成26年度に行った耐震改修促進計画の改定を踏まえ、広報啓発活動を検討・実施する。		
② 木造住宅耐震改修費補助事業	平成26年度に行った耐震改修促進計画の改定を踏まえ、広報啓発活動を検討・実施する。			
③ 木造住宅耐震シェルター整備費補助事業	耐震診断員を通じて事業PRを行うなど、広報啓発活動を検討・実施する。			

長久手市行政評価票

事業番号	101	事業の名称	非木造共同住宅耐震事業		担当部署	部 建設部	課 都市計画課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(2)地区の特性に合った住まいを誘導する	施策の進め方	(2) 人にやさしく安心・安全な住宅の誘導	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	長久手市耐震改修促進計画により、市内の地震による被害(死者数や経済被害額)を軽減させるために、非木造共同住宅の耐震化率の向上を目的とする。地震発生時における非木造共同住宅の倒壊等による災害を誘発する建築物を補助制度を活用し、改修工事をさせることにより減少させる。なお、促進計画上の目標である95%以上の耐震化率は、確保されている。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	県内の25市町村が補助制度策定						
事業期間	事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度	平成32年度	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	昭和56年5月31日以前に着工された非木造共同住宅					うち	一般財源	2,924	0	3,345	0	3,411
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	建築物を「耐震性あり」の状態まで耐震補強をしてもらう。					うち	国費・県費	8,772	0	9,534	0	9,894
						うち	地方債	0	0	0	0	0
						うち	その他	0	0	0	0	0
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段(いつ、どのような手段を使って)						H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~												H26目標値	H26予算
① 非木造共同住宅耐震診断費補助事業	昭和56年5月31日以前に着工された非木造共同住宅	耐震診断することで				耐震診断0件	耐震診断実施件数	0	0	件	過去の実績から推移した数値	1,500	0	1,500	0	1,500	A	現行どおり実施していく。耐震化率については、平成26年度に耐震改修促進計画を改定する際に再度精査し95%を達成していることを確認したため、現状維持とした。
② 非木造共同住宅耐震改修設計費補助事業	非木造共同住宅で耐震診断結果が「耐震性なし」の建築物	耐震改修設計の補助をすることで				改修設計0件	建築物の耐震化率を平成27年度までに更に高める	0	0	件	過去の実績から推移した数値	500	0	500	0	500	A	現行どおり実施していく。耐震化率については、平成26年度に耐震改修促進計画を改定する際に再度精査し95%を達成していることを確認したため、現状維持とした。
③ 非木造共同住宅耐震改修費補助事業	非木造共同住宅で耐震診断結果が「耐震性なし」の建築物	耐震改修工事の補助をすることで				耐震改修0件	建築物の耐震化率を平成27年度までに更に高める	0	0	件	過去の実績から推移した数値	9,696	0	10,879	0	11,305	A	現行どおり実施していく。耐震化率については、平成26年度に耐震改修促進計画を改定する際に再度精査し95%を達成していることを確認したため、現状維持とした。
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	102	事業の名称	公園西駅周辺土地区画整理事業			担当部署	部	課				
						建設部	区画整理課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(1)環境にやさしいまちをつくる	施策の進め方	(1)魅力ある新たな市街地の整備	フラッグ	F1「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	フラッグ項目	(14)リニモの集客カアップ(公園西駅周辺の市街化整備)			
事業の概要	地域住民の利便性の向上のため、駅への交通結節機能の強化や公共交通の利便性を活かし、民間活力を活用した商業施設を誘致し、周辺レクリエーション施設と連携したにぎわい機能の導入を図るため、環境に配慮した土地区画整理事業による基盤整備を行い、市東部地域の活性化とリニモ利用促進を図る。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	土地区画整理事業は近隣市町でも同様な事業を多く実施しているが、市施行による事業実施は例が少ない。県内でも減価地区での行政施行の例は多くあるが、保留地が取れる地区での施行は、本地区のように市の施策のために行われている。						
事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度	平成35年度	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	公園西駅周辺土地区画整理事業区域内における地権者。					うち	一般財源	-	-	1,149,705	506,625	475,166
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	地権者の合意形成を図り、環境に配慮した優良なまちをつくる。					国費・県費	-	-	0	0	0	
						地方債	-	-	0	0	0	
						その他	-	-	0	0	0	
					受益者負担額	-	-	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的		事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明			
															4月～	7月～	10月～
① 建物移転補償業務	事業区域内の建物所有者に	[手段] [意図]		建物9件について移転補償契約を締結した。	建物移転件数	-	-	9	件	土地区画整理事業地内の移転を必要とする建物件数とした。	-	-	505,443	270,779	建物移転補償金(※H26年度に支払うべき前払金等の合計)270,229千円	A	当初は移転必要建物を12件と想定したが、H26年度に移転が必要となった建物は10件であり、このうち9件の移転が完了。残り1件はH27.4に契約締結予定である。なお、残り2件についてはH28末に契約締結見込みである。(※評価は「A」だが、事業完了によりH27は実施しない。)
② 工作物等移転補償業務	事業区域内の物件所有者に	[手段] [意図]		工作物等37件について移転補償契約を締結した。	工作物等の件数	-	-	1	件	土地区画整理事業地内の移転を必要とする工作物等の件数とした。	-	-	25,460	25,223	工作物等移転補償金25,223千円	A	当初は移転必要工作物等を51件と想定したが、実際に移転が必要となった工作物等は38件であり、このうち37件の移転が完了し、支障となる工作物のほぼ全ての移転が完了した。なお、残り1件については交渉中であり、H26繰越予算により対応予定である。(※評価は「A」だが、事業完了によりH27は実施しない。)
③ 使用収益停止補償業務	事業区域内の土地所有者に	[手段] [意図]		48件の使用収益停止期間における適切な補償をする。	土地の権利数	-	-	48	件	土地区画整理事業地内の収益権の停止を必要とする権利数とした。	-	-	8,755	5,867	使用収益停止補償金5,867千円	A	契約締結が可能である権利者との使用収益停止報償契約は締結完了した。今後、各権利者の仮換地の使用収益を開始するまで、補償金の支払いを継続していく。
④ 街区整備事業	事業区域内の土地所有者に	[手段] [意図]		基盤整備を進めたが使用収益開始には至らなかった。	使用収益開始面積割合	-	-	0	%	地区内宅地面積に対し使用収益を開始する街区面積割合とした。	-	-	610,047	204,756	街区造成工事等204,756千円	A	H26末の商業街区使用収益開始を目標としたが、商業事業者との協議によりコスト削減が図れることから、使用収益開始を遅らせることになったものの、可能な範囲で順調に造成工事が進んだ。なお、一部の工事はH26繰越予算により継続実施する。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	103	事業の名称	組合施行区画整理事業		担当部署	部	課					
						建設部	区画整理課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(1)魅力ある市街地を創り出す	施策の進め方	(1)魅力ある新たな市街地の整備	フラッグ	F1「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	フラッグ項目	(13)リニモの集客カアップ(長久手古戦場駅周辺の市街化整備)			
事業の概要	市内では組合による土地区画整理事業を4か所で施行していることから、それぞれの地区特性を生かした魅力あるまちづくりを行うことができるよう、土地区画整理組合への指導・助言及び国庫補助金の確保、市助成金の交付を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	土地区画整理組合への補助金交付は近隣市町でも多く実施している。						
事業期間	事業開始年度	昭和56年度	終了(予定)年度	平成31年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	土地区画整理組合					うち	一般財源	783,500	743,500	541,675	334,150	686,787
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	土地区画整理事業による面的整備により、良好な宅地整備が行えるようにする。					国費・県費	139,500	139,500	126,325	43,400	140,663	
						地方債	0	0	0	0	0	
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月～	7月～	10月～	1月～			H26実績			H26予算	H26決算				事業規模 事業費
①	長久手市内の組合による土地区画整理事業(長湫中部、長湫南部、長久手中央、下山)	土地区画整理組合(長湫中部、長湫南部、長久手中央、下山)に	市による指導・助言及び補助金を交付することによって				公共施設整備が進んだ。	宅地全体に対する公共施設整備度	91 93 95	%	宅地供給の前提となる区画整理事業の公共施設整備(道路・水路・公園)の進捗割合	923,000 668,000 827,450	883,000 377,550	国庫負担金56,000千円(中央)(国5.5/10、県2.25/10、市2.25/10)、市助成金256,000千円(中央)、65,550千円(下山)	A 拡充 増加	区画整理事業の公共施設整備を推進することにより、宅地供給の促進が図られ、まちづくり、税収等に寄与する。事業費は、区画整理の進捗に伴い増加する。なお、H26実績が目標値を下回った理由は、関連他事業の遅れなどにより、繰越となった事業があるためである。
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

事業番号	104	事業の名称	長久手浄化センター・中継ポンプ場・マンホールポンプ維持管理事業		担当部署	部	課				
						建設部	下水道課				
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(5)下水道を整え、清潔・快適・安全なまちをつくる	施策の進め方	(2)管渠整備	フラッグ	フラッグ項目				
事業の概要	市街地の水質保全と生活環境の改善のため、下水処理地区から排出され、一部中継ポンプ場・マンホールポンプを経由して浄化センターへ集められた汚水を、水処理して香流川へ放流し、発生した汚泥は濃縮、脱水して搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行うことができるよう管理する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 2処理場(基本計画)処理人口122,500人 処理能力61,000m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口59,726人 尾張旭市 2処理場 (基本計画)処理人口88,000人 処理能力35,900m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口47,320人 日進市 2処理場(基本計画)処理人口98,600人 処理能力44,100m <sup>3</sup> /日(H24現況)水洗化人口45,991人 長久手市 2処理場 (基本計画)処理人口56,500人 処理能力27,300m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口38,764人					
事業期間	事業開始年度	平成8年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民					うち	一般財源	0	0	0	0
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。						国費・県費	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0
						使用料	135,647	127,620	149,098	135,016	150,353
						受益者負担額	0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
										H26予算	H26決算					
① 維持管理事業	長久手浄化センター・長久手中継ポンプ場・マンホールポンプ	4月~7月~10月~1月~	適切に維持管理し、重大な事故等が起こらないようにする。	作業:日祝日年末年始を除く毎日(保守点検・運転操作監視・脱水機運転・水質検査)	基準に適合しない排水流出などの事故の回数	0	0	回	法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	60,412	56,635	58,254	58,253	維持管理業務委託 58,253千円	A	計画どおり実施できた。
② 脱水ケーキ処分事業	長久手浄化センターにて排水処理に伴い発生した汚泥	4月~7月~10月~1月~	適切・安全に運搬・処理し、肥料化する。	汚泥の搬出:日祝日年末年始を除く毎日	悪臭等の苦情件数	0	0	件	適切に処理し、周辺住民等から苦情のないようにする。	53,770	50,166	67,657	56,982	脱水ケーキ処分委託 56,982千円	A	計画どおり実施できた。
③ 重金属・悪臭・除害施設水質分析事業	長久手浄化センターからの放流水等	4月~7月~10月~1月~	環境保全の基準に沿った排水、河川の水質等を維持するよう管理する。	採取・分析・報告:(重金属等)分析項目により月2回~年1回(悪臭)年1回(除害施設)年1回	基準に適合しない水質の排水放流回数	0	0	回	法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	1,960	1,884	2,316	2,085	重金属・悪臭・除害施設水質分析委託 2,085千円	A	計画どおり実施できた。
④ 計装機器・自家発電設備保守点検事業	長久手浄化センター・中継ポンプ場の主要な計装機器である計装機器及び自家発電設備	4月~7月~10月~1月~	正常に稼働させる。	保守点検1回	事故、故障の回数	0	0	回	必要な保守点検を行い汚水処理に必要な機器、処理データを正常に計測・監視できるようにする。	13,440	13,650	14,655	11,880	計装機器・自家発電設備保守点検委託 11,880千円	A	計画どおり実施できた。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	



事業番号	104	事業の名称	長久手浄化センター・中継ポンプ場・マンホールポンプ維持管理事業		担当部署	部 建設部	課 下水道課				
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(5)下水道を整え、清潔・快適・安全なまちをつくる	施策の進め方	(2)管渠整備	フラッグ	フラッグ項目				
事業の概要	市街地の水質保全と生活環境の改善のため、下水処理地区から排出され、一部中継ポンプ場・マンホールポンプを経由して浄化センターへ集められた汚水を、水処理して香流川へ放流し、発生した汚泥は濃縮、脱水して搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行うことができるよう管理する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 2処理場(基本計画)処理人口122,500人 処理能力61,000m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口59,726人 尾張旭市 2処理場 (基本計画)処理人口88,000人 処理能力35,900m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口47,320人 日進市 2処理場(基本計画)処理人口98,600人 処理能力44,100m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口45,991人 長久手市 2処理場 (基本計画)処理人口56,500人 処理能力27,300m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口38,764人					
事業期間	事業開始年度	平成8年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算 135,647	H25決算 127,620	H26予算 149,098	H26決算 135,016	H27予算 150,353
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民					うち	一般財源	0	0	0	0
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。						国費・県費	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0
						使用料	135,647	127,620	149,098	135,016	150,353
						受益者負担額	0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
										H26予算	H26決算				
⑤ 廃棄物処理事業	長久手浄化センターにて排水処理に伴い発生した流入異物等	4月~   7月~   10月~   1月~	適切・安全に運搬・処理する。	運搬10回	悪臭等の苦情件数	0	0	件	適切に処理し、周辺住民等から苦情のないようにする。	1,072	1,117	1,105	1,207	A	計画どおり実施できた。
⑥ 中継ポンプ場維持管理事業	長久手中継ポンプ場	4月~   7月~   10月~   1月~	適切に維持管理する。	警備委託 消防用設備 保守点検 電気保安業務委託	維持管理の不足による不具合の発生回数	0	0	回	適切に維持管理し、施設運営に支障のないようにする。	386	381	393	393	A	計画どおり実施できた。
⑦ 長久手浄化センター施設維持管理事業	長久手浄化センター・マンホールポンプ	4月~   7月~   10月~   1月~	適切に維持管理する。	警備委託 電気保安業務委託 他	維持管理の不足による不具合の発生回数	0	0	回	適切に維持管理し、施設運営に支障のないようにする。	4,607	3,787	4,718	4,216	A	計画どおり実施できた。
⑧		4月~   7月~   10月~   1月~													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

事業番号	105	事業の名称	長久手南部浄化センター・マンホールポンプ維持管理事業		担当部署	部	課				
						建設部	下水道課				
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(5)下水道を整え、清潔・快適・安全なまちをつくる	施策の進め方	(2)管渠整備	フラッグ	フラッグ項目				
事業の概要	市街地の水質保全と生活環境の改善のため、下水処理地区から排出され、一部マンホールポンプを経由して長久手南部浄化センターへ集められた汚水を、水処理して植田川へ放流し、発生した汚泥は濃縮、脱水して搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行うことができるよう管理する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 2処理場(基本計画)処理人口122,500人 処理能力61,000m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口59,726人 尾張旭市 2処理場 (基本計画)処理人口88,000人 処理能力35,900m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口47,320人 日進市 2処理場(基本計画)処理人口98,600人 処理能力44,100m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口45,991人 長久手市 2処理場 (基本計画)処理人口56,500人 処理能力27,300m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口38,764人					
事業期間	事業開始年度	平成8年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民					うち	一般財源	0	0	0	0
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。						国費・県費	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0
						使用料	40,074	29,338	35,970	40,815	38,739
						受益者負担額	0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	H25実績	H26実績			単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
										H26予算	H26決算				事業規模 事業費
① 維持管理事業	長久手南部浄化センター・マンホールポンプ	4月~7月~10月~1月~	適切に維持管理し、重大な事故等が起こらないようにする。	0	0	回	基準に適合しない排水流出などの事故の回数	13,482	12,847	維持管理業務委託 13,214千円	A	計画どおり実施できた。			
② 脱水ケーキ処分事業	長久手南部浄化センターにて排水処理に伴い発生した汚泥	4月~7月~10月~1月~	適切・安全に運搬・処理し、肥料化する。	0	0	件	悪臭等の苦情件数	18,957	9,443	脱水ケーキ処分委託 10,166千円	A	計画どおり実施できた。			
③ 重金属・悪臭・除害施設水質分析事業	長久手南部浄化センターからの放流水等	4月~7月~10月~1月~	環境保全の基準に沿った排水、河川の水質等を維持するよう管理する。	0	0	回	基準に適合しない水質の排水放流回数	1,749	1,652	重金属・悪臭・除害施設水質分析委託 1,426千円	A	計画どおり実施できた。			
④ 廃棄物処理事業	長久手南部浄化センターにて排水処理に伴い発生した流入異物等	4月~7月~10月~1月~	適切・安全に運搬・処理する。	0	0	件	悪臭等の苦情件数	731	98	廃棄物処理委託 165千円	A	計画どおり実施できた。			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

事業番号	105	事業の名称	長久手南部浄化センター・マンホールポンプ維持管理事業		担当部署	部 建設部	課 下水道課				
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(5)下水道を整え、清潔・快適・安全なまちをつくる	施策の進め方	(2)管渠整備	フラッグ	フラッグ項目				
事業の概要	市街地の水質保全と生活環境の改善のため、下水処理地区から排出されマンホールポンプを経由して長久手南部浄化センターへ集められた汚水を、水処理して植田川へ放流し、発生した汚泥は濃縮、脱水して搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行うことができるよう管理する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 2処理場(基本計画)処理人口122,500人 処理能力61,000m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口59,726人 尾張旭市 2処理場 (基本計画)処理人口88,000人 処理能力35,900m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口47,320人 日進市 2処理場(基本計画)処理人口98,600人 処理能力44,100m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口45,991人 長久手市 2処理場 (基本計画)処理人口56,500人 処理能力27,300m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口38,764人					
事業期間	事業開始年度	平成8年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算 40,074	H25決算 29,338	H26予算 35,970	H26決算 40,815	H27予算 38,739
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民					うち	一般財源	0	0	0	0
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。					国費・県費	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0
					使用料	40,074	29,338	35,970	40,815	38,739	
					受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
								H27目標値			H27予算							
⑤	計装機器・自家発電 設備保守点検事業	長久手南部 浄化センター の主要な計測 機器である計 装機器及び 自家発電設 備	必要技術を持つ専門業者に 委託し、定期的に保守点検す ることで	正常に稼働させる。	保守点検1 回	事故、故障の回 数	0	0	回	必要な保守点検を行 い汚水処理に必要な 機器、処理データを 正常に計測・監視で きるようにする。	0	0	5,249	4,644	5,249	計装機器・自家発電 設備保守点検委託 4,644千円	A	計画どおり実施できた。
⑥	長久手南部浄化セン ター施設維持管理事 業	長久手南部 浄化セン ター・マン ホールポン プ	施設管理に必要な各業務を業 者に委託し、その業務を監督 することで	適切に維持管理す る。	警備委託電 気保安業務 委託 他	維持管理の不足 による不具合の 発生回数	0	0	回	適切に維持管理し、 施設運営に支障のな いようにする。	5,155	5,298	5,372	5,200	7,310	植栽管理委託3,786 千円 電気保安業務委託 358千円 警備委託518千円他	A	計画どおり実施できた。
⑦																		
⑧																		

事務事業の改 善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	106	事業の名称	管渠整備事業(公共下水道事業)		担当部署	部 建設部	課 下水道課						
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(5)下水道を整え、清潔・快適・安全なまちをつくる	施策の進め方	(2)管渠整備	フラッグ	フラッグ項目						
事業の概要	公共下水道整備に伴う事業計画、実施計画及び工事の施工を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 下水道普及率 53.2%、行政人口 132,100人、処理人口 70,200人 春日井市 下水道普及率 66.2%、行政人口 309,100人、処理人口 204,700人 尾張旭市 下水道普及率 63.7%、行政人口 81,800人、処理人口 52,100人 日進市 下水道普及率 65.4%、行政人口 85,400人、処理人口 55,800人 長久手市 下水道普及率 87.6%、行政人口 51,800人、処理人口 45,400人 (平成24年度末状況)							
事業期間	事業開始年度	平成3年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算 296,355	H25決算 235,559	H26予算 260,793	H26決算 252,512	H27予算 372,952	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	公共下水道計画区域(市街化区域及び周辺市街化調整区域)の市民					うち	一般財源	1	37,471	310	0		14,602
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	下水道を整え、清潔・快適・安全なまちをつくる						国費・県費	47,030	34,600	93,713	82,440		85,722
							地方債	42,000	0	13,000	13,000		61,900
						その他	207,324	163,488	153,770	157,072	210,728		
						受益者負担額	4,981	3,460	20,400	25,876	8,572		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の説明	
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算			H26決算の主な内訳 (単位:千円)
		4月~	7月~	10月~	1月~											
① 公共下水道事業	公共下水道 計画区域の 市民	必要技術を持つ業者等で 公共下水道事業を実施すること で	公共下水道に接続で きる環境を整える。	17.64haの 面整備と 2,032 mの 管渠整備を 行った。	下水道普及率	89	%	行政人口中の公共下 水道を使用できる人 口の割合	296,355	235,559	公共下水道築造工 事127,702千円 取付管設置工事 31,149千円 他	A	計画どおり実施できた。			
②																
③																
④																

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	107	事業の名称	熊張苑・マンホールポンプ維持管理事業		担当部署	部	課					
						建設部	下水道課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(5)下水道を整え、清潔・快適・安全なまちをつくる	施策の進め方	(2)管渠整備	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	農業用排水の水質保全及び生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全のため、排水処理地区から排出され、一部マンホールポンプを経由して熊張苑へ集められた汚水を、水処理して香流川へ放流し、発生した汚泥は前熊苑へ圧送して処理・搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行えるよう管理する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	豊川市 5農業集落排水施設 整備対象人口2,767人 (H24現況)水洗化人口2,929人 豊明市 1農業集落排水施設 整備対象人口4,929人 (H24現況)水洗化人口4,479人 日進市 1農業集落排水施設 整備対象人口190人 (H24現況)水洗化人口 226人 みよし市 7農業集落排水施設 整備対象人口10,017人 (H24現況)水洗化人口9,299人 長久手市 2農業集落排水施設 整備対象人口2,690人 (H24現況)水洗化人口2,821人						
事業期間	事業開始年度	昭和56年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民					うち	一般財源	2,220	1,695	1,831	1,755	1,786
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。					地方債	0	0	0	0	0	0
						使用料	1,307	998	1,079	1,031	1,153	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明																				
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H27目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)																						
									H26予算	H26決算																							
① 熊張苑維持管理事業	熊張苑・マンホールポンプ	<table border="1"> <tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td></tr> <tr><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	適切に維持管理し、重大な事故等が起こらないようにする。	作業:巡回管理週2回以上(保守点検・運転操作監視・水質検査)	基準に適合しない排水流出などの事故の回数	0	回	法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	2,670	1,977	熊張苑維持管理業務委託 2,033千円	A	計画どおり実施できた。
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月																								
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								
② 悪臭・除害施設水質分析事業	熊張苑の悪臭、除害施設の水質	<table border="1"> <tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td></tr> <tr><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	環境保全の基準に沿った悪臭、河川の水質等を維持するよう管理する。	採取・分析・報告:(悪臭)年1回(除害施設)年1回	基準に適合しない水質の排水放流回数	0	回	法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	226	170	悪臭・除害施設水質分析委託 219千円	A	計画どおり実施できた。
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月																								
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								
③ 汚泥処分事業	熊張苑にて排水処理に伴い発生した沈砂等	<table border="1"> <tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td></tr> <tr><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	適切・安全に運搬・処理する。	運搬1回	悪臭等の苦情件数	0	件	適切に処理し、周辺住民等から苦情のないようにする。	250	219	汚泥処分委託 201千円	A	計画どおり実施できた。
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月																								
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								
④ 熊張苑施設維持管理事業	熊張苑	<table border="1"> <tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td></tr> <tr><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	適切に維持管理する。	電気保安業務委託 植栽管理委託 消防用設備保守点検委託	維持管理の不足による不具合の発生回数	0	回	適切に維持管理し、施設運営に支障のないようにする。	381	327	電気保安業務委託 170千円 植栽管理委託 93千円他	A	計画どおり実施できた。
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月																								
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	108	事業の名称	前熊苑・マンホールポンプ維持管理事業		担当部署	部	課					
						建設部	下水道課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(5)下水道を整え、清潔・快適・安全なまちをつくる	施策の進め方	(2)管渠整備	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	農業用排水の水質保全及び生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全のため、排水処理地区から排出され、一部マンホールポンプを経由して熊張苑へ集められた汚水を、水処理して香流川へ放流し、発生した汚泥は前熊苑へ圧送して処理・搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行えるよう管理する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	豊川市 5農業集落排水施設 整備対象人口2,767人 (H24現況)水洗化人口2,929人 豊明市 1農業集落排水施設 整備対象人口4,929人 (H24現況)水洗化人口4,479人 日進市 1農業集落排水施設 整備対象人口190人 (H24現況)水洗化人口 226人 みよし市 7農業集落排水施設 整備対象人口10,017人 (H24現況)水洗化人口9,299人 長久手市 2農業集落排水施設 整備対象人口2,690人 (H24現況)水洗化人口2,821人						
事業期間	事業開始年度	平成8年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民					うち	一般財源	7,119	6,138	7,504	7,351	6,834
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。					うち	国費・県費	0	0	0		0
						うち	地方債	0	0	0		0
						うち	その他	7,754	6,685	6,629	6,518	7,444
						うち	受益者負担額	0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	H25実績	H26実績			単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
										H26予算	H26決算		事業規模 事業費		
① 前熊苑維持管理事業	前熊苑	4月~7月~10月~1月~	適切に維持管理し、重大な事故等が起こらないようにする。	0	0	回	法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	5,726	4,561	前熊苑維持管理業務委託 4,692千円	A	計画どおり実施できた。			
② 汚泥処分事業	前熊苑にて排水処理に伴い発生した汚泥	4月~7月~10月~1月~	適切・安全に運搬・処理し、肥料化する。	0	0	件	適切に処理し、周辺住民等から苦情のないようにする。	7,596	6,694	汚泥処分委託 7,565千円	A	計画どおり実施できた。			
③ 悪臭・除害施設水質分析事業	前熊苑の悪臭、除害施設の水質	4月~7月~10月~1月~	環境保全の基準に沿った悪臭、河川の水質等を維持するよう管理する。	0	0	回	法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	241	201	悪臭・除害施設水質分析委託 219千円	A	計画どおり実施できた。			
④ 前熊苑施設維持管理事業	前熊苑	4月~7月~10月~1月~	適切に維持管理する。	0	0	回	適切に維持管理し、施設運営に支障のないようにする。	1,310	1,367	電気保安業務委託 193千円 植栽管理委託 1,108千円他	A	計画どおり実施できた。			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	109	事業の名称	支払等事務改良事業		担当部署	部	課					
						—	会計課					
基本方針		分野別項目		施策の進め方		フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	支払等の事務手法を見直し、必要に応じ適宜改正することで、適正な支出行為を行うとともに、職員の事務に係わる時間や経費等の削減を図る。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	【公共料金口座自動振替化事業】 静岡県牧ノ原市 平成25年2月から実施。現在は水道、電気・電話(一部除く) 宮城県大和町 平成24年3月から実施。現在は水道、電気、電話						
事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	全職員					うち	一般財源	0	630	156	20	173
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	支払等の事務について、職員の作業量の軽減及びコストの削減						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
							その他	0	0	0	0	
							受益者負担額	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~			H26実績			H26予算	H26決算			
① 公共料金口座自動振替化事業	支払等の事務に係わる全職員	準備	導入			月あたり作成伝票伝票数 185枚	100.0	%	納付書利用時に比べ、一括起票が可能となり伝票作成数の削減が可能となる。 H25年度:214枚/月	0	630	公共料金明細サービス 利用手数料 19 公共料金明細サービス ソフトウェア保守料 1	B	課題が多く導入時期が遅れたが電気料金と水道料金については、現行どおり実施していく。	
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 公共料金口座自動振替化事業	会計課が伝票を一括起票することにより伝票の削減を図ることはできたが、会計課の煩雑な事務と口座自動振替に伴うコスト面の問題があるためさらに研究を進め拡充するかについては検討する。		

長久手市行政評価票

事業番号	110	事業の名称	職員教育事業		担当部署	部	課					
						消防本部	総務課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(10)住民を守る消防・救急サービスを充実する	施策の進め方	(1)消防体制の強化	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	(目的) 社会情勢の変化や技術の発展に的確に対応し、住民から期待される水準を充たす消防に係る知識及び技能の効率的かつ効果的な修得を図り、適切公正、安全かつ能率的に業務を遂行できるよう愛知県消防学校等における教育訓練を受ける。 (概要) 1 愛知県消防学校消防職員教育12名(初任科6名、救急科3名、警防科1名、初級幹部科1名、火災調査科1名) 2 消防大学校専科教育1名(警防科1名)				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県消防学校入校者予定数 瀬戸市消防本部……13人 尾張旭市消防本部……16人 豊明市消防本部……14人 尾三消防本部……16人						
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	消防職員					うち	一般財源	1,487	1,008	2,258	2,371	2,926
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	消防に関する知識、技術を向上させる。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		手段						H26目標値			H26予算	H26決算						
① 消防学校等教育訓練	消防職員に	12名				初任科6名 救急科3名 警防科1名 初級幹部科1名 火災調査科1名 消防大学校1名	7	13	人	平成26年度愛知県消防学校等入校課程修了者数	1,487	1,008	2,258				2,371	2,926
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	





長久手市行政評価票

事業番号	112	事業の名称	予防広報事業	担当部署	部 消防本部	課 総務課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(10)住民を守る消防・救急サービスを充実する	施策の進め方	(3)火災予防対策の推進	フラッグ フラッグ項目					
事業の概要	長久手市が刊行する広報ながくて及び市ホームページ等の様々な媒体を活用し、市民へ火災予防の普及を図ること、火災予防組織を設置し、育成指導を行い幼年期及び少年期の火災予防思想の動機付けを図ることで、市民が生涯に亘り火災の予防を学び啓発していくことで、市民の安心で安全な暮らしの推進を図る。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、尾三消防本部(日進市、みよし市、東郷町)の何れの団体においても類似した事業を実施している。						
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	H25予算 342	H25決算 326	H26予算 330	H26決算 368	H27予算 603	
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市に居住する市民はもとより出入りする市民			総事業費	うち	一般財源	342	326	330	368	603
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民等の火災に対する意識の高揚を図り、火災発生の抑止につなげる。				国費・県費						
					地方債						
					その他						
					受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① 広報活動事業	市内外の住民に	広報ながくて、市ホームページ及び全戸回覧で広報を行うことで	火災予防思想を普及啓発を行い、市民の手による安心で安全な暮らしを確保する。	延広報掲載回数 8回 全戸回覧数 2回	市広報誌延配布世帯数	230,000 171,000 256,000	回	前年実績(平成25年度)からの増加	249 249 442	275 289	小冊子 106 ポスター・仕訳 107 看板貼替 39 写真新聞 37	B 拡充 増加	事業の改善 掲載内容について、前年度から引き続き火災予防及び住宅用火災警報器の設置促進だけでなく、新たな切り口と時代に適した記事を市民に提供できるようにする。
② 育成指導事業1	市内小学5・6年生に	少年消防クラブを設置し、愛知県消防学校へ一日体験入校、防火作品展の実施することで	少年を介し家庭への防火を推進し、学校における火災の低減を図り、将来の地域防災の担い手となるようにする。	6小学校 延応募者数 344人	全対象児童のうち、応募した児童の割合	31.9 28.7 35.0	%	平成24年度から新規事業としているため、対象児童の3分の1以上を目標	36 67 144	37 78	審査謝礼 15 ロール紙 13 展示用台紙 23 表彰状 9 副賞 4 負担金 1 傷害保険 4 ノート 4 軍手 5	B 拡充 増加	事業の改善 平成24年度から新規事業として立ち上げ防火・防災意識の向上を図っており、参加する学校等からは好感触を得ている。 また、今年度より全校から防火作品の応募があり、今後はより多くの児童が火災予防に関心が持てるような企画を策定する。
③ 育成指導事業2	市内保育園及び幼稚園に通園する園児に	防火啓発キャラバンを組織し、アトラクションや防火講話等を実施することで	幼年期に火災予防思想を根付かせるための動機付けを行う。	8保育園 参加者数 1,060人	防火講話に参加した園児数	972 1,060 1,853	人	市内保育園及び幼稚園へ通園する園児	0 0 0	0 1	DVD 1	B 維持 -	事業の改善 平成25年度から新規事業として立ち上げ、消防署と協力し、幼年期における火災予防の教育が実用的となり、効果的な事業展開を行うことができたが、その調整等に多大な時間を要したことから計画数を処理することが出来なかった。 長久手市危険物安全協会の協力を得て、これまでどおり事業費を掛けずに実施する。
④ 住宅用火災警報器設置促進事業	住宅の所有者、管理者又は占有者(住宅の用に供される防火対象物を含む)に	警報器の設置状況を把握するアンケートを行う傍ら設置の促進及び設置後の維持管理について説明を行うことで	住宅用火災警報器を全ての住戸へ設置させる。	市民まつり調査者数 255人 広報掲載回数 5回	「住宅用火災警報器設置推進基本方針」に基づく住宅用火災警報器の普及率	84.0 84.0 87.0	%	前年実績(平成25年度)から3%の増加	57 14 17	14 0		B 維持 維持	事業の改善 アンケートを中心に市民と対面し、住宅用火災警報器の設置及び維持管理等だけに止まらず住宅用防災機器等の設置についても普及促進に努めた。 また、当該年度から従来の調査方法に加え新たな調査を実施した。(※)

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	④	住宅用火災警報器設置促進事業		成果指標を「住宅用火災警報器設置推進基本方針」に基づく住宅用火災警報器の普及率の調査手法が「住宅用火災警報器設置状況調査方法について(平成26年1月10日付け消防予第2号)」の見直しに伴い実績値を変更します。(※)	花火取扱い教室

長久手市行政評価票

事業番号	113	事業の名称	消防団事業		担当部署	部 消防本部	課 総務課																
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(10)住民を守る消防・救急サービスを充実する	施策の進め方	(2)地域消防防災力の強化	フラッグ	フラッグ項目																
事業の概要	消防団員としての知識・技術の習得による個人能力の向上を図ることにより、組織の充実強化に繋げ、災害発生時の被害軽減を図る。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	他市町のほとんどが同様の事業を実施している。																	
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算 6,466	H25決算 6,296	H26予算 6,389	H26決算 7,526	H27予算 7,504												
事業の対象 (だれ、何に対して)	消防団員・市民					うち	一般財源	6,466	6,296	6,389	7,526	7,504											
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	団員の育成及び組織の活性化を図り、地域防災の中核として活動できるようにする。						受益者負担額	国費・県費	0	0	0												
								地方債	0	0	0												
					その他			0	0	0													
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>												評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																							
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～	意図 (対象をどのような状態にしたいか)		成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
① 消防団員教育訓練事業	消防団員	消防団員に対する教育訓練の実施及び団の定期訓練等を実施することで	警防技術の向上を図り、大規模災害時の対応技術を習得させ、地域の安全を確保する。	定期訓練、操法訓練、幹部研修会、署・団合同訓練等の実施	年間の訓練実施回数	216 194 216	回	昨年度実施回数を維持する。	3,556 4,600 5,052	4,600 5,052	各種訓練194回実施。延べ2,526名参加。参加人員2,000円(訓練指導、災害出動を除く。)	A 維持 増加	現行どおり実施していく。訓練回数は減少したが、参加団員数は増加した。
② 消防団員防火啓発事業	市民	各地区での防災講習会等を通じ、消火器や40ミリ消火栓を使用した初期消火指導及び女性団員による防火点検、防火広報を実施することで	火災予防及び初期消火技術の向上を図り、地域の防災力を強化する	防火点検、防火広報、各種指導会等の実施	年間の啓発事業実施回数	138 138 170	回	例年の実施実績の平均的な回数を目指す。	2,522 1,500 2,256	1,436 2,256	各種事業138回実施。延べ1,128名参加。参加人員2,000円(啓発活動のみ、災害・訓練出動を除く。)	A 維持 増加	現行どおり実施していく。事業回数は減少したが、参加団員数は増加した。
③ 消防団員入団促進事業	市民	各催事で活動内容の紹介、ポスター掲示、リーフレット配布、活動新聞の配布などを実施。また、応援事業所を制定することで	団員が不足している現状を理解してもらうとともに、消防団の役割及び必要性について理解してもらう。	入団促進事業の実施	団員数	132 126 145	人	現団員数の10%増加を目指す。	388 289 218	260 218	各種事業延べ109名参加。参加人員2,000円(啓発活動のみ、災害・訓練出動を除く。)	B 拡充 削減	団員数が昨年の団員数を下回った。団員確保に向けた勧誘活動の方法等を検討する。
④ 長久手市消防団応援事業	市民	市内の事業所が、応援事業所として団員に各種サービスや割引等の提供を行ったり、募集ポスターを事業所内に掲出するなど、様々な形で消防団を応援していただくことで	市民に消防団をアピールし、認知度を高めつつ、団員確保に繋げ、結果として消防団の活性化を図る。	登録事業所の数	応援事業所登録数	35 34 38	事業所	現在の応援登録事業所数の10%増加を目指す。	0 0 0	0 0	配布物品については、平成24年度購入済のため、決算額は0円とする。	B 拡充 -	登録事業所数が昨年を下回った。事業所数確保に向けた勧誘活動の方法等を検討する。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	③ 消防団員入団促進事業	団員確保に向け、勧誘の実施場所や方法、時期等も含め検討する。		



長久手市行政評価票

事業番号	115	事業の名称	救急業務	担当部署	部 消防本部	課 消防署						
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(10)住民を守る消防・救急サービスを充実する	施策の進め方	(4)救急体制の充実・高度化	フラッグ フラッグ項目						
事業の概要	災害により生じた事故若しくは屋外若しくは公衆の出入りする場所において生じた事故又は政令で定める場合における災害等に準ずる事故その他の事由で政令で定めるものによる負傷者のうち、医療機関その他の場所へ緊急に搬送する必要があるものを救急隊によって、医療機関その他の場所に搬送すること。 また、現場に居合わせた人が適切な応急手当を速やかに行うことが、救命率向上の要件となる「救命の連鎖」の構築が重要なことから、AEDの使用法を含め応急手当の普及啓発を行うとともに、増加する救急需要に対応するため、救急車の適正利用を啓発する。また、更なる社会復帰率の向上に対して、救急救命士の処置範囲の拡大を中心とする救急業務の高度化の推進、メディカルコントロール体制の維持、救急救命士等の知識・技術の向上を目的とした教育体制の充実を図る。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成25年中の救急出動件数は、全国で590万9,367件(対前年比10万6,912件増、1.8%増)、搬送人員は534万117人(対前年比8万9,815件増、1.7%増)で救急出動件数、搬送人員ともに過去最多を記録しました。 (総務省消防庁) 他市町の状況(救急出動件数)平成25年中 瀬戸市5,280件、尾張旭市2,671件、豊明市2,760件、日進市2,659件、みよし市1,808件、東郷町1,282件							
事業期間	事業開始年度	昭和55年	終了(予定)年度	継続	総事業費 (単位:千円)	H25予算 6,995	H25決算 7,388	H26予算 6,865	H26決算 6,166	H27予算 8,256	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民及び市内滞在者			総事業費	うち	一般財源	6,995	7,388	6,865	6,166		8,256
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民に対する応急手当の普及啓発事業及び現場到着、医療機関への搬送を迅速に行うとともに、現場から医療機関への適切な救命処置を行い救命率の向上を図る。				国費・県費	0	0	0	0	0		0
					地方債	0	0	0	0	0		
					その他	0	0	0	0			
				受益者負担額	0	0	0	0	0			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① 救急業務	市内外の住民及び市内滞在者に	●●●●●●●●●●●●●●●●	救命率の向上を図る。 救急通報等により出動し、人員及び救急資器材等を活用し、救急処置等を実施することで	救急出動件数 1,729件 (平成26年中)	救命率 = 1ヶ月生存者数/心肺停止傷病者病院搬送数×100	14 2.5 16	%	前年度実績(平成25年度)からの増加	6,502 6,411 7,802	6,903 5,780	病院研修委託救急隊出向248 救急資器材 連続的呼気終末二酸化炭素測定器347 新型感染防止衣232	A 維持 増加	救命の可能性は心肺停止の原因や心停止経過時間等によって大きく左右する。平成26年中の救命率が目標値を下回ったのは、これらの要因によるものが大きく、事業は現行どおり行うこととして評価はAとする。 救命率向上のため、MC体制を維持し、救急隊員の資質の向上や資器材の充実を図り車両更新に伴い非常用救急車を配備し常時2台体制とした。
② 応急手当普及啓発	市内外の住民及び市内滞在者に	●●●●●●●●●●●●●●●●	現場に居合わせた人が応急手当を行い救命率の向上を図る。 一般市民向け救急講習会及び団体向け、中学生を対象にした救命講習を開催また市内の物品販売店にAEDを設置することで	救命講習実施回数117回	受講者数	2581 2760 2500	人	前年度実績	440 400 400	432 386	応急手当 304 AED設置 82	A 維持 維持	前年度より受講者が増加しているため評価はAとする。また市内の物品販売店25店舗にAEDを設置した。
③ 救急車の適正利用	市内外の住民及び市内滞在者に	●●●●●●●●●●●●●●●●	救急車のタクシー代わりの利用減少を図る。 街頭広報、市ホームページ、ケーブルテレビ、市広報紙、救急車に適正利用標示(通年)、救命講習会等を実施することで	軽症者利用割合40%	軽症者利用割合	40 35 40	%	前年度実績の割合	53 54 54	53 0		A 維持 維持	救急出動件数は増加したが、傷病者程度の割合をみると軽傷者の割合は減少しているため評価はA現行通り実施する。今年度は東名古屋地区救急業務連絡協議会と協賛して普及啓発事業を実施した。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
				救命率の向上	救命講習の受講者数の増加を図るとともに、119番受信時のプロトコール使用する通信員の質の向上

長久手市行政評価票

事業番号	116	事業の名称	適応指導教室事務		担当部署	部	課					
						教育部	教育総務課					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(1)子どもの確かな学力と生きる力を培う	施策の進め方	(2)教育内容の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	不登校児童生徒を対象に、集団生活への適応を促し、学校への復帰を支援するとともに、相談活動等を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	ほとんどの自治体で実施						
事業期間	事業開始年度	平成13年度	終了(予定)年度	———	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市立の学校に通学する小中学生					うち	一般財源	5,332	4,774	5,749	5,642	6,986
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	学校へ復帰してもらう。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~			H26実績		H26予算	H26決算			
① 適応指導教室事務	長久手市立の学校に通学する小中学生に	随時				不登校児童生徒の学校への復帰人数	1 3 1	不登校児童生徒の学校への復帰が事業の最大の目的であるため。 H26 入級者 8名	5,332 5,749 6,986	4,774 5,642	適応指導教室指導員報酬 4,569 相談報償金 345 消耗品費 507 通信運搬費 143 備品購入費 34	A 維持 維持	不登校の児童生徒の指導のために必要であるため、現行どおり実施していく。	
②														
③														
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	117	事業の名称	学校トイレ改修事業		担当部署	部	課					
						教育部	教育総務課					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(1)子どもの確かな学力と生きる力を培う	施策の進め方	(1)学校施設整備の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	校舎老朽化に伴う学校トイレの悪臭を解消するため、配管の改修や便器の洋式化などトイレ環境を全面的に改修し、学校施設の衛生環境の向上を図る。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)							
事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	平成27年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	小中学校の児童生徒と教職員					うち	一般財源	47,330	49,496	108,514	57,723	36,637
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	トイレ環境の改善を図ることで、児童生徒と教職員が安心して、落ち着いてトイレを利用できる状態にしたい。						国費・県費	63,968	61,302	35,869	35,869	34,918
							地方債	150,000	150,000	81,000	81,000	108,000
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標	H25実績			H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26予算			H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)
					H26目標値												
① 改修工事業	小中学校の児童生徒と教職員	4月~   7月~   10月~   1月~	トイレ環境の改善を図ることで、児童生徒と教職員が安心して、落ち着いてトイレを利用できる状態にしたい。	北小(I期)・南小(I期)・南中(I期)・長中(II期)で改修工事を実施	全体工程に対する進捗割合	45 73 73	%	全体工程に対する進捗割合	261,298 225,383 179,555	260,798 174,592		トイレ改修工事費 北小:33,612千円 南小:39,258千円 南中:51,329千円 長中:44,669千円 監理業務委託費 5,724千円	A 維持 維持	平成26年度実施予定箇所は全て完了済。 平成27年度完了を目指し、継続して実施する。			
②																	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	118	事業の名称	東小学校増築事業			担当部署	部 教育部	課 教育総務課																
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(1)子どもの確かな学力と生きる力を培う	施策の進め方	(1)学校施設整備の充実	フラッグ	フラッグ項目																	
事業の概要	リニモ公園西駅周辺土地区画整理事業や民間住宅開発により児童生徒数が増加し、平成28年度には東小学校の教室の不足が予想される。このため、校舎を増築し教育施設の充実を図る。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)																			
事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度	平成27年度	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	東小学校区の児童				一般財源	0	0	3,077	36,047	11,934														
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	増加する児童数に対応した増築校舎を設置し、教育環境の充実を図る。				国費・県費	0	0	19,028	23,542	57,457														
					地方債	0	0	156,000	96,000	224,000														
					その他	0	0	48,500	48,500	80,000														
					受益者負担額	0	0	0	0	0														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明	
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	H25予算	H25決算			H26決算の主な内訳 (単位:千円)
							H26目標値	単位	H26予算	H26決算			H27予算
① 建設工事事業	東小学校区の生徒	→	増加する児童数に対応した校舎を設置し、教育環境の充実を図る。 随時工程会議を開催し、工事の進捗を確認することで	増築工事全体の3割を実施	建設工事の進捗率	0 34 30	%	全体工程に対する各年度の進捗割合	0 226,605 373,391	0 204,089	工事費 196,010千円 監理委託費 8,078千円	A 拡充 増加	平成26年度実施予定箇所は全て完了済。 平成27年度完了を目指し、継続して実施する。
②													
③													
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	



長久手市行政評価票

事業番号	119	事業の名称	屋内運動場非構造部材耐震化事業			担当部署	部 教育部	課 教育総務課																
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(1)子どもの確かな学力と生きる力を培う	施策の進め方	(1)学校施設整備の充実	フラッグ	フラッグ項目																	
事業の概要	小中学校において、大規模な地震に備え体育館の非構造部材の耐震化を行うことを目的とする。学校生活における児童生徒の安全確保並びに災害時に地域住民の避難施設となっている小中学校体育館の天井等の落下防止対策を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全市町村で実施																		
事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度	平成27年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	20,895	20,895	314,074	288,592	354,266	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	小中学校の児童生徒と教職員、地域住民				うち	一般財源	20,895	20,895	185,494	163,112	70,300													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	災害時の避難施設となっている小中学校体育館の天井等の落下防止対策を行うことで、児童生徒及び地域住民が安全に安心して学校生活や避難生活が送れるように防災機能の強化を図る。				うち	国費・県費	0	0	47,080	47,080	66,966													
					うち	地方債	0	0	81,500	78,400	217,000													
						うち	その他	0	0	0	0													
						受益者負担額	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~															H26目標値	H27予算
① 耐震設計業務	小中学校の児童生徒と教職員、地域住民	→				大規模な地震に耐え得る、体育館の非構造部材の落下防止対策の工事を実施できるようにする。	平成27年度に工事を実施する北小・南小・南中・北中の体育館及び武道場の実施設計	耐震化設計業務の進捗	45	100	%	耐震化設計業務の進捗	20,895	20,895	13,789	13,284	0	0	A	屋内運動場の耐震化工事の内容が決定された。	
② 耐震化工事事業	小中学校の児童生徒と教職員、地域住民	→				児童生徒及び地域住民が安全に安心して学校生活や避難生活を送れるようにする。	長小・西小・東小・長中で耐震化工事を実施	耐震化工事の進捗	0	45	%	耐震化工事の進捗	0	0	300,285	275,308	354,266	0	0	A	平成26年度実施予定校は全て完了済。平成27年度完了を目指し継続して実施する。
③																					
④																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	120	事業の名称	給食調理事業			担当部署	部	課				
						教育部	給食センター					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(14)食育を進め、健康な暮らしを支える	施策の進め方	(1)食を通じた健康の増進、(2)子どもに対する食育の推進、(3)地産地消の推進	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	衛生面に配慮し献立・調理法を工夫した安全でおいしい給食の提供を目指す。地元産の食材を使用し地産地消の推進を図り、旬の食材や郷土料理等を取り入れた献立で食育の推進を図る。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成25年5月調査資料 瀬戸市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校1校・中学校8校 3877食、(自校調理の学校を除く)給食費1食あたり 小学校240円・中学校280円 尾張旭市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校9校・中学校3校 7896食、給食費1食あたり 小学校230円・中学校260円 豊明市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校9校・中学校3校 6453食、給食費1食あたり 小学校225円・中学校255円 日進市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校10校・中学校5校 8861食、給食費1食あたり 小学校220円・中学校250円 東郷町・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校6校・中学校3校 4786食、(保育園9園1287食を除く)給食費1食あたり小学校220円・中学校260円(市補助21円) 長久手市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校6校・中学校3校 5602食、(保育園6園1017食を除く)給食費1食あたり小学校220円(市補助21円)・中学校260円(市補助21円)						
事業期間	事業開始年度	昭和47年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市立の小中学校に通う児童、生徒、保育園に通う園児、教職員等					うち	一般財源	134,761	130,178	140,454	132,554	156,067
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	安心で安全な給食の提供を目指し、子どもの健全な育成、食育の推進を図る。					地方債	0	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	0
						受益者負担額	281,231	274,903	281,300	278,444	315,988	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績	H26実績	H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算			H25決算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)
		H26実績			H26目標値						H25予算	H25決算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)					
① 献立作成・給食物資 選定事業	長久手市立の 小中学校に通う児童、 生徒、保育園に通う園児、 教職員等	季節、年中行事、伝統食を取り 入れた献立を献立委員会で検 討し、使用する給食物資につ いて選定委員会を開催するこ とで				給食をとおして地元産 の食材、旬の食材、年 中行事食、地元で伝 わる伝統食について 知り、「食」についての 関心を持ってもらう。 (食育の推進)	献立委員会 ・小中学校 年11回開催 ・保育園 年12回開催 物資選定委員 会 月1回開催	地場産物(愛知 県産)の使用割 合	47.30 52.68 50	%	愛知県教育委員会が 例年実施する学校給 食地域産物の活用に 関する調査の数値。	308,903 311,452 344,436	304,256 307,246	賄材料費 307,246	A 維持 維持	現行どおり実施していく。			
② 給食調理事業	長久手市立の 小中学校に通う児童、 生徒、保育園に通う園児、 教職員等	栄養士等を給食時間内に派遣し、 喫食状況を確認することで				趣向を考慮した給食 を提供する。	毎月の献立 表に反映さ せた。	栄養教諭、栄養 士の派遣回数	81 120 90	回	週2回派遣	64,649 69,455 74,308	64,649 67,659	消耗品費10,005 光熱水費56,109 食器等検査手数料 534 一般廃棄物処理委 託1,011	A 維持 維持	現行どおり実施していく。			
③ 調理作業員雇用	臨職調理員	必要に応じ、欠員者の補充を 行い、調理従事者40人を 恒常的に確保することで				日々の調理作業にお いて正職員の経験・ 技術を受け継ぎ、 個々の経験・技術の 向上を図る。	新規に雇用 し衛生研修 等を行った が、自己都 合等による 退職者が出 た。	調理員の人数	39 40 40	人	調理に必要な調理員 40人の確保。	42,440 40,847 53,311	36,176 36,093	調理作業員賃金 36,093	A 維持 維持	現行どおり実施していく。			
④																			

事務事業の 改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	② 給食調理事業	民間委託導入検討		

事業番号	121	事業の名称	給食センター管理事業		担当部署	部	課					
						教育部	給食センター					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(1)子どもの確かな学力と生きる力を培う	施策の進め方	(1)学校施設設備の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	給食調理業務が円滑に行えるよう法定点検を始め施設、設備及び機器類の定期的な保守点検を行う。給食センターはHACCP対応のドライシステム・オール電化の施設となったため、調理場内の温度・湿度管理のための空調機器保守点検、細菌等の拡散を防ぐための自動扉保守管理、夜間電力を利用した給湯設備、電気式ボイラによる蒸気発生設備等の保守点検、野菜くずや残菜を処理する生ごみ処理機の保守点検等が施設・設備管理の主要なものとなる。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成25年5月調査資料 瀬戸市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 尾張旭市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 豊明市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 日進市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 東郷町・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 長久手市・・・施設・設備の形態:ドライシステム、オール電化 *施設の規模・設備は市町ごとに異なり比較が難しい						
事業期間	事業開始年度	昭和47年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	給食センター施設及び設備					うち	一般財源	65,553	65,553	71,596	71,437	71,350
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施設及び設備を安定的に稼働させ、不具合のない状態に保ち給食調理を行う。					国費・県費	0	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の説明
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	H25実績	H26実績			単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)			
										H26予算	H26決算		H27予算		
① 厨房排水除害施設 保守点検事業	長久手給食 センター厨房排水除外 施設	4月~   7月~   10月~   1月~ 専門業者に委託し、定期的な 設備点検及び排水の水質検査 を行うことで	給食調理により発生 する排水を油脂分除 去等を行い、水質の 安定した排水を下水道に 放流する。	0	0	回	水質基準を超える 排水の放流発生回数	1,588	1,588	1,633	1,633	1,633	A	維持 維持 現行どおり実施していく。	
② 害虫駆除事業	長久手給食 センター調理場内・事務 室等	4月~   7月~   10月~   1月~ 専門業者に委託し、衛生害虫、 ねずみ等の防除、生息調査 及び点検等を行うことで	衛生害虫、ねずみの 発生・侵入を防除し、 施設の衛生を保つ。	0	0	件	衛生害虫、ねずみ 等の捕獲・生息発生回数	473	473	600	486	486	A	維持 維持 現行どおり実施していく。	
③ 電気保安設備保守 点検事業	長久手給食 センター電気保安設備	4月~   7月~   10月~   1月~ 専門業者に委託し、定期的な 点検を行うことで	適切な維持管理状態 に保つ。	0	0	箇所	改修・修繕等が 必要と指摘された箇所	1,079	1,079	1,110	1,109	1,110	A	維持 維持 現行どおり実施していく。	
④ 清掃業務事業	長久手給食 センター床面及び窓ガラス 清掃	4月~   7月~   10月~   1月~ 専門業者に委託し、定期的な 清掃を行うことで	施設的环境美化及び 適切な維持管理状態 を保つ。	0	0	箇所	より専門的な作 業を必要とする 汚れ等の清掃箇所	452	452	500	464	464	A	維持 維持 現行どおり実施していく。 食品を扱う施設であるので、今後も環境 美化に努めていく。	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

事業番号	121	事業の名称	給食センター管理事業		担当部署	部	課					
						教育部	給食センター					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(1)子どもの確かな学力と生きる力を培う	施策の進め方	(1)学校施設設備の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	給食調理業務が円滑に行えるよう法定点検を始め施設、設備及び機器類の定期的な保守点検を行う。給食センターはHACCP対応のドライシステム・オール電化の施設となったため、調理場内の温度・湿度管理のための空調機器保守点検、細菌等の拡散を防ぐための自動扉保守管理、夜間電力を利用した給湯設備、電気式ボイラによる蒸気発生設備等の保守点検、野菜くずや残菜を処理する生ごみ処理機の保守点検等が施設・設備管理の主要なものとなる。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成25年5月調査資料 瀬戸市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 尾張旭市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 豊明市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 日進市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 東郷町・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 長久手市・・・施設・設備の形態:ドライシステム、オール電化 *施設の規模・設備は市町ごとに異なり比較が難しい						
事業期間	事業開始年度	昭和47年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	給食センター施設及び設備					うち	一般財源	65,553	65,553	71,596	71,437	71,350
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施設及び設備を安定的に稼働させ、不具合のない状態に保ち給食調理を行う。					国費・県費	0	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の説明
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	H25実績	H26実績			単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)			
										H26予算	H26決算				
⑤ 消防用設備保守点検事業	長久手給食センター消防用設備	4月~7月~10月~1月~	適切な維持管理状態に保つ。	0	0	箇所	関係法令に基づき適切な維持管理を行い設備・機器が支障のないようにする。	273	273	212	A	維持 維持	現行どおり実施していく。		
⑥ 警備事業	長久手給食センター警備	4月~7月~10月~1月~	適切な維持管理状態に保つ。	0	0	回	人為的ミスによらない警備会社への通報回数	328	328	337	A	維持 維持	現行どおり実施していく。		
⑦ 空調設備等点検事業	長久手給食センター空調設備等	4月~7月~10月~1月~	調理場内を良好な状態にし、厨房設備等を適切な維持管理状態に保つ。	0	0	回	維持管理不良による不具合の発生回数	3,444	3,444	3,542	A	維持 維持	現行どおり実施していく。		
⑧ 給湯給水給蒸設備保守点検事業	長久手給食センター給湯給水給蒸設備	4月~7月~10月~1月~	常に運転状態にある設備を適切に維持管理し、必要な湯・水・蒸気を安定的に供給する。	0	0	回	維持管理不良による不具合の発生回数	3,465	3,465	3,564	A	維持 維持	現行どおり実施していく。		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
				H27以降新規に実施する事務事業

事業番号	121	事業の名称	給食センター管理事業		担当部署	部	課					
						教育部	給食センター					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(1)子どもの確かな学力と生きる力を培う	施策の進め方	(1)学校施設設備の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	給食調理業務が円滑に行えるよう法定点検を始め施設、設備及び機器類の定期的な保守点検を行う。給食センターはHACCP対応のドライシステム・オール電化の施設となったため、調理場内の温度・湿度管理のための空調機器保守点検、細菌等の拡散を防ぐための自動扉保守管理、夜間電力を利用した給湯設備、電気式ボイラによる蒸気発生設備等の保守点検、野菜くずや残菜を処理する生ごみ処理機の保守点検等が施設・設備管理の主要なものとなる。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成25年5月調査資料 瀬戸市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 尾張旭市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 豊明市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 日進市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 東郷町・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 長久手市・・・施設・設備の形態:ドライシステム、オール電化 *施設の規模・設備は市町ごとに異なり比較が難しい						
事業期間	事業開始年度	昭和47年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	給食センター施設及び設備					うち	一般財源	65,553	65,553	71,596	71,437	71,350
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施設及び設備を安定的に稼働させ、不具合のない状態に保ち給食調理を行う。					地方債	0	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	0
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
										H26予算	H26決算						
⑨	エレベータ保守管理 事業	長久手給食 センターエレベータ	4月~7月~10月~1月~ 専門業者に委託し、エレベータの保守点検を行うことで	適切な維持管理状態に保つ。	ロープ式エレベータ 点検 定期1回/3月 遠隔1回/1月 小荷物専用昇降機 点検 定期1回/3月 建築基準法に基づく 定期検査代行1回/1年	維持管理不良による不具合の発生回数	0	0	回	適切な維持管理を行い施設管理に支障のないようにする。	762	762	785	784	エレベータ保守管理委託 784	A	現行どおり実施していく。
⑩	生ゴミ処理機維持管理 事業	長久手給食 センター生ゴミ処理機	4月~7月~10月~1月~ 専門業者に委託し、生ゴミ処理機の保守点検を行うことで	適切な維持管理状態に保つ。	保守点検 月1回	維持管理不良による不具合の発生回数	0	0	回	適切な維持管理を行い施設管理に支障のないようにする。	756	756	778	778	生ゴミ処理機維持管理業務委託 778	A	現行どおり実施していく。
⑪	給食センター自動扉 保守事業	給食センター自動扉	4月~7月~10月~1月~ 専門業者に委託し、自動扉の保守点検を行うことで	適切な維持管理状態に保つ。	保守点検 年4回	維持管理不良による不具合の発生回数	0	0	回	適切な維持管理を行い施設管理に支障のないようにする。	2,352	2,352	2,420	2,419	自動扉保守委託 2,419	A	現行どおり実施していく。
⑫	給食センターオール 電化設備の運用	給食センター熱源の 経費	4月~7月~10月~1月~ オール電化にすることで	良好な環境で調理作業を行うため、深夜電力の有効活用により経費を必要最小限にする。	電力の有効活用	給食1食あたりにかかる電気代を前年度と同額以下の金額	30	34	円	適切な施設の維持管理を行い定期的に契約金額を見直し、電気代削減に努める。	50,581	50,581	56,109	56,109	電気代 42,513千円 使用量 1,963,176kw 使用量は、0.13%の増加となった。 食数0.15%の増加に対し抑えることができています。 電気料金単価が41%値上がりした。	A	現行どおり実施していく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
				H27以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	122	事業の名称	図書館運営事業		担当部署	部	課					
						教育部	中央図書館					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(2)住民の自主的な生涯学習活動を支える	施策の進め方	(1)自主的な学習の支援	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	図書館資料の貸出、予約等の図書貸出事業及び、購入、受入等の図書整理事業。利用に係る調査、統計業務。地域の図書館との連携。図書館見学、職場体験、実習生受入。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全国のほとんどの市町村にて実施。 全国の公共図書館設置率(市区)98.8%「図書館年鑑2014より」						
事業期間	事業開始年度	平成4年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	全ての市民と図書館利用者					うち	一般財源	83,959	87,542	89,819	88,981	86,379
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	
							その他	0	0	0	0	
					受益者負担額		0	0	0	0		
										評価の見方		
										A 現行どおり実施		
										B 事業の改善		
										C 他事業と統合		
										D 運営主体の見直し		
										E 事業の廃止の検討		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~				H26実績	H26決算		事業規模			
① 個人貸出	全ての市民 と図書館利用 者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	①288,443 ② 10,157	点	①298,223 ② 10,052	①291,327 ②10,258	63,959	67,457	職員人件費 46,953 一般事務嘱託員報酬 17,192 図書貸出・整理事務賃金 4,749	A	現行どおり実施していく。 H26年度に中央図書館嘱託員2名、学校連携嘱託員1名、臨時職員1名の計4名増となり、事業が推進し貸出点数が目標値を上回った。
② 図書館資料の購入	全ての市民 と図書館利用 者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	①288,443 ② 10,157	点	①298,223 ② 10,052	①291,327 ②10,258	20,000	20,085	図書資料費 19,999 施設管理用備品 ブックトラック 88	A	現行どおり実施していく。 高齢者サービス対応として、大活字本の小説などを継続購入していく。
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
		図書回収搬送委託		

事業番号	123	事業の名称	講座等企画事業		担当部署	部	課						
						教育部	中央図書館						
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(2)住民の自主的な生涯学習活動を支える	施策の進め方	(1)自主的な学習の支援	フラッグ	フラッグ項目						
事業の概要	乳幼児から小学生を対象におはなし会を開催、一般を対象に講座、講演会、企画展示を開催。 おはなし会(毎月第2,3,4土曜日、毎月第1,3木曜日)、児童書講演会(年1回) 図書館講座(年1回)、現代美術展(年1回11月頃開催)、中学生美術展(年1回12月開催) 大学等連携事業、閲覧室企画展示(年16回程開催) H25年度から長久手市子ども読書活動推進計画の新規事業としてブックスタート及び児童館連携を実施。 ブックスタート/月2回実施。絵本に親しみふれあう機会を提供するため、主に0歳児を対象におはなし会にて読 み聞かせを行い、絵本とバッグをセットにしたブックスタートパックを配布する。 児童館連携/市内児童館図書室の環境整備及び中央図書館からの団体貸出を実施。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	おはなし会、児童書講演会、図書館講座は全国の公共図書館のほとんどで実施されている。 美術展は長久手市中央図書館がギャラリーを併設するため、実施が可能となり、特色ある事業となっている。 ブックスタートは、H26年5月末現在、全国の51%の自治体にて実施。							
事業期間	事業開始年度	平成4年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	全ての市民と図書館利用者					うち	一般財源	1,447	1,674	1,783	1,224		1,753
事業の意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。					国費・県費	0	0	0	0	0		0
						地方債	0	0	0	0	0		0
						その他	0	0	0	0	0		0
						受益者負担額	0	0	0	0	0		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明						
		4月~	7月~	10月~	1月~				H26実績	H26決算		H26予算		H26決算	事業規模				
① おはなし会	全ての市民 と図書館利 用者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	読書活動の推進を図る。	延参加者数 2,959人	参加者数	3,245	2,959	3,360	過去2年間の実績平均値(3,298)より2%増加を目標とする。	19	16	19	21	15	A	ほぼ計画どおり実施したが、開館日の都合により、お話会の回数がH25年度よりも5回減少し、延参加者数が減った。一方、ブックスタート及び学校連携事業にかかるおはなし会はH25年度よりも内容が充実したものとなったため評価はAとした。今後は成果指標を「一回あたりの参加者数」へ変更する。
② 児童書講演会	全ての市民 と図書館利 用者	●	●	●	●	読書活動の推進を図る。	年1回開催 延参加者数 52人	参加者へのアンケート調査による満足度	94	58	95	高い評価を受けていることから前年実績からの1%増加を目標とする。	285	285	317	209	323	B	現行どおり実施していく。アンケートは無回答が多く満足度が伸びなかったため評価Bとした。アンケートの記述欄では例年通りの満足した回答が多くあった。今後はアンケート配布方法やアンケート内容を検討する。
③ 図書館講座	全ての市民 と図書館利 用者	●●	●●	●●	●●	読書及びボランティア活動の推進を図る。	年1講座/4回 うち中級者 向3回、上 級者向1回	参加者へのアンケート調査によるボランティア参加を希望した人の割合	27	54	28	前年実績からの3%増加を目標とする。	100	60	100	60	100	A	現行どおり実施していく。目標値を大きく上回った。現在のボランティア体制及びレベルアップを考慮しながら、受講対象者のレベルを検討しボランティアの維持と育成に努める。
④ 現代美術展	全ての市民 と図書館利 用者	●	●	●	●	図書館に親しみ、市民の教養、レクリエーション等に寄与する。	年1回開催	来場者数	63	108	70	過去2年間の実績平均値(69)より2%増加を目標とする。	163	98	165	83	139	A	現行どおり実施していく。H25年度から開始した本と芸術のコラボレーション企画は来場者増加につながり、好評価と思われる。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	③ 図書館講座	現在、活動中のボランティアを対象にした上級者向けの回数を1回増やし、レベルアップを図る。		
② 児童書講演会	アンケート項目について、記述欄よりもチェック欄を増やすことで回答しやすくし、無回答を減らすように努める。			





長久手市行政評価票

事業番号	124	事業の名称	学校連携事業		担当部署	部	課						
						教育部	中央図書館						
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(2)住民の自主的な生涯学習活動を支える	施策の進め方	(1)自主的な学習の支援	フラッグ	フラッグ項目						
事業の概要	司書資格を持つ中央図書館嘱託職員4名を市内小中学校9校へ派遣し、児童生徒の読書支援を行う(H26.6より新規嘱託職員1名を採用)。 読み聞かせ、ストーリーテリングなどのおはなし会を行うとともに、読書案内、読書相談、図書室環境整備、展示、選書、学校図書ボランティアとの連携等を行う。 また、団体貸出として中央図書館から各小中学校へ図書の貸出を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣では、日進市立図書館、瀬戸市立図書館にて実施。							
事業期間	事業開始年度	平成22年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象(だれ、何に対して)	市内小中学校(の児童生徒)					うち	一般財源	7,714	7,736	9,417	9,666		10,076
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	中央図書館の嘱託職員と学校の司書教諭が協働で連携事業を行い、子どもの読書活動を推進する。					うち	国費・県費	0	0	0	0		0
						うち	地方債	0	0	0	0		0
						その他	0	0	0	0	0		
						受益者負担額	0	0	0	0	0		

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段(いつ、どのような手段を使って)						H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~												H26目標値	H26予算
① おはなし会	市内小中学校の児童生徒	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	全小中学校にて実施	おはなし会実施回数	713	665	回	前年実績からの増加を目標とする(増加率についてはH24-H25の伸び率13%)。	6,714	6,371	8,417	8,417	9,076	B	おはなし会回数は減少したが事業開始から5年目となり、学校から任される業務が増加した。また、アニメーションやビデオバトルなど、おはなし会以外の新規事業が増えたため、今後は成果指標を「読書行事(おはなし会、ブックトーク、アニメーション等)件数」へ変更する。
② 団体貸出	市内小中学校の児童生徒	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	年間団体貸出冊数9,447冊	団体貸出数	9,276	9,447	冊	貸出数を読書活動推進の指標とする。全小学校へ普及したため中学校への貸出を今後の要望に応じ対応する。前年実績からの3%増加を目標とする。	1,000	1,365	1,000	1,249	1,000	A	目標値の方が実績よりも高い結果となったが、目標値の設定に見直しが必要と判断したためA評価とした。なお、実績が伸びなかった原因として団体貸出しを開始後5年が経過し、破損本が増加したことが上げられる。図書の再購入費が課題となった。
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① おはなし会			事業が推進した結果、おはなし会以外の読書行事が増加した。(ブックトーク、ストーリーテリング、アニメーション等)今後は読書行事の件数を成果指標とする。	

長久手市行政評価票

事業番号	125	事業の名称	会議録、ビデオ放映等事業		担当部署	部	課					
						議会事務局						
基本方針		分野別項目		施策の進め方		フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	議会活動を広く住民に知ってもらうため、本会議の会議録を作成し、議会ホームページに掲載する。また、一般質問映像を市役所ロビー及び西庁舎会議室で生中継し、併せて議会ホームページにおいても配信する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市議会ホームページ掲載状況(①会議録、②録画映像配信) 瀬戸市……①本会議、②本会議 尾張旭市……①本会議、②本会議 日進市……①本会議、②本会議 みよし市……①本会議、②開会(市長あいさつ)、一般質問 豊田市……①本会議、②一般質問 豊明市……①本会議、②一般質問(試行中)						
事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民					うち	一般財源	5,669	5,153	6,072	5,110	5,846
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	議会ホームページへのアクセスにより、議会活動を知ってもらう。					国費・県費	0	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0	0
					その他	0	0	0	0	0	0	
					受益者負担額	0	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)				評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~			H26実績			H26予算	H26決算			
① 会議録検索	市内外の住民に	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	議会ホームページ(会議録)への年間のアクセス数	2,170	件	平成25年度実績	3,807	3,411	会議録作成委託2,783 会議録配信委託151 会議録検索使用料389	A	平成26年度の実績は目標値を上回らなかったが、達成率が94%と高いため、現行どおり実施していく。	
② ビデオ放映事業	市内外の住民に	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	議会ホームページ(ビデオ放映)への年間のアクセス数	17,440	件	前年度実績	1,862	1,742	撮影委託821 録画配信委託189 録画配信使用料778	A	現行どおり実施していく。	
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

事業番号	126	事業の名称	内部監査事業		担当部署	部	課					
						監査委員事務局						
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(5)合理的で効果的な行政運営を行う	施策の進め方	(2)公平・透明な行政運営の確立	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	地方自治法の規定に基づき、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、監査、検査及び審査を実施する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	地方自治法に基づき、全自治体において実施されている。						
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	行政で実施されている全事業					一般財源	1,882	1,839	2,198	2,130	2,188	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	公正な行政運営を確保する。					国費・県費	0	0	0	0	0	
						地方債	0	0	0	0	0	
					その他	0	0	0	0	0		
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~	H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H26予算	H26決算			
① 例月出納検査(地方自治法第235条の2第1項)	会計管理者	 (12回)		会計管理者の保管する市の現金についての適正な現金出納事務を図る。	12回実施 (各検査の予備調査として、全件伝票の精査を実施)	0	件	指摘事項のないこと(違法、不当となるような事項がないこと)が理想の状態であることから0件とした。	1,676	1,650	委員報酬 1,032 需用費 903	A	現行どおり実施していく。事業費については全国都市監査委員会総会出席の旅費及び加除本の追録費用が増額となったため、「増加」とした。
② 定期監査(地方自治法第199条第4項)	全課等	 (11回30課等)		市の財務、経営に関する事務及び事業の執行が、適正かつ効果的に行われるようにする。	30課実施	0	件	指摘事項のないこと(違法、不当となるような事項がないこと)が理想の状態であることから0件とした。	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	A	現行どおり実施していく。
③ 工事監査(工事技術調査)(地方自治法第199条第4項)	市が発注した公共工事			工事契約に係る書類の適正な整備及び施工現場の適正な管理を図る。	2工事の監査を実施	0	件	指摘事項のないこと(違法、不当となるような事項がないこと)が理想の状態であることから0件とした。	206	189	工事関係技術調査委託 195	A	現行どおり実施していく。
④ 財政援助団体等監査(地方自治法第199条第7項)	市補助金の交付を受けている団体			補助金が指定された目的及び条件等に沿って支出され、公益上の必要性が達成され、効果をあげるようにする。	1団体の監査を実施	0	件	指摘事項の無いこと(違法・不当となるような事項が無いこと)が理想の状態であることから0件とした。	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	A	現行どおり実施していく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	

事業番号	126	事業の名称	内部監査事業		担当部署	部	課					
						監査委員事務局						
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(5)合理的で効果的な行政運営を行う	施策の進め方	(2)公平・透明な行政運営の確立	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	地方自治法の規定に基づき、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、監査、検査及び審査を実施する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	地方自治法に基づき、全自治体において実施されている。						
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	行政で実施されている全事業					一般財源	1,882	1,839	2,198	2,130	2,188	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	公正な行財政運営を確保する。					国費・県費	0	0	0	0	0	
						地方債	0	0	0	0	0	
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	H25実績	H26実績			単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
										H26予算	H26決算				事業規模 事業費
⑤ 決算審査(地方自治法第233条第2項)	全課等	4月~ 7月~ 10月~ 1月~	歳入の確保及び歳出の施行状況等について、適正かつ効率化を図る。	0	0	件	指摘事項のないこと(違法、不当となるような事項がないこと)が理想の状態であることから0件とした。	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	A	維持 維持	現行どおり実施していく。		
⑥ 健全化判断比率等審査(地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条)	財政課	前年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率につき、両率の算定に係る書類を審査する(決算審査と同時に実施する。)	健全化判断比率及び資本不足比率が正しく算出されるようにする。	0	0	件	指摘事項のないこと(違法、不当となるような事項がないこと)が理想の状態であることから0件とした。	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	A	維持 維持	現行どおり実施していく。		
⑦ 行政監査(地方自治法第199条第2項)	全課等のうちから抽出	監査対象課にて保有している備品につき、備品台帳の整備、実際の使用状況等を確認し、適正な管理が行われているかを監査する。	物品取扱規程等に定められた手続に従い、適正な備品管理が実施されるようにする。	0	0	件	指摘事項のないこと(違法、不当となるような事項がないこと)が理想の状態であることから0件とした。	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	(例月出納検査の欄にまとめて記載)	A	維持 維持	現行どおり実施していく。		
⑧															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	